

課題番号: 20CA2065

令和2年度厚生労働行政推進調査事業
(厚生労働科学特別研究事業)
コロナ禍における子どもへの影響と支援方策
のための横断的研究

機関調査: ①市町村調査: 母子保健部門
報告書

2021年3月

研究代表 公立大学法人大阪 大阪府立大学 山野則子研究室

目次

I. 調査概要	1
1. 厚生労働行政推進調査事業：コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査方法	2
(3) 調査内容	2
(4) 調査対象者	3
(5) 調査実施日	3
(6) 調査配布・回収率（数）	4
(7) 調査実施主体	4
(8) 研究者一覧	4
(9) 研究対象者の人権の養護とデータの取り扱い	5
2. 市町村調査：母子保健部門	5
(1) 調査目的	5
(2) 調査対象	5
(3) 調査方法	5
(4) 調査期間	5
(5) 回収状況	5
(6) クロス分析の軸について	6
II. 調査結果	7
(1) 自治体概要	8
(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置	9
(3) 他機関・他部局との連携体制	11
1) 学校との連携	11
2) 学校への情報照会	13
3) 保育園・幼稚園との連携	15
4) 保育園・幼稚園への情報照会	17
5) 教育委員会との連携	19
6) 教育委員会への情報照会	21
7) 児童相談部局との連携	23
8) 児童相談部局への情報照会	25
9) 女性母子相談部局との連携	27
10) 女性母子相談部局への情報照会	29
11) 保育部局との連携	31
12) 保育部局への情報照会	33
13) 警察との連携	35

1 4)	警察への情報照会	37
1 5)	児童相談所との連携	39
1 6)	児童相談所への情報照会	41
1 7)	児童相談所からの専門的助言	43
1 8)	児童相談所からのバックアップ	45
(4)	各事業の実施主体	47
(5)	乳幼児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業における訪問者	51
1)	乳幼児家庭全戸訪問事業	51
2)	養育支援訪問事業	56
(6)	部署における支援状況	61
1)	コロナ感染者数別	61
2)	自治体規模別	69
(7)	考察	77
1)	関係機関との連携：コロナ前・休校中・学校再開後の変化	77
2)	母子保健関連事業の実施状況：2019年と2020年の実施件数の比較	77
①	乳児家庭全戸訪問事業/養育支援訪問事業の状況	77
②	乳幼児健康診査/幼児歯科検診の実施状況	78
3)	本調査の成果と今後の課題	79
①	他部局との連携	79
②	母子保健関連事業	79
Ⅲ.	資料	81

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 厚生労働行政推進調査事業:コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究

(1) 調査の目的

本調査の目的は、新型コロナウイルス感染症により生じた社会システムの急激な変化による子どもの生活への影響について、以下の調査から検討し、政策提言を行うことである。(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を検討する保護者とその子どもを対象とした調査(以下、保護者調査・子ども調査)、(2) 困難を抱える子どもの対応をする機関の実態把握・対応状況の変化を検討するための調査(以下、機関調査)。

本研究では、上述した2つの調査をとおして、新型コロナウイルスが招いた災難や危機的状況(以下、「コロナ禍」)の影響を受けて困難を抱えている子どもの実態を明らかにし、声を上げにくい子どもを主体とした社会的課題の同定を目指す。具体的には、保護者調査によって、親の就労状況の変化等の全体像を把握し、機関調査によって、経済的な問題に加えて、虐待や親の精神疾患等の多重的に困難を抱える深刻な子どもに対応する児童相談所・一時保護所、市町村(児童相談・母子相談部門、母子保健部門、教育委員会、学校)等の機関の実態と対応状況を把握する。そして、保護者、機関の実態を踏まえた対応策について、感染症による特徴的な変化を同定することで、これまでの自然災害に加え、新たに感染症対応に関して独立した子ども支援計画の設定や方向性を示し、また通常課題に対する対策のなかで、より強化すべき方向性を明確化し新たな示唆を提言する。

(2) 調査方法

保護者調査・子ども調査は、研究代表者・共同研究者が調査票を設計し、インターネット調査会社に調査を委託して実施した。保護者調査・子ども調査では、調査を委託するインターネット調査事業者のモニターの中から、0～19歳未満(2020年10月時点)の子どもを持つ保護者を対象とした。保護者調査は、0～19歳未満(2020年10月時点)の子どもを持つ保護者の中から調査に協力ができるモニターを対象とした。子ども調査については、保護者調査に協力したモニターの中で、子どもの年齢が小学校高学年(9歳～)から高校生・高専生等(19歳未満)の子どもで、事前に子ども調査への参加協力についての同意が得られた保護者の子どもに対して調査を行った。

機関調査では、市町村調査、児童相談所調査、学校調査の3つを対象とした調査票調査を実施した。調査方法は、郵送による配布・回収を行った。市町村調査については、Excel調査票をダウンロードし、メールにて返送する方法も併用した。

(3) 調査内容

保護者調査・子ども調査では、新型コロナウイルスによる仕事への影響、コロナ禍で利用した公的支援制度(給付金・貸付・猶予や減免等の制度)、新型コロナウイルス感染症で不安に感じたこと、子どもに関する新型コロナウイルスで日々困っていると感ずること、休校の影響、家族の状況について、子どもとの関係について、心身の状態、まわりの人や配偶者との関係、生活について、家計について、毎日の生活で感じていること、等の172設問(20項目)で構成した。

機関調査では、新型コロナウイルスによる業務への影響、他機関・他部局との連携体制の変化、コロナ

禍で利用した公的支援制度の実態等について調査した。各部門の調査票構成については、次のとおりである。調査票については、児童相談・母子相談は、675 設問（5 項目）、児童相談所・一時保護所では、315 設問（9 問）、児童相談所では、485 設問（11 問）、母子保健では、228 設問（7 項目）、教育委員会は、415 設問（5 項目）、学校では、50 設問（10 項目）で構成されている。

（4）調査対象者

保護者調査・子ども調査は事前に 3 万人のモニターに対してスクリーニングの事前調査を行い、子どもの年齢条件（0～19 歳未満の子ども）を満たし、かつ保護者調査・子ども調査の両方（小学校高学年から高校生・高専生等の子どもがいる保護者に限る）、または保護者調査のみ調査協力の同意の得られた保護者（0～19 歳未満の子どもを持つ保護者）を抽出した。本調査では、調査協力の得られた保護者に対して調査を実施し、保護者調査のみの保護者と、保護者調査と子ども調査の両方ともに協力した保護者に対して実施した。本調査では、貧困の状況が厳しいと考えられる、世帯年収が低いサンプルが少なかったため、年収 400 万以下の世帯でかつ保護者調査と子ども調査の両方ともに協力することができる保護者に対して、本調査と統一の項目で追加調査を実施した。

機関調査では、全市町村（1,741 件）の児童相談・母子相談部門・母子保健部門・教育委員会の 3 部署（調査対象機関は 5,223 件（全市町村 1,741 件×3 部署））として、困難を抱える子どもへの支援活動の実態を調査した。児童相談所調査では、児童相談所（全国の支所を含む児童相談所：237 件）と一時保護所（全国の一時保護所：144 件）を調査対象として、著しく困難な子どもの把握実態・対応状況の変化を調査した。児童相談所では、都道府県の児童相談所担当課宛に調査票を送付し、都道府県から各児童相談所に調査票を配布した。回答された調査票は各児童相談所から直接、委託業者へ返送する形を取った。一時保護所においても、都道府県の児童相談所担当課宛に調査票を送付し、都道府県から各一時保護所に調査票を配布し、回答された調査票は各一時保護所から直接、委託業者へ返送する形を取った。

学校調査では、教育委員会宛に調査票を送付し、教育委員会にて対象校の学校 50 校を選定のうえ、学校における困難な子どもの把握実態・対応状況の変化について、新型コロナウイルス感染症の状況による違いについて聞いている。市町村のうち、2020 年 9 月末時点の都道府県別コロナ感染者数（人口 10 万人あたり累計）をもとに、以下の基準で各層 3 自治体ずつ、合計 9 自治体を選定し、1 自治体あたり小中あわせて最大 50 校に対して調査を依頼し、合計 450 校を対象として調査を実施した。そして、教育委員会宛に調査票を送付し、教育委員会にて対象校 50 校を選定のうえ、各学校に調査票を配布した。回答した調査票は各学校から直接、委託業者へ返送する形を取った。

第 1 層：コロナ感染者数が多い自治体

第 2 層：コロナ感染者数が中程度の自治体

第 3 層：コロナ感染者数が少ない自治体

（5）調査実施日

保護者調査・子ども調査の本調査は、2020 年 10 月 29 日～ 2020 年 10 月 30 日、追加調査は、2020 年 11 月 25 日～2020 年 11 月 26 日に実施した。機関調査は、2020 年 11 月 11 日～2020 年 12 月 11 日に実施した。

(6) 調査配布・回収率(数)

保護者調査・子ども調査は、本調査は保護者調査・子ども調査の両方とも参加の有効サンプル数は 515、保護者調査のみ参加の有効サンプル数は 1,550 の総サンプル数は 2,065 であった。追加調査は、保護者調査・子ども調査の両方とも参加の有効サンプル数は 517 であった。両調査で得られた総サンプル数は 2,582 となった。

機関調査のうち、各市区町村の児童相談・母子相談・母子保健の各部門、また教育委員会への調査に関しては、全市町村 1,741 内の 3 部署、総計 5,223 件の調査依頼を行った結果、2,298 件の回答が得られ、うち有効回答数は 2,198 件となった。したがって、回収率は 44.0%、有効回答率は 42.1%であった。

担当部局ごとの内訳に関して、児童相談・母子相談部門の回答数は 751 件、うち有効回答数は 720 件で、回収率は 43.1%、有効回答率は 41.4%となった。母子保健部門からの回答数は 923 件、うち有効回答数は 900 件で、回収率は 53.0%、有効回答率は 51.7%であった。教育委員会の回答数は 624 件、うち有効回答は 578 件で、回収率は 35.8%、有効回答率は 33.2%であった。

また全国の児童相談所・一時保護所に対する調査依頼の結果、児童相談所に関しては総数 237 か所のうち 134 件、一時保護所に関しては総数 146 か所のうち 79 件の有効回答を得た。回収率と有効回答率はともに、児童相談所 56.5%、一時保護所 54.9%であった。

加えて 2020 年 9 月末時点での都道府県別新型コロナウイルス感染状況に基づき選定された、深刻度「大」・「中程度」・「小」と考えられる 3 市区を選定し、その市区内の小・中学校 50 校に向け送付した調査票（総数 450 件）の有効回答数は 189 件、回収率と有効回収率はともに 42.0%であった。

(7) 調査実施主体

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科
外部委託業者は以下の 2 社である。

- ・ 株式会社マクロミル（保護者調査・子ども調査）
- ・ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（機関調査）

(8) 研究者一覧

研究代表者

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 山野 則子

共同研究者

花園大学 社会福祉学部 教授 和田 一郎

兵庫県こころのケアセンター研究部 副センター兼副部長 亀岡 智美

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 准教授 木曾 陽子

会津大学 短期大学部 幼児教育学科 准教授 鈴木 勲

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 研究員 伊藤 ゆかり

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 研究員 小倉 康弘

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 研究員 シランカ 実希

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 研究員 李 慧慧

公立大学法人大阪 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 研究員 林 萍萍

(9) 研究対象者の人権の養護とデータの取り扱い

本研究に関する説明を十分に行った後、自由意思により同意の得られた人のみを対象とした。研究への協力はあくまでも自由意思に基づくものであり、調査票への回答の可否によって不利益が生じることがないことを保障した。また、調査によって回答者に苦痛や極度の疲労を与えることが無いよう配慮した。保護者調査・子ども調査では、事前調査で調査対象者の保護者と子どもに対して、調査説明書をウェブ上で読んでもらい、調査協力の承諾が得られた家庭にのみ調査を実施した。子どもの心的な負担にならないように調査票の作成をした。

本研究により得た情報は研究における利用以外では一切使用せず、研究室として保有する調査データの保存に用いる媒体はパスワード管理を行っている。委託先の調査事業者との電子ファイルの授受の際には、必ず暗号化した上で実施した。保護者調査と子ども調査では、調査事業者は対応表の作成はしないが、モニターの回答状況の確認をする目的でアクセスログを取った。研究者側へは匿名加工情報のみの提供のため、アクセスログは研究者側には提供されていない。機関調査においても、本研究室は調査事業者より市町村・施設の特定が出来ない形式にてデータを受け取った。

2. 市町村調査:母子保健部門

(1) 調査目的

本調査は、上記厚生労働省特別研究の一環として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会生活の急激な変化の下、子どもの生活・またその公的支援体制への影響を明らかにし、政策提言を行うことを目的として実施した。

(2) 調査対象

全国の市町村における母子保健担当部署：1,741 件

(3) 調査方法

郵送による配布・回収

(Excel 調査票をダウンロードし、メールにて返送する方法も併用)

(4) 調査期間

2020年11月11日(水)～2020年12月14日(月)(当初締切12月4日(金))

(5) 回収状況

回収数 923 件 (回収率 53.0%)

うち有効回収数 900 件 (有効回収率 51.7%)

(6) クロス分析の軸について

以下では、基本的に新型コロナウイルス感染者数（以下、コロナ感染者数）別のクロス集計結果を掲載している。軸の作成にあたっては、2020年9月末時点の都道府県別コロナ感染者数（人口10万人あたり累計）をもとに、都道府県を感染者数高位群／中位群／低位群の3つに区分した。都道府県の分類は以下のとおりである。

<コロナ感染者数3区分>

高位群	東京都、沖縄県、大阪府、福岡県、神奈川県、愛知県、京都府、石川県、埼玉県、千葉県
中位群	兵庫県、奈良県、富山県、北海道、群馬県、滋賀県、宮崎県、熊本県、福井県、岐阜県、佐賀県、三重県、和歌山県、鹿児島県、山梨県、茨城県、栃木県、島根県、広島県、徳島県、高知県、長崎県、宮城県、長野県、静岡県、山口県、大分県、福島県
低位群	香川県、愛媛県、岡山県、新潟県、山形県、鳥取県、秋田県、青森県、岩手県

また、一部設問については自治体規模別のクロス集計結果も掲載している。軸の作成にあたっては、各調査票の問1「自治体規模」の設問より、政令指定都市・中核市／人口10万人以上の市／人口10万人以下の市／町村の4区分を設定した。

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

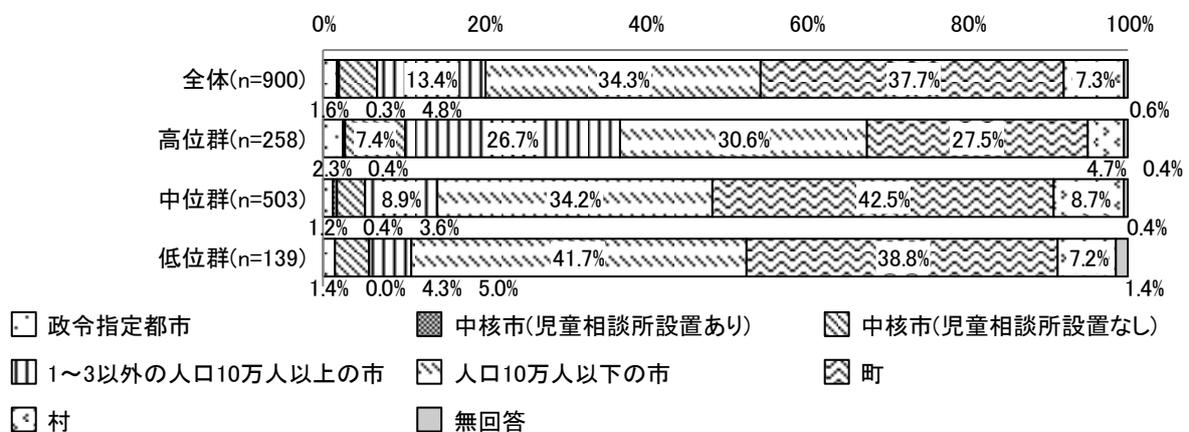
(1) 自治体概要

① Q1 自治体の規模

「全体」では、「町」が 37.7%でもっとも割合が高く、次いで「人口 10 万人以下の市」が 34.3%となっている。

「高位群」では、「人口 10 万人以下の市」が 30.6%でもっとも割合が高く、次いで「町」が 27.5%となっている。「中位群」では、「町」が 42.5%でもっとも割合が高く、次いで「人口 10 万人以下の市」が 34.2%となっている。「低位群」では、「人口 10 万人以下の市」が 41.7%でもっとも割合が高く、次いで「町」が 38.8%となっている。

図表 1 Q1 コロナ感染者数別 自治体の規模・単数回答



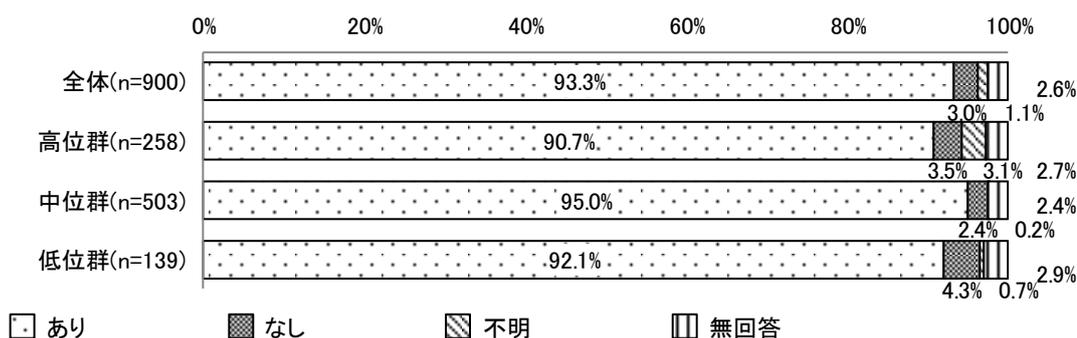
(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置

② Q2-1 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_公立小・中学校

「全体」では、「あり」が93.3%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が3.0%となっている。

「高位群」では、「あり」が90.7%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が3.5%となっている。「中位群」では、「あり」が95.0%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が2.4%となっている。「低位群」では、「あり」が92.1%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が4.3%となっている。

図表 2 Q2-1 コロナ感染者数別 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_公立小・中学校:単数回答

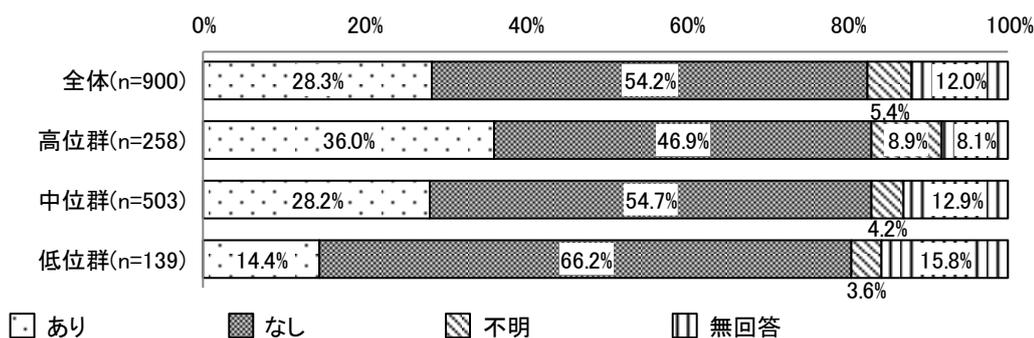


③ Q2-2 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_保育園

「全体」では、「なし」が54.2%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が28.3%となっている。

「高位群」では、「なし」が46.9%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が36.0%となっている。「中位群」では、「なし」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が28.2%となっている。「低位群」では、「なし」が66.2%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が14.4%となっている。

図表 3 Q2-2 コロナ感染者数別 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_保育園:単数回答

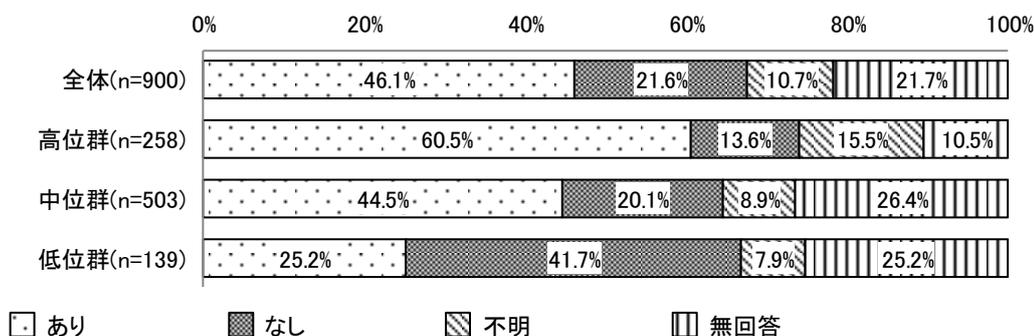


④ Q2-3 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_幼稚園

「全体」では、「あり」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が21.6%となっている。

「高位群」では、「あり」が60.5%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が15.5%となっている。「中位群」では、「あり」が44.5%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が20.1%となっている。「低位群」では、「なし」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が25.2%となっている。

図表 4 Q2-3 コロナ感染者数別 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_幼稚園:単数回答

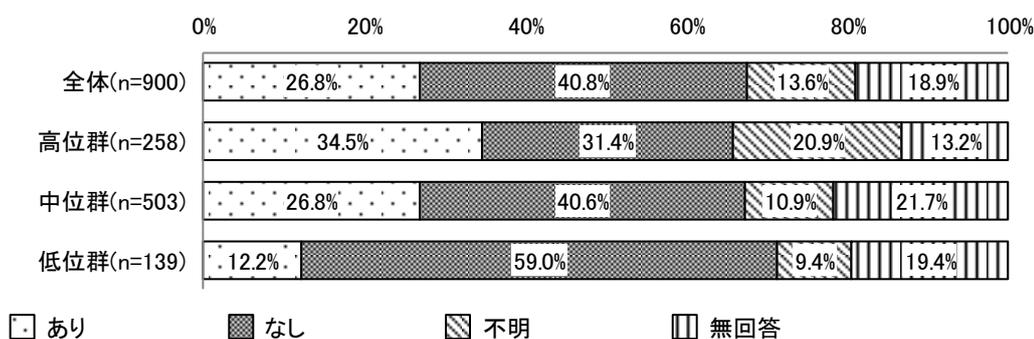


⑤ Q2-4 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_認定こども園など

「全体」では、「なし」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が26.8%となっている。

「高位群」では、「あり」が34.5%でもっとも割合が高く、次いで「なし」が31.4%となっている。「中位群」では、「なし」が40.6%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が26.8%となっている。「低位群」では、「なし」が59.0%でもっとも割合が高く、次いで「あり」が12.2%となっている。

図表 5 Q2-4 コロナ感染者数別 新型コロナウイルス感染症に伴う休校・休園措置_認定こども園など:単数回答



(3) 他機関・他部局との連携体制

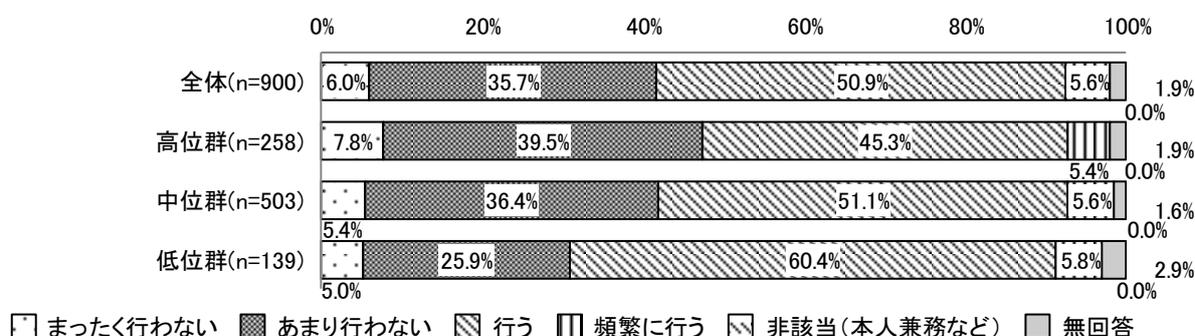
以下では、①新型コロナウイルス感染症拡大前（～2020年3月）（以下、コロナ前）、②休校期間中（2020年4月～）、③学校再開直後（2020年7月頃）における他機関・他部局との連携体制について確認する。ただし、休校措置をとっていない場合は②休校期間中について分析から除外している。

1) 学校との連携

⑥ Q3-1-1① コロナ前_学校との連携

「全体」では、「行う」が50.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が35.7%となっている。「高位群」では、「行う」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が39.5%となっている。「中位群」では、「行う」が51.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が36.4%となっている。「低位群」では、「行う」が60.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.9%となっている。

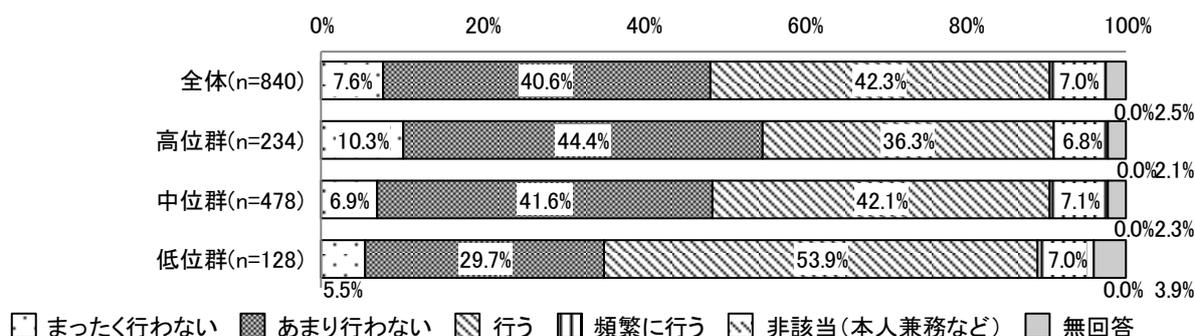
図表 6 Q3-1-1① コロナ感染者数別 コロナ前_学校との連携:単数回答



⑦ Q3-1-1② 休校期間中_学校との連携

「全体」では、「行う」が42.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が40.6%となっている。「高位群」では、「あまり行わない」が44.4%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が36.3%となっている。「中位群」では、「行う」が42.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が41.6%となっている。「低位群」では、「行う」が53.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が29.7%となっている。

図表 7 Q3-1-1② コロナ感染者数別 休校期間中_学校との連携:単数回答

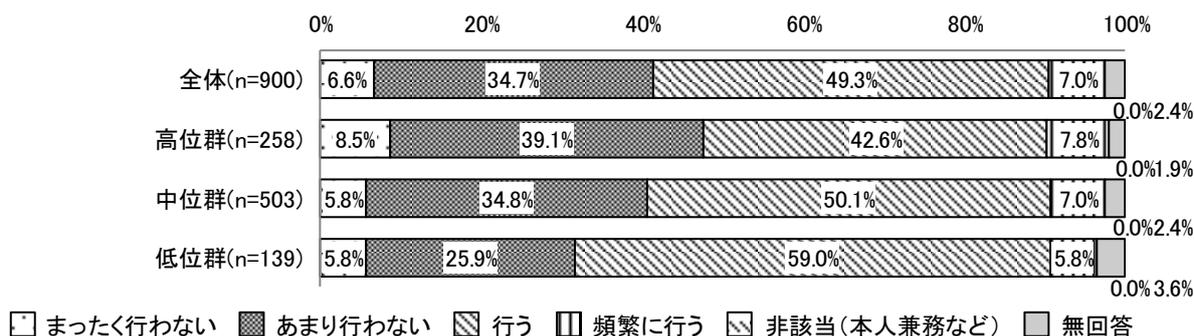


⑧ Q3-1-1③ 学校再開後_学校との連携

「全体」では、「行う」が49.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.7%となっている。

「高位群」では、「行う」が42.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が39.1%となっている。「中位群」では、「行う」が50.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.8%となっている。「低位群」では、「行う」が59.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.9%となっている。

図表 8 Q3-1-1③ コロナ感染者数別 学校再開後_学校との連携:単数回答



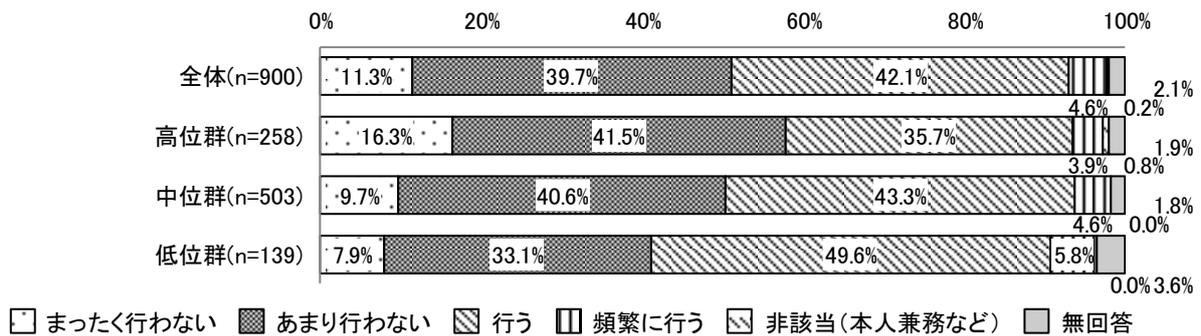
2) 学校への情報照会

⑨ Q3-1-2① コロナ前_学校への情報照会

「全体」では、「行う」が42.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が39.7%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が41.5%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が35.7%となっている。「中位群」では、「行う」が43.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が40.6%となっている。「低位群」では、「行う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が33.1%となっている。

図表 9 Q3-1-2① コロナ感染者数別 コロナ前_学校への情報照会:単数回答

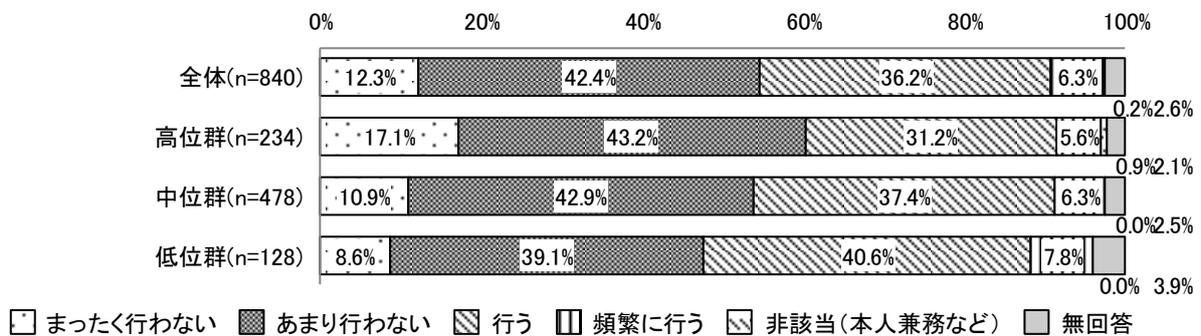


⑩ Q3-1-2② 休校期間中_学校への情報照会

「全体」では、「あまり行わない」が42.4%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が36.2%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が31.2%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が42.9%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が37.4%となっている。「低位群」では、「行う」が40.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が39.1%となっている。

図表 10 Q3-1-2② コロナ感染者数別 休校期間中_学校への情報照会:単数回答

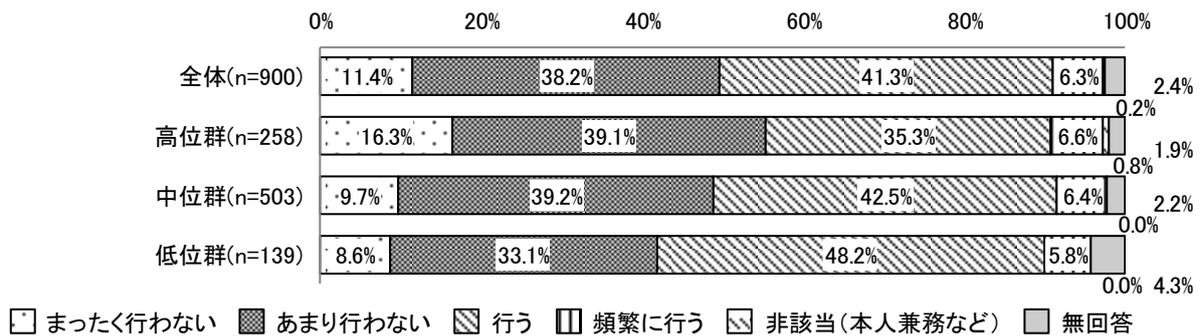


⑪ Q3-1-2③ 学校再開後_学校への情報照会

「全体」では、「行う」が41.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が38.2%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が39.1%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が35.3%となっている。「中位群」では、「行う」が42.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が39.2%となっている。「低位群」では、「行う」が48.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が33.1%となっている。

図表 11 Q3-1-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_学校への情報照会:単数回答



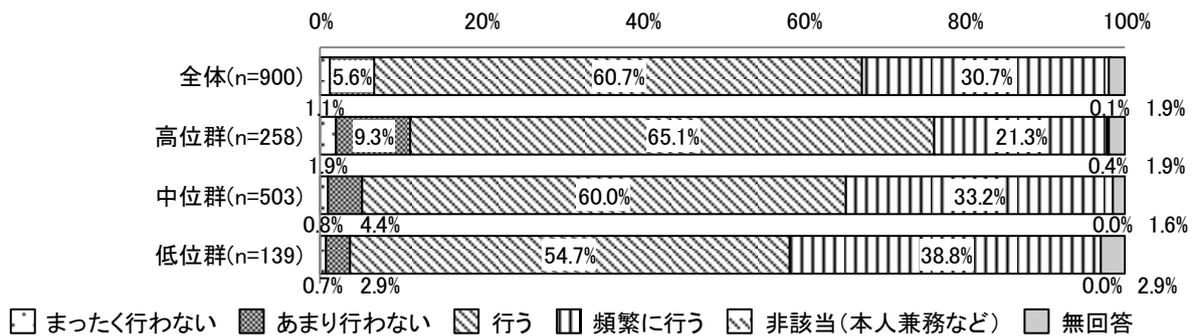
3) 保育園・幼稚園との連携

⑫ Q3-2-1① コロナ前_保育園・幼稚園との連携

「全体」では、「行う」が60.7%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が30.7%となっている。

「高位群」では、「行う」が65.1%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が21.3%となっている。「中位群」では、「行う」が60.0%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が33.2%となっている。「低位群」では、「行う」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が38.8%となっている。

図表 12 Q3-2-1① コロナ感染者数別 コロナ前_保育園・幼稚園との連携:単数回答

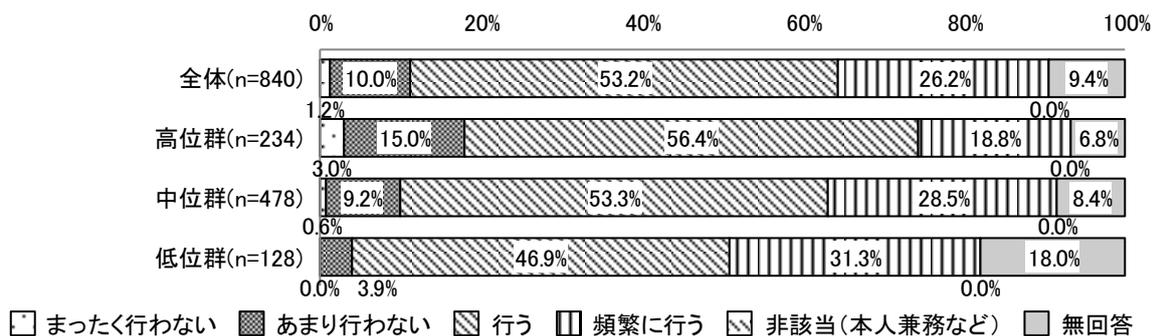


⑬ Q3-2-1② 休校期間中_保育園・幼稚園との連携

「全体」では、「行う」が53.2%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が26.2%となっている。

「高位群」では、「行う」が56.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が18.8%となっている。「中位群」では、「行う」が53.3%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が28.5%となっている。「低位群」では、「行う」が46.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が31.3%となっている。

図表 13 Q3-2-1② コロナ感染者数別 休校期間中_保育園・幼稚園との連携:単数回答

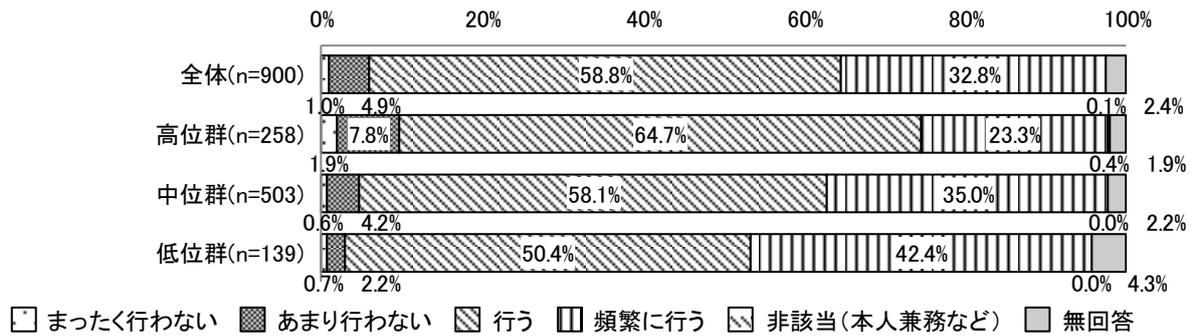


⑭ Q3-2-1③ 学校再開後_保育園・幼稚園との連携

「全体」では、「行う」が 58.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が 32.8%となっている。

「高位群」では、「行う」が 64.7%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が 23.3%となっている。「中位群」では、「行う」が 58.1%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が 35.0%となっている。「低位群」では、「行う」が 50.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が 42.4%となっている。

図表 14 Q3-2-1③ コロナ感染者数別 学校再開後_保育園・幼稚園との連携:単数回答



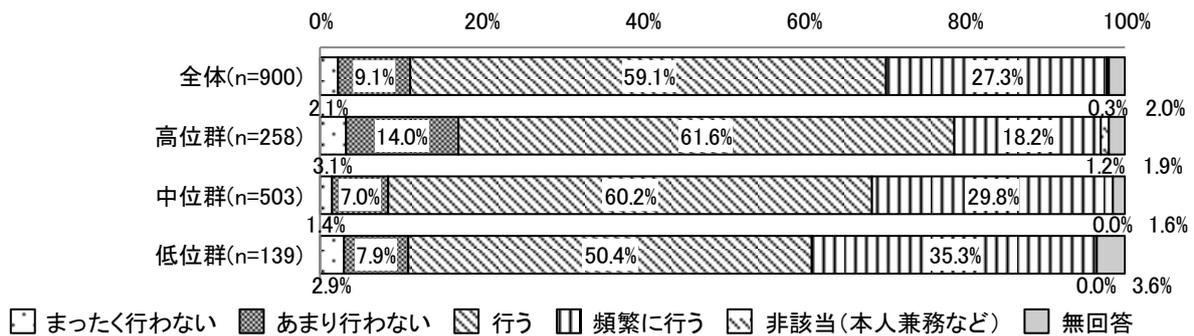
4) 保育園・幼稚園への情報照会

⑮ Q3-2-2① コロナ前_保育園・幼稚園への情報照会

「全体」では、「行く」が59.1%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が27.3%となっている。

「高位群」では、「行く」が61.6%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が18.2%となっている。「中位群」では、「行く」が60.2%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が29.8%となっている。「低位群」では、「行く」が50.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が35.3%となっている。

図表 15 Q3-2-2① コロナ感染者数別 コロナ前_保育園・幼稚園への情報照会:単数回答

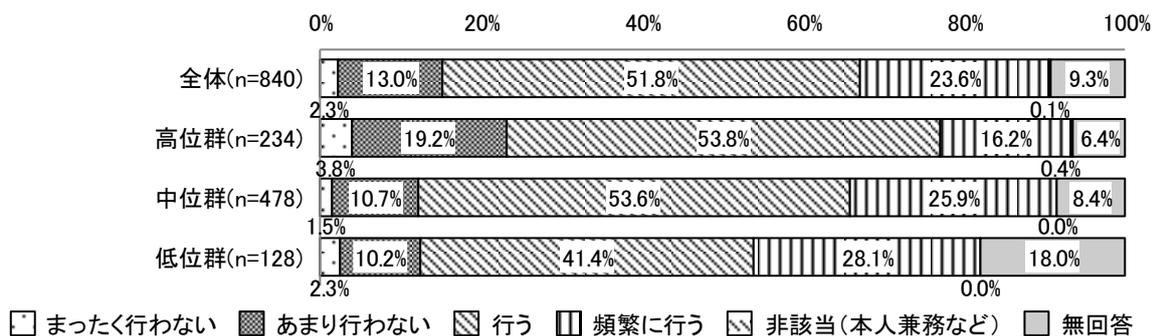


⑯ Q3-2-2② 休校期間中_保育園・幼稚園への情報照会

「全体」では、「行く」が51.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が23.6%となっている。

「高位群」では、「行く」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.2%となっている。「中位群」では、「行く」が53.6%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が25.9%となっている。「低位群」では、「行く」が41.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が28.1%となっている。

図表 16 Q3-2-2② コロナ感染者数別 休校期間中_保育園・幼稚園への情報照会:単数回答

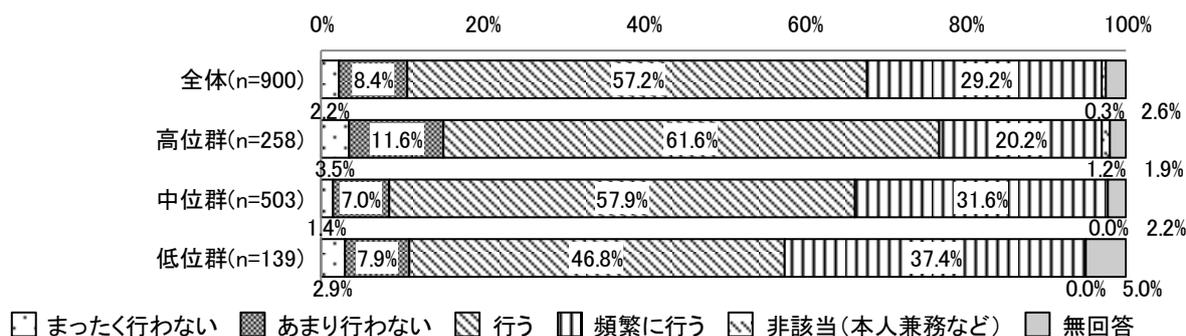


⑰ Q3-2-2③ 学校再開後_保育園・幼稚園への情報照会

「全体」では、「行う」が57.2%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が29.2%となっている。

「高位群」では、「行う」が61.6%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が20.2%となっている。「中位群」では、「行う」が57.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が31.6%となっている。「低位群」では、「行う」が46.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が37.4%となっている。

図表 17 Q3-2-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_保育園・幼稚園への情報照会:単数回答



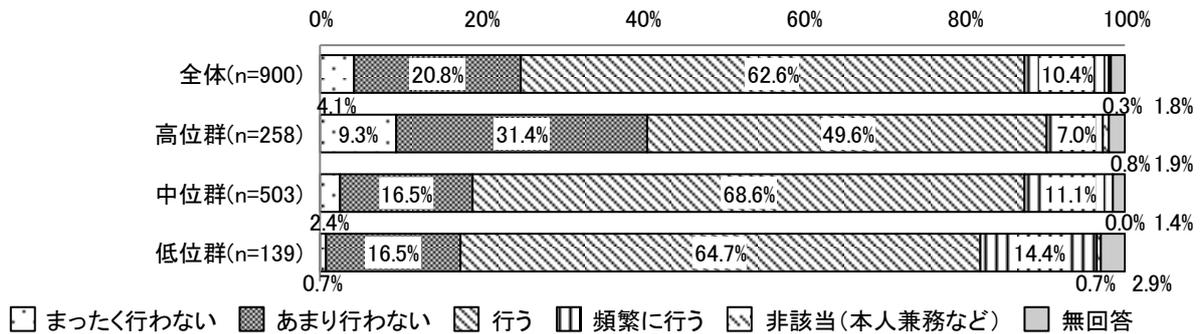
5) 教育委員会との連携

⑱ Q3-3-1① コロナ前_教育委員会との連携

「全体」では、「行う」が62.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が20.8%となっている。

「高位群」では、「行う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が31.4%となっている。「中位群」では、「行う」が68.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が16.5%となっている。「低位群」では、「行う」が64.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が16.5%となっている。

図表 18 Q3-3-1① コロナ感染者数別 コロナ前_教育委員会との連携:単数回答

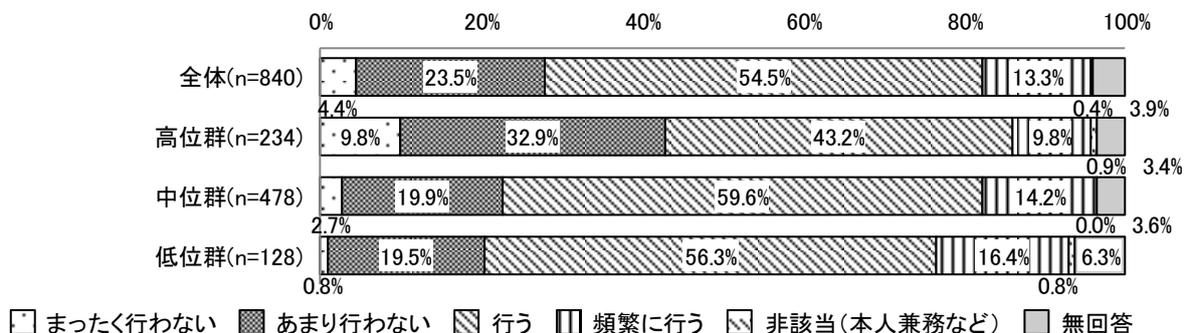


⑲ Q3-3-1② 休校期間中_教育委員会との連携

「全体」では、「行う」が54.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が23.5%となっている。

「高位群」では、「行う」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が32.9%となっている。「中位群」では、「行う」が59.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.9%となっている。「低位群」では、「行う」が56.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.5%となっている。

図表 19 Q3-3-1② コロナ感染者数別 休校期間中_教育委員会との連携:単数回答

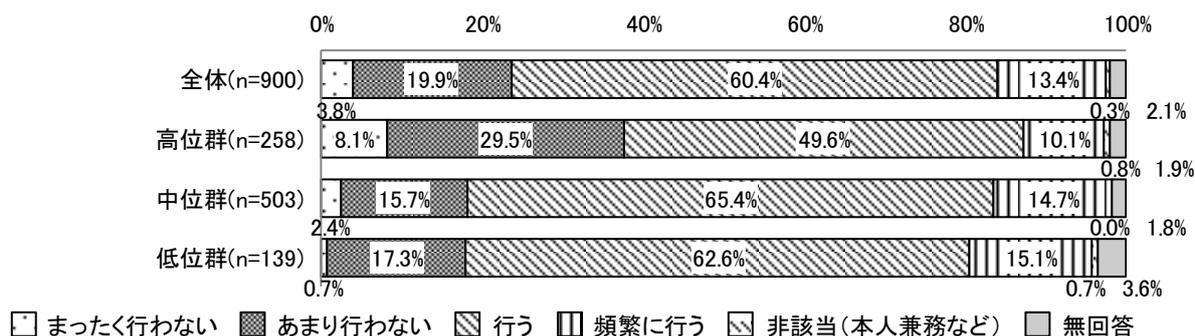


⑳ Q3-3-1㉓ 学校再開後_教育委員会との連携

「全体」では、「行う」が60.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.9%となっている。

「高位群」では、「行う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が29.5%となっている。「中位群」では、「行う」が65.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が15.7%となっている。「低位群」では、「行う」が62.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が17.3%となっている。

図表 20 Q3-3-1㉓ コロナ感染者数別 学校再開後_教育委員会との連携:単数回答



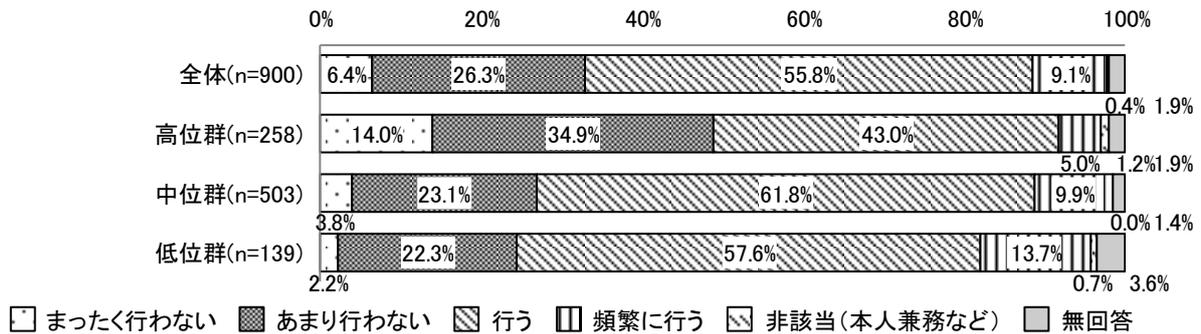
6) 教育委員会への情報照会

21 Q3-3-2① コロナ前_教育委員会への情報照会

「全体」では、「行う」が 55.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 26.3%となっている。

「高位群」では、「行う」が 43.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 34.9%となっている。「中位群」では、「行う」が 61.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 23.1%となっている。「低位群」では、「行う」が 57.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 22.3%となっている。

図表 21 Q3-3-2① コロナ感染者数別 コロナ前_教育委員会への情報照会:単数回答

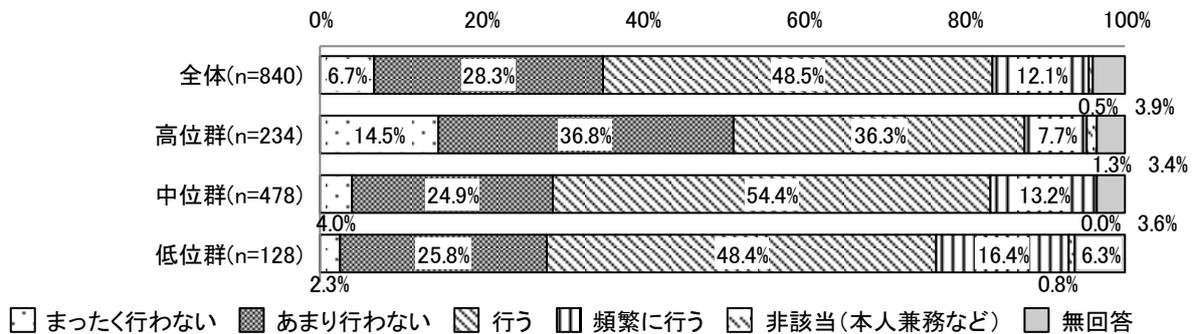


22 Q3-3-2② 休校期間中_教育委員会への情報照会

「全体」では、「行う」が 48.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 28.3%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が 36.8%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が 36.3%となっている。「中位群」では、「行う」が 54.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 24.9%となっている。「低位群」では、「行う」が 48.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が 25.8%となっている。

図表 22 Q3-3-2② コロナ感染者数別 休校期間中_教育委員会への情報照会:単数回答

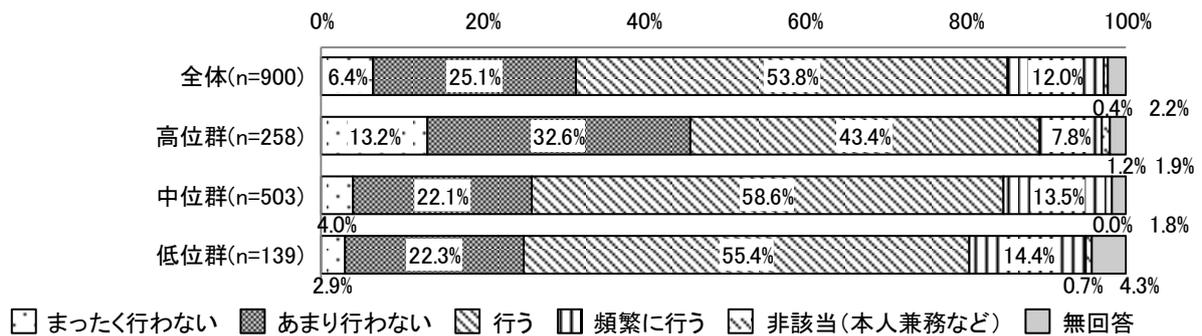


23 Q3-3-2③ 学校再開後_教育委員会への情報照会

「全体」では、「行う」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.1%となっている。

「高位群」では、「行う」が43.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が32.6%となっている。「中位群」では、「行う」が58.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が22.1%となっている。「低位群」では、「行う」が55.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が22.3%となっている。

図表 23 Q3-3-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_教育委員会への情報照会:単数回答



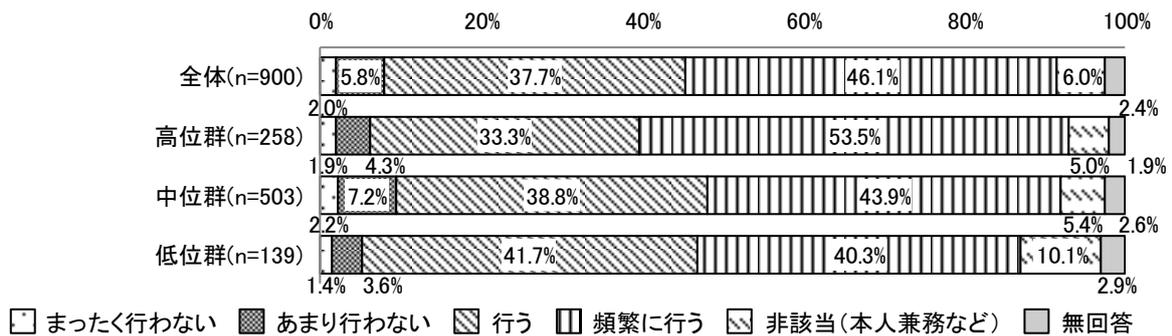
7) 児童相談部局との連携

24 Q3-4-1① コロナ前_児童相談部局との連携

「全体」では、「頻繁に行く」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が37.7%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が53.5%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が33.3%となっている。「中位群」では、「頻繁に行く」が43.9%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が38.8%となっている。「低位群」では、「行く」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が40.3%となっている。

図表 24 Q3-4-1① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談部局との連携:単数回答

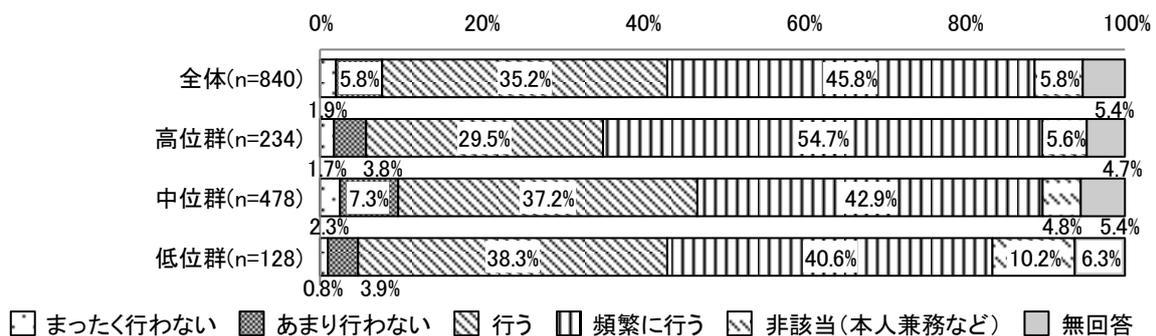


25 Q3-4-1② 休校期間中_児童相談部局との連携

「全体」では、「頻繁に行く」が45.8%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が35.2%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が29.5%となっている。「中位群」では、「頻繁に行く」が42.9%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が37.2%となっている。「低位群」では、「頻繁に行く」が40.6%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が38.3%となっている。

図表 25 Q3-4-1② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談部局との連携:単数回答

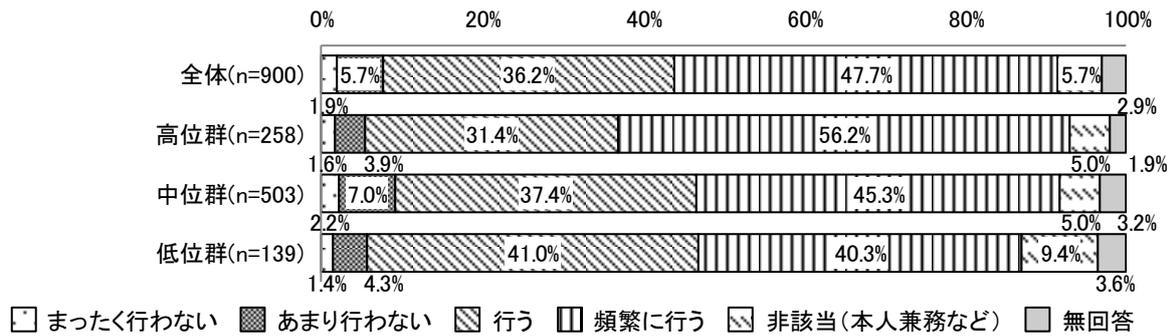


26 Q3-4-1③ 学校再開後_児童相談部局との連携

「全体」では、「頻繁に行く」が47.7%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が36.2%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が56.2%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が31.4%となっている。「中位群」では、「頻繁に行く」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が37.4%となっている。「低位群」では、「行く」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が40.3%となっている。

図表 26 Q3-4-1③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談部局との連携:単数回答



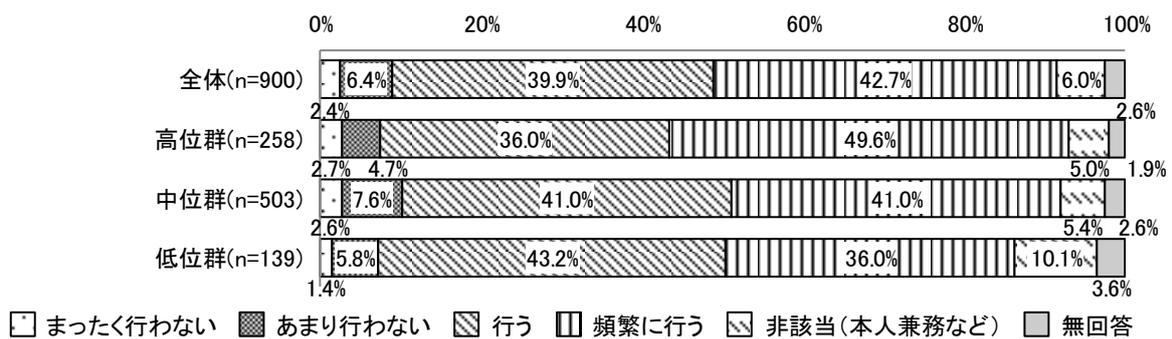
8) 児童相談部局への情報照会

27 Q3-4-2① コロナ前_児童相談部局への情報照会

「全体」では、「頻繁に行く」が42.7%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が39.9%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が36.0%となっている。「中位群」では、「行く」「頻繁に行く」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が7.6%となっている。「低位群」では、「行く」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が36.0%となっている。

図表 27 Q3-4-2① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談部局への情報照会:単数回答

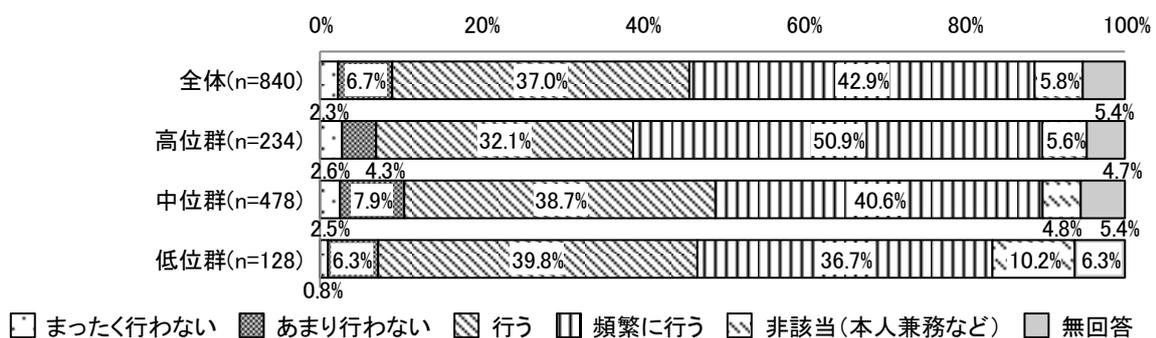


28 Q3-4-2② 休校期間中_児童相談部局への情報照会

「全体」では、「頻繁に行く」が42.9%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が37.0%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が50.9%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が32.1%となっている。「中位群」では、「頻繁に行く」が40.6%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が38.7%となっている。「低位群」では、「行く」が39.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が36.7%となっている。

図表 28 Q3-4-2② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談部局への情報照会:単数回答

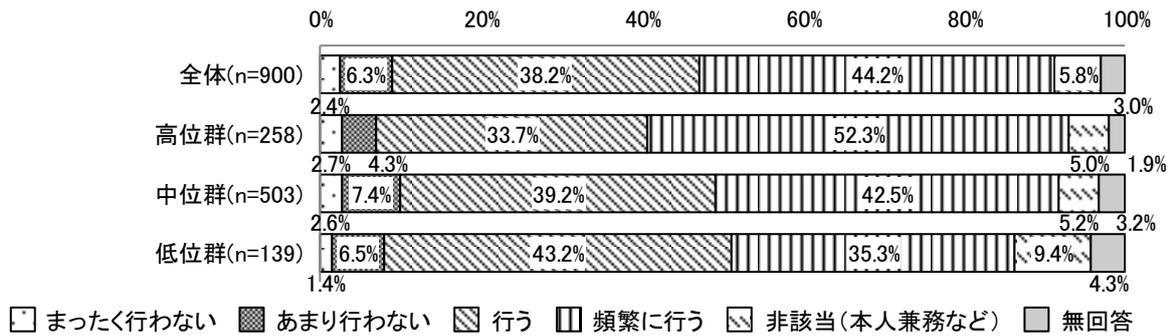


29 Q3-4-2③ 学校再開後_児童相談部局への情報照会

「全体」では、「頻繁に行く」が44.2%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が38.2%となっている。

「高位群」では、「頻繁に行く」が52.3%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が33.7%となっている。「中位群」では、「頻繁に行く」が42.5%でもっとも割合が高く、次いで「行く」が39.2%となっている。「低位群」では、「行く」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行く」が35.3%となっている。

図表 29 Q3-4-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談部局への情報照会:単数回答



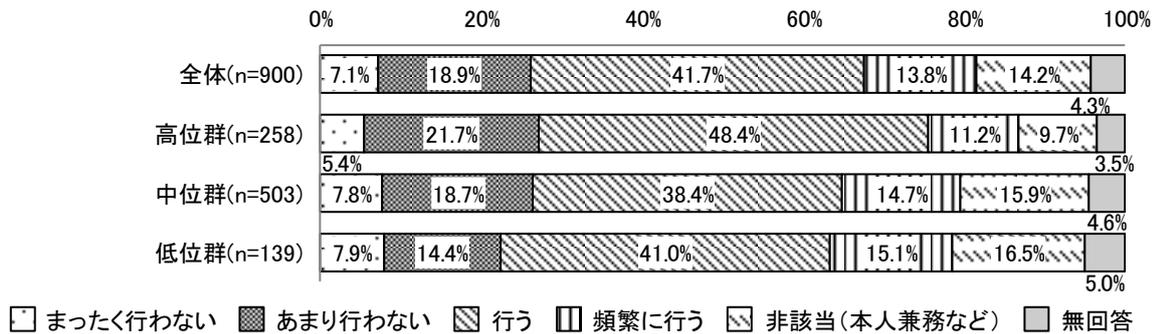
9) 女性母子相談部局との連携

30 Q3-4-3① コロナ前_女性母子相談部局との連携

「全体」では、「行う」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.9%となっている。

「高位群」では、「行う」が48.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.7%となっている。「中位群」では、「行う」が38.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.7%となっている。「低位群」では、「行う」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「非該当（本人兼務など）」が16.5%となっている。

図表 30 Q3-4-3① コロナ感染者数別 コロナ前_女性母子相談部局との連携:単数回答

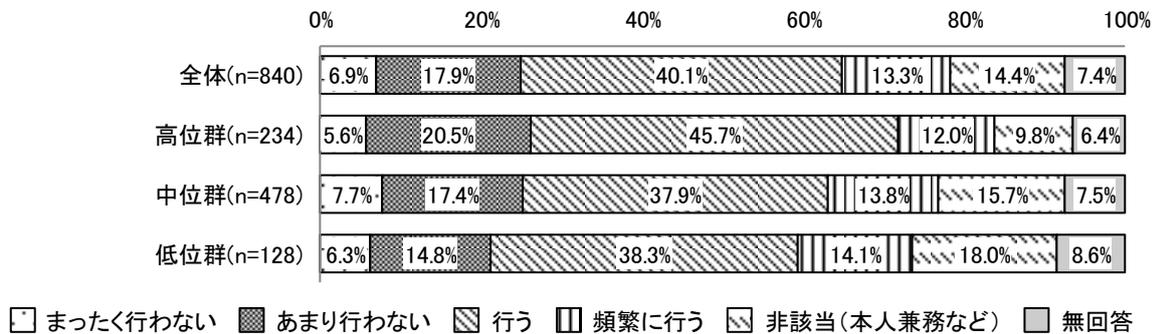


31 Q3-4-3② 休校期間中_女性母子相談部局との連携

「全体」では、「行う」が40.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が17.9%となっている。

「高位群」では、「行う」が45.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が20.5%となっている。「中位群」では、「行う」が37.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が17.4%となっている。「低位群」では、「行う」が38.3%でもっとも割合が高く、次いで「非該当（本人兼務など）」が18.0%となっている。

図表 31 Q3-4-3② コロナ感染者数別 休校期間中_女性母子相談部局との連携:単数回答

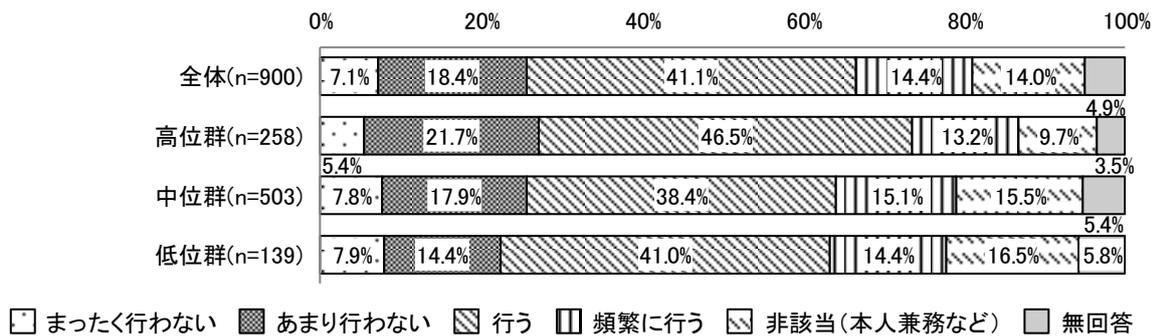


32 Q3-4-3③ 学校再開後_女性母子相談部局との連携

「全体」では、「行う」が41.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.4%となっている。

「高位群」では、「行う」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.7%となっている。「中位群」では、「行う」が38.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が17.9%となっている。「低位群」では、「行う」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「非該当（本人兼務など）」が16.5%となっている。

図表 32 Q3-4-3③ コロナ感染者数別 学校再開後_女性母子相談部局との連携:単数回答



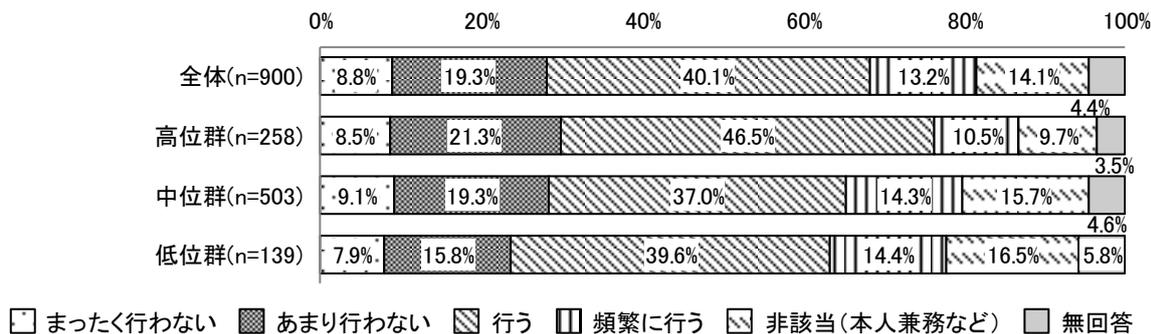
10) 女性母子相談部局への情報照会

33 Q3-4-4① コロナ前_女性母子相談部局への情報照会

「全体」では、「行う」が40.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.3%となっている。

「高位群」では、「行う」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.3%となっている。「中位群」では、「行う」が37.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.3%となっている。「低位群」では、「行う」が39.6%でもっとも割合が高く、次いで「非該当（本人兼務など）」が16.5%となっている。

図表 33 Q3-4-4① コロナ感染者数別 コロナ前_女性母子相談部局への情報照会:単数回答

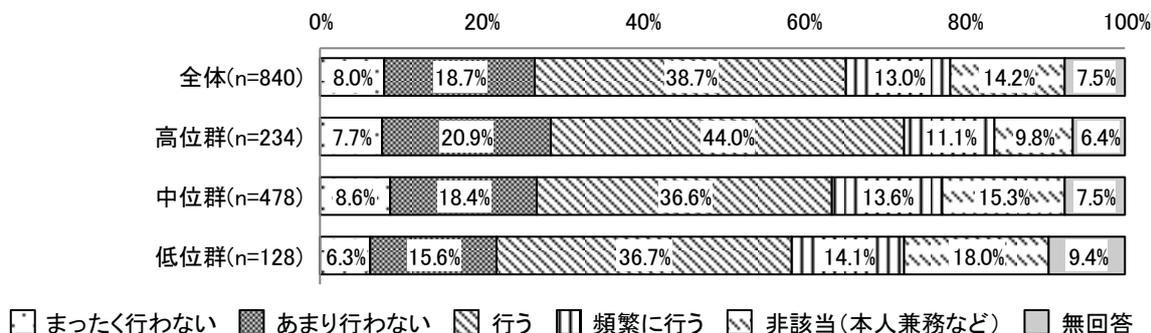


34 Q3-4-4② 休校期間中_女性母子相談部局への情報照会

「全体」では、「行う」が38.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.7%となっている。

「高位群」では、「行う」が44.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が20.9%となっている。「中位群」では、「行う」が36.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.4%となっている。「低位群」では、「行う」が36.7%でもっとも割合が高く、次いで「非該当（本人兼務など）」が18.0%となっている。

図表 34 Q3-4-4② コロナ感染者数別 休校期間中_女性母子相談部局への情報照会:単数回答

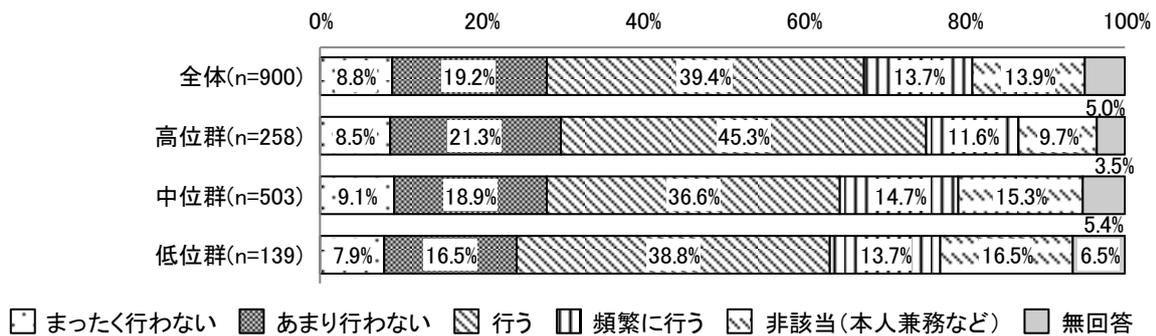


35 Q3-4-4③ 学校再開後_女性母子相談部局への情報照会

「全体」では、「行う」が39.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.2%となっている。

「高位群」では、「行う」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.3%となっている。「中位群」では、「行う」が36.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.9%となっている。「低位群」では、「行う」が38.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」「非該当（本人兼務など）」が16.5%となっている。

図表 35 Q3-4-4③ コロナ感染者数別 学校再開後_女性母子相談部局への情報照会:単数回答



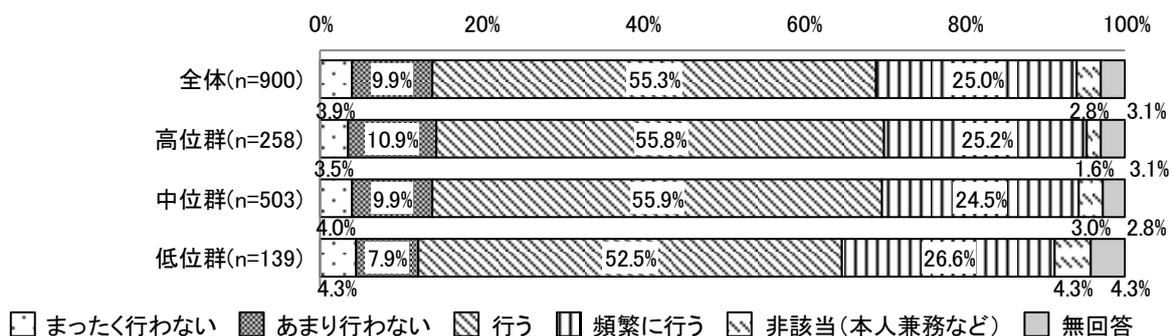
11) 保育部局との連携

36 Q3-4-5① コロナ前_保育部局との連携

「全体」では、「行う」が55.3%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が25.0%となっている。

「高位群」では、「行う」が55.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が25.2%となっている。「中位群」では、「行う」が55.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.5%となっている。「低位群」では、「行う」が52.5%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が26.6%となっている。

図表 36 Q3-4-5① コロナ感染者数別 コロナ前_保育部局との連携:単数回答

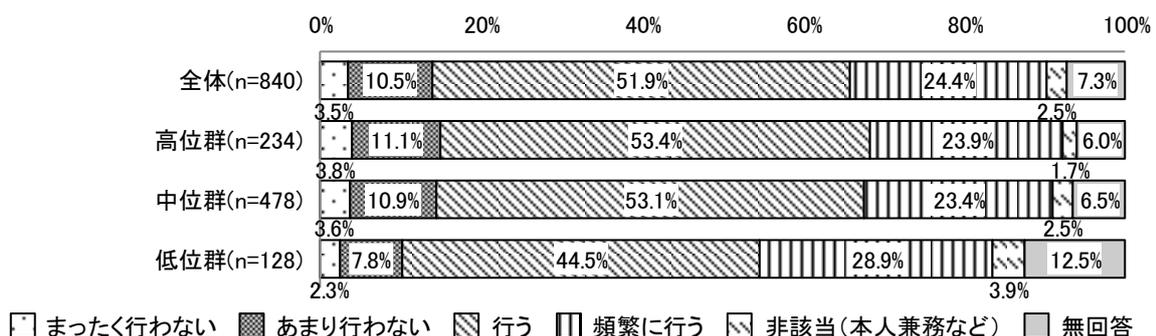


37 Q3-4-5② 休校期間中_保育部局との連携

「全体」では、「行う」が51.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.4%となっている。

「高位群」では、「行う」が53.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が23.9%となっている。「中位群」では、「行う」が53.1%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が23.4%となっている。「低位群」では、「行う」が44.5%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が28.9%となっている。

図表 37 Q3-4-5② コロナ感染者数別 休校期間中_保育部局との連携:単数回答

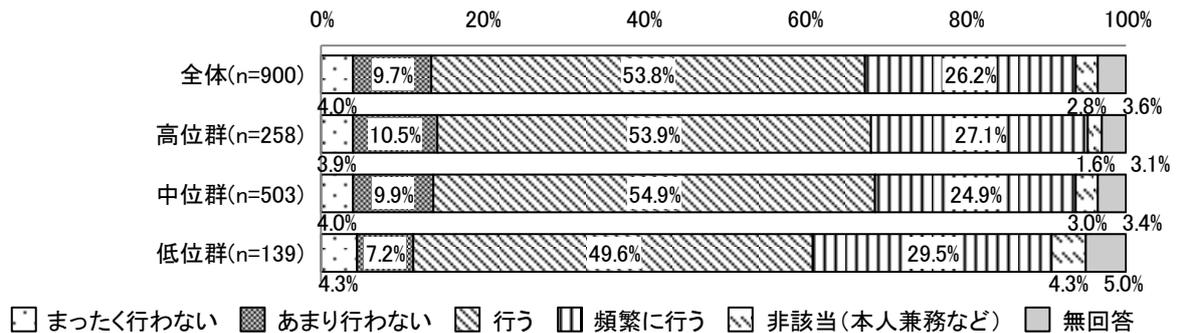


38 Q3-4-5③ 学校再開後_保育部局との連携

「全体」では、「行う」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が26.2%となっている。

「高位群」では、「行う」が53.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が27.1%となっている。「中位群」では、「行う」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.9%となっている。「低位群」では、「行う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が29.5%となっている。

図表 38 Q3-4-5③ コロナ感染者数別 学校再開後_保育部局との連携:単数回答



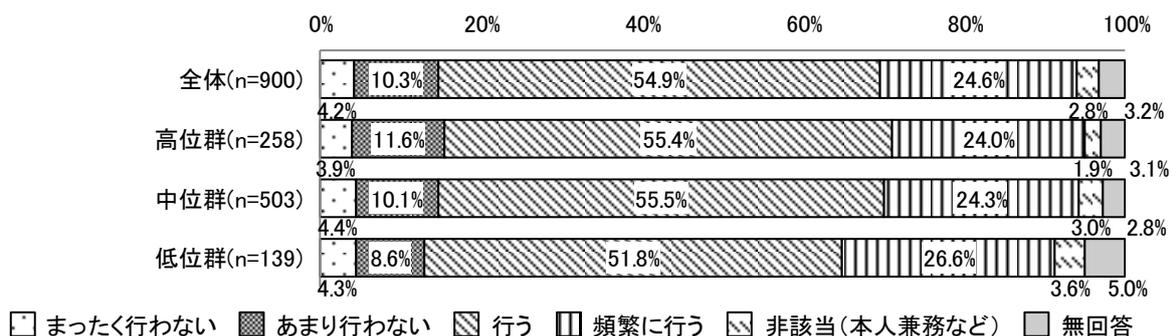
12) 保育部局への情報照会

39 Q3-4-6① コロナ前_保育部局への情報照会

「全体」では、「行う」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.6%となっている。

「高位群」では、「行う」が55.4%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.0%となっている。「中位群」では、「行う」が55.5%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.3%となっている。「低位群」では、「行う」が51.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が26.6%となっている。

図表 39 Q3-4-6① コロナ感染者数別 コロナ前_保育部局への情報照会:単数回答

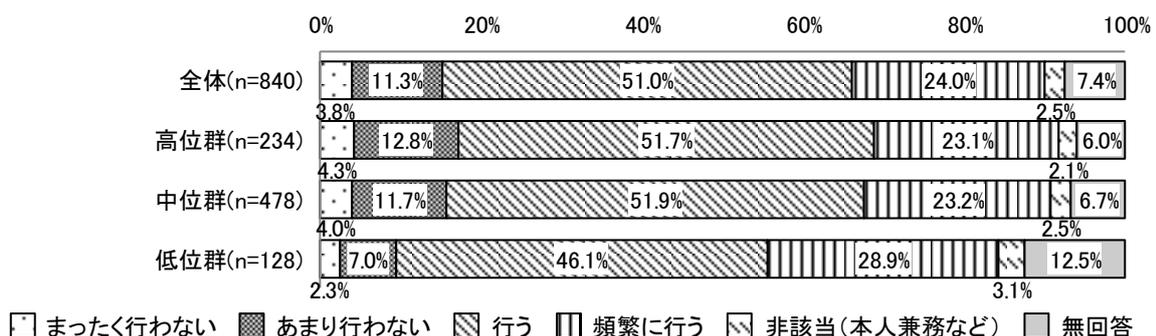


40 Q3-4-6② 休校期間中_保育部局への情報照会

「全体」では、「行う」が51.0%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.0%となっている。

「高位群」では、「行う」が51.7%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が23.1%となっている。「中位群」では、「行う」が51.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が23.2%となっている。「低位群」では、「行う」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が28.9%となっている。

図表 40 Q3-4-6② コロナ感染者数別 休校期間中_保育部局への情報照会:単数回答

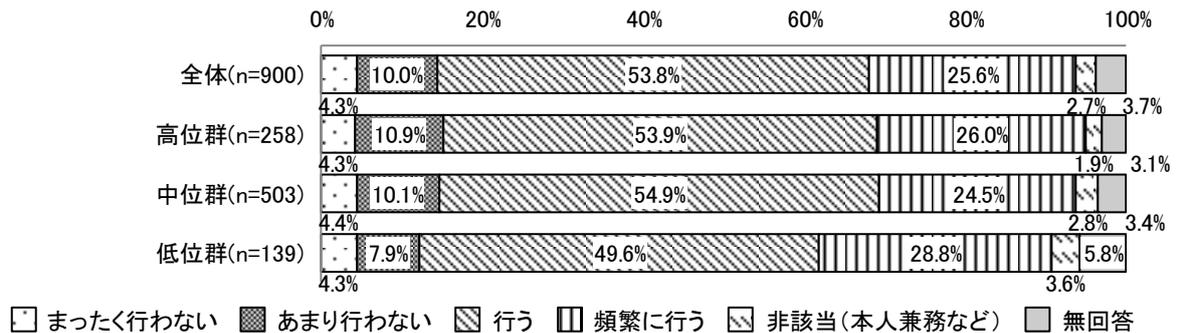


41 Q3-4-6③ 学校再開後_保育部局への情報照会

「全体」では、「行う」が53.8%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が25.6%となっている。

「高位群」では、「行う」が53.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が26.0%となっている。「中位群」では、「行う」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が24.5%となっている。「低位群」では、「行う」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「頻繁に行う」が28.8%となっている。

図表 41 Q3-4-6③ コロナ感染者数別 学校再開後_保育部局への情報照会:単数回答



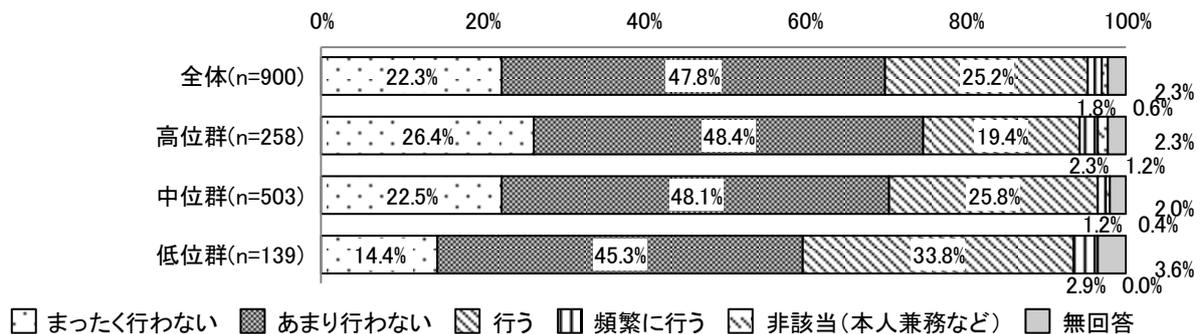
13) 警察との連携

42 Q3-5-1① コロナ前_警察との連携

「全体」では、「あまり行わない」が47.8%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が25.2%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が48.4%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が26.4%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が48.1%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が25.8%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が33.8%となっている。

図表 42 Q3-5-1① コロナ感染者数別 コロナ前_警察との連携:単数回答

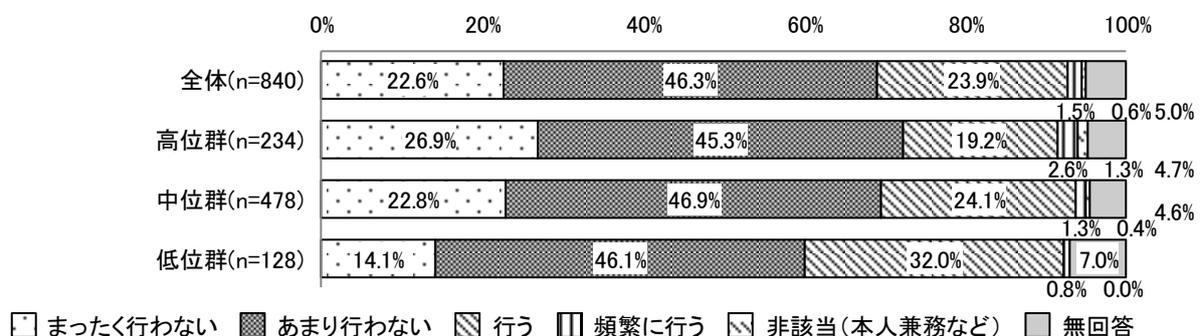


43 Q3-5-1② 休校期間中_警察との連携

「全体」では、「あまり行わない」が46.3%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が23.9%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が26.9%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が46.9%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が24.1%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が32.0%となっている。

図表 43 Q3-5-1② コロナ感染者数別 休校期間中_警察との連携:単数回答

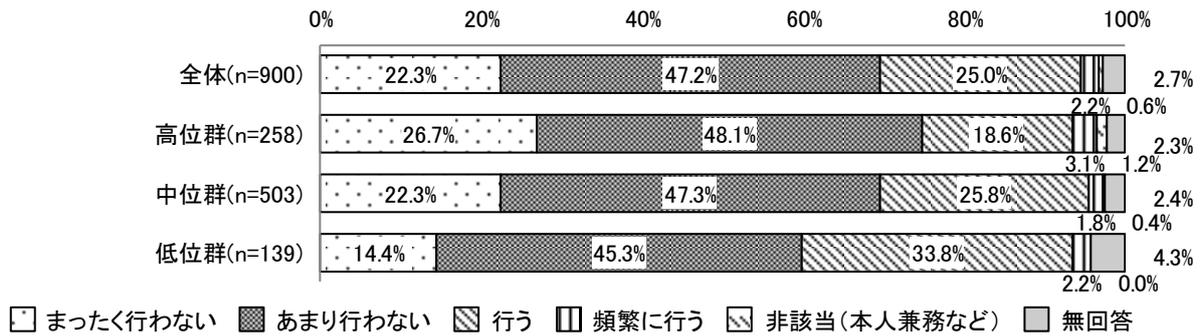


44 Q3-5-1③ 学校再開後_警察との連携

「全体」では、「あまり行わない」が47.2%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が25.0%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が48.1%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が26.7%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が47.3%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が25.8%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が33.8%となっている。

図表 44 Q3-5-1③ コロナ感染者数別 学校再開後_警察との連携:単数回答



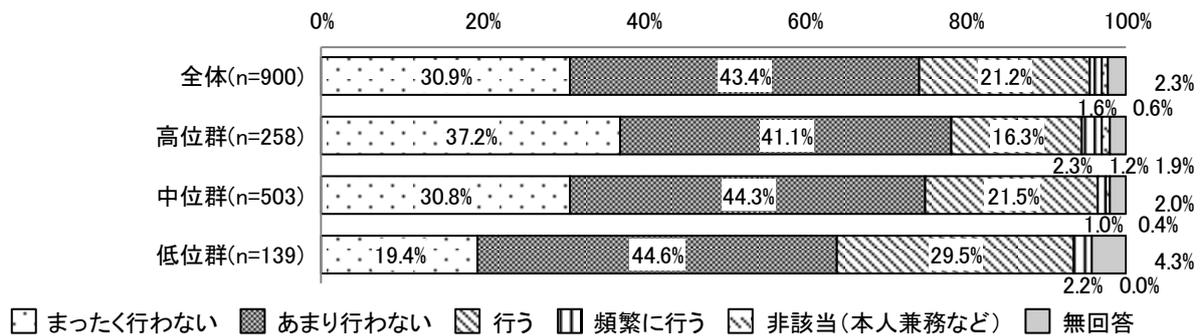
14) 警察への情報照会

45 Q3-5-2① コロナ前_警察への情報照会

「全体」では、「あまり行わない」が 43.4%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 30.9%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が 41.1%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 37.2%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が 44.3%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 30.8%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が 44.6%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が 29.5%となっている。

図表 45 Q3-5-2① コロナ感染者数別 コロナ前_警察への情報照会:単数回答

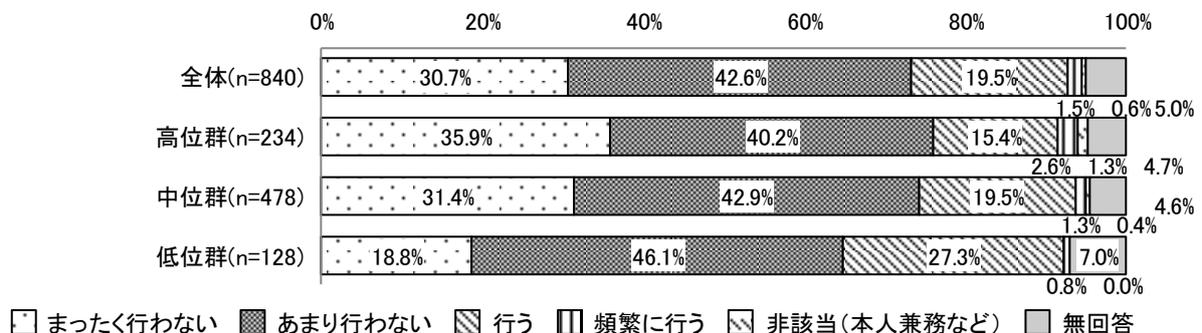


46 Q3-5-2② 休校期間中_警察への情報照会

「全体」では、「あまり行わない」が 42.6%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 30.7%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が 40.2%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 35.9%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が 42.9%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が 31.4%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が 46.1%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が 27.3%となっている。

図表 46 Q3-5-2② コロナ感染者数別 休校期間中_警察への情報照会:単数回答

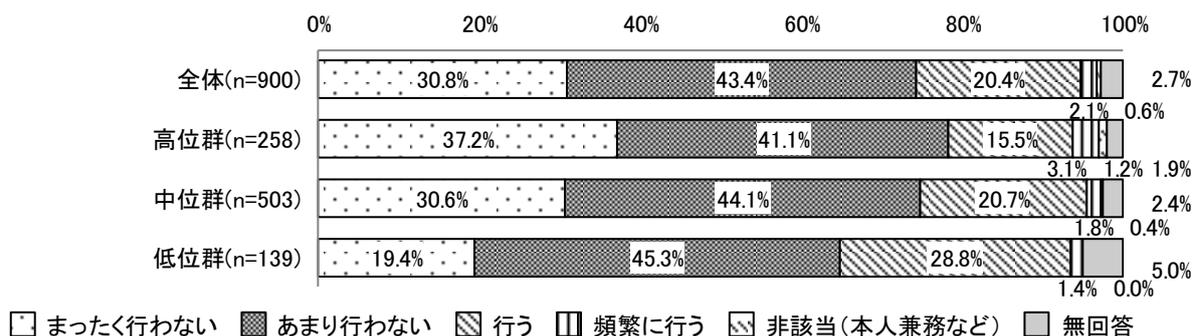


47 Q3-5-2③ 学校再開後_警察への情報照会

「全体」では、「あまり行わない」が43.4%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が30.8%となっている。

「高位群」では、「あまり行わない」が41.1%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が37.2%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が44.1%でもっとも割合が高く、次いで「まったく行わない」が30.6%となっている。「低位群」では、「あまり行わない」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が28.8%となっている。

図表 47 Q3-5-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_警察への情報照会:単数回答



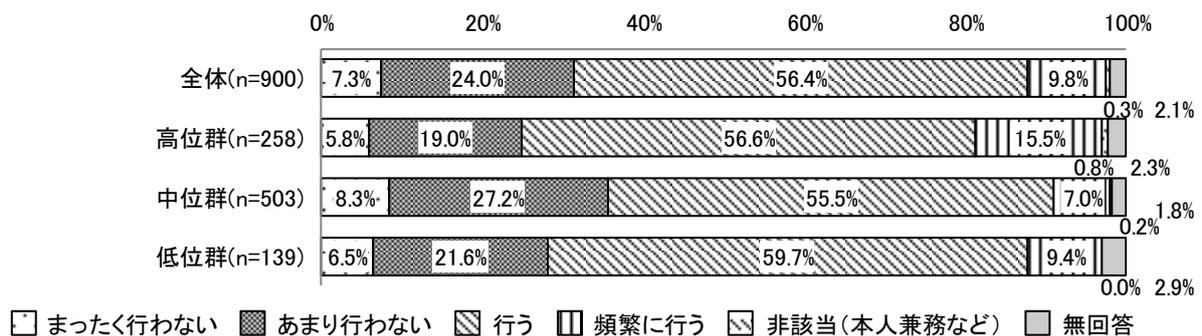
15) 児童相談所との連携

48 Q3-6-1① コロナ前_児童相談所との連携

「全体」では、「行う」が56.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が24.0%となっている。

「高位群」では、「行う」が56.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.0%となっている。「中位群」では、「行う」が55.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が27.2%となっている。「低位群」では、「行う」が59.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.6%となっている。

図表 48 Q3-6-1① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談所との連携:単数回答

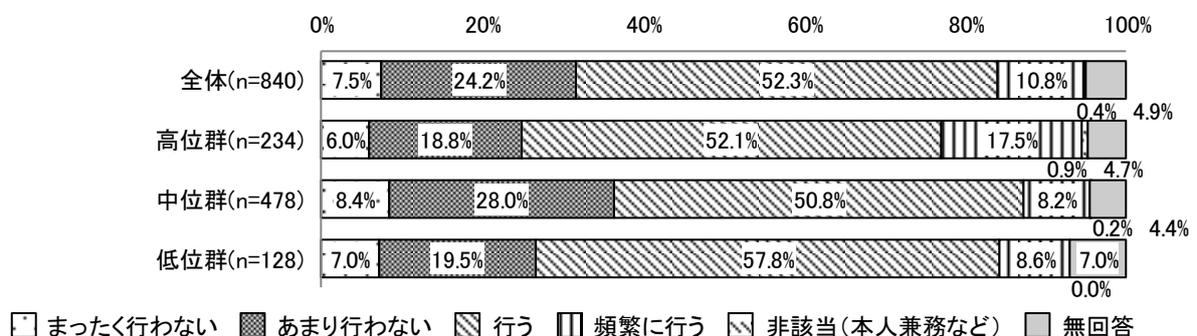


49 Q3-6-1② 休校期間中_児童相談所との連携

「全体」では、「行う」が52.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が24.2%となっている。

「高位群」では、「行う」が52.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が18.8%となっている。「中位群」では、「行う」が50.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が28.0%となっている。「低位群」では、「行う」が57.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.5%となっている。

図表 49 Q3-6-1② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談所との連携:単数回答

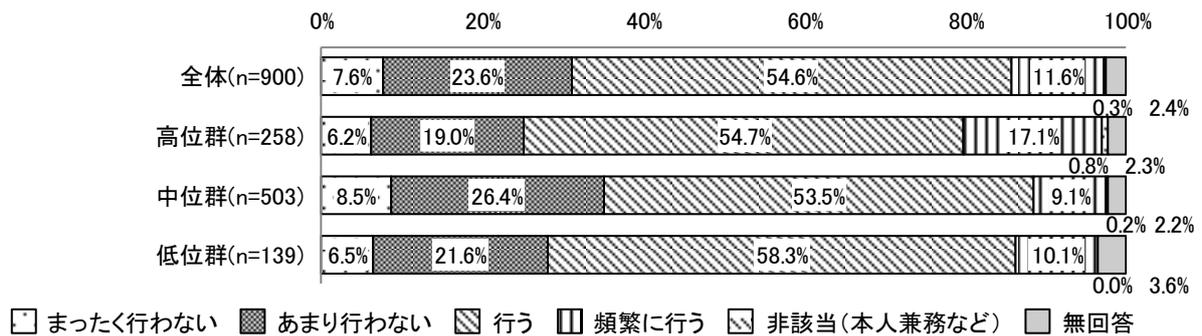


50 Q3-6-1③ 学校再開後_児童相談所との連携

「全体」では、「行う」が54.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が23.6%となっている。

「高位群」では、「行う」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が19.0%となっている。「中位群」では、「行う」が53.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が26.4%となっている。「低位群」では、「行う」が58.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が21.6%となっている。

図表 50 Q3-6-1③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談所との連携:単数回答



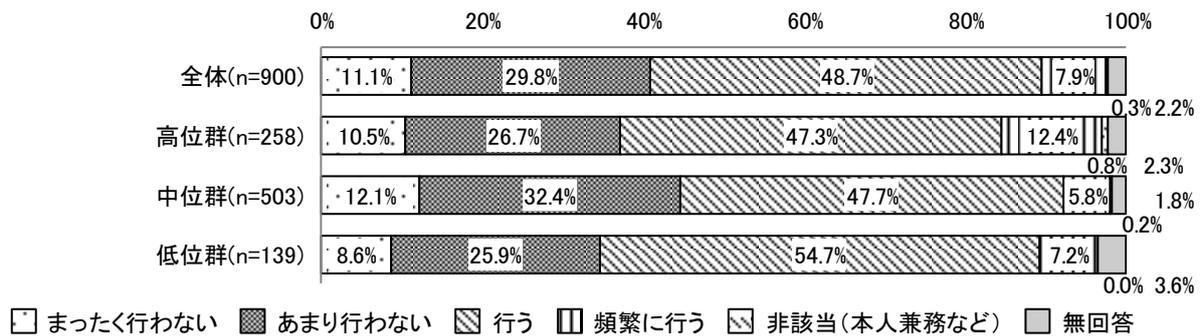
16) 児童相談所への情報照会

51 Q3-6-2① コロナ前_児童相談所への情報照会

「全体」では、「行う」が48.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が29.8%となっている。

「高位群」では、「行う」が47.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が26.7%となっている。「中位群」では、「行う」が47.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が32.4%となっている。「低位群」では、「行う」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.9%となっている。

図表 51 Q3-6-2① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談所への情報照会:単数回答

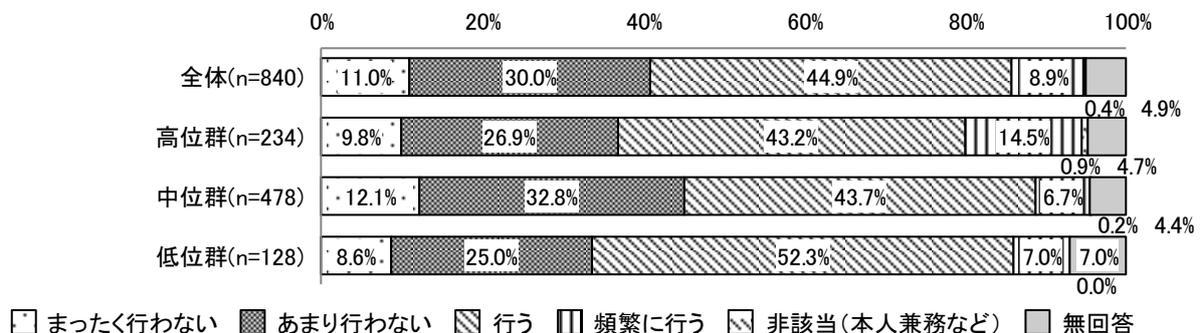


52 Q3-6-2② 休校期間中_児童相談所への情報照会

「全体」では、「行う」が44.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が30.0%となっている。

「高位群」では、「行う」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が26.9%となっている。「中位群」では、「行う」が43.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が32.8%となっている。「低位群」では、「行う」が52.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.0%となっている。

図表 52 Q3-6-2② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談所への情報照会:単数回答

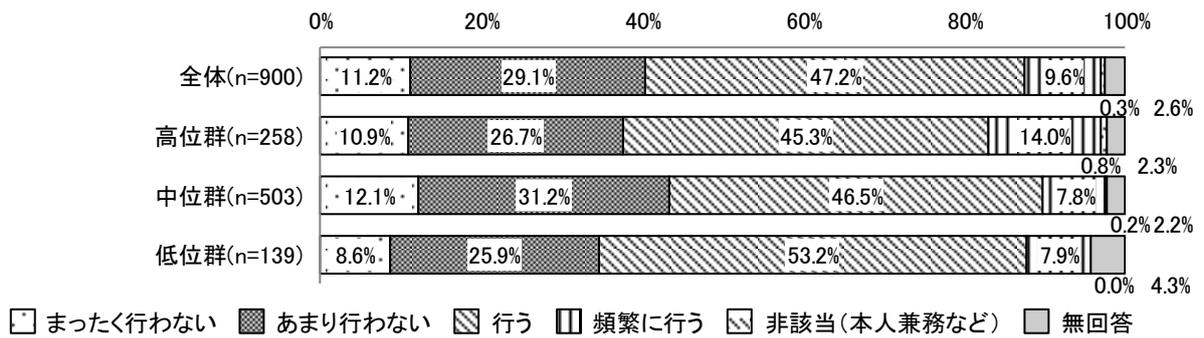


53 Q3-6-2③ 学校再開後_児童相談所への情報照会

「全体」では、「行う」が47.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が29.1%となっている。

「高位群」では、「行う」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が26.7%となっている。「中位群」では、「行う」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が31.2%となっている。「低位群」では、「行う」が53.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.9%となっている。

図表 53 Q3-6-2③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談所への情報照会:単数回答



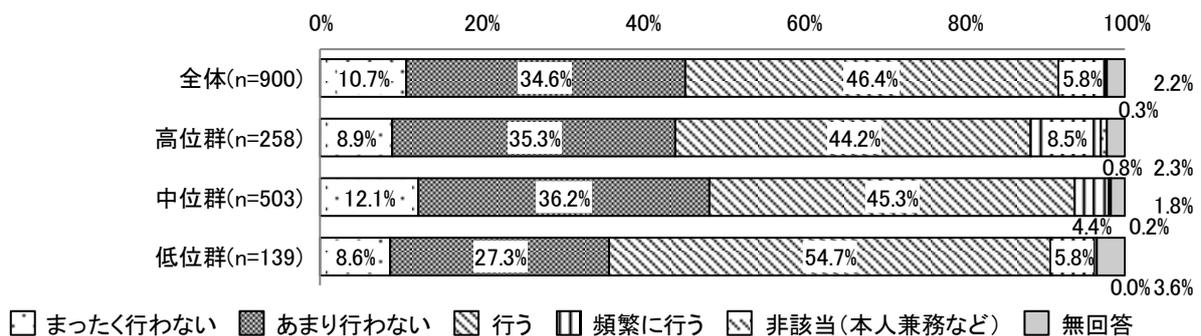
17) 児童相談所からの専門的助言

54 Q3-6-3① コロナ前_児童相談所からの専門的助言

「全体」では、「行う」が46.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.6%となっている。

「高位群」では、「行う」が44.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が35.3%となっている。「中位群」では、「行う」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が36.2%となっている。「低位群」では、「行う」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が27.3%となっている。

図表 54 Q3-6-3① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談所からの専門的助言:単数回答

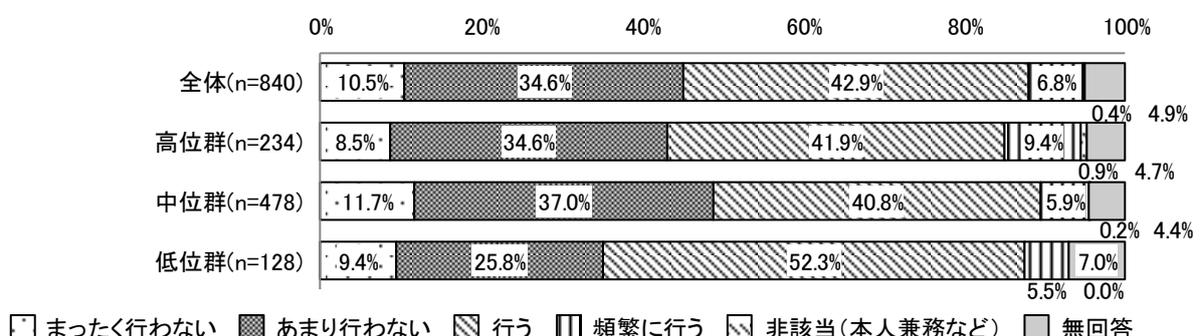


55 Q3-6-3② 休校期間中_児童相談所からの専門的助言

「全体」では、「行う」が42.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.6%となっている。

「高位群」では、「行う」が41.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.6%となっている。「中位群」では、「行う」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.0%となっている。「低位群」では、「行う」が52.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が25.8%となっている。

図表 55 Q3-6-3② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談所からの専門的助言:単数回答

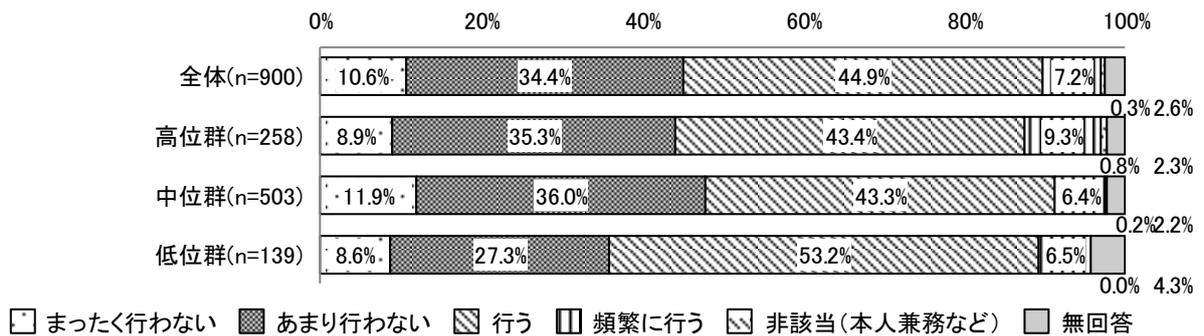


56 Q3-6-3③ 学校再開後_児童相談所からの専門的助言

「全体」では、「行う」が44.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が34.4%となっている。

「高位群」では、「行う」が43.4%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が35.3%となっている。「中位群」では、「行う」が43.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が36.0%となっている。「低位群」では、「行う」が53.2%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が27.3%となっている。

図表 56 Q3-6-3③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談所からの専門的助言:単数回答



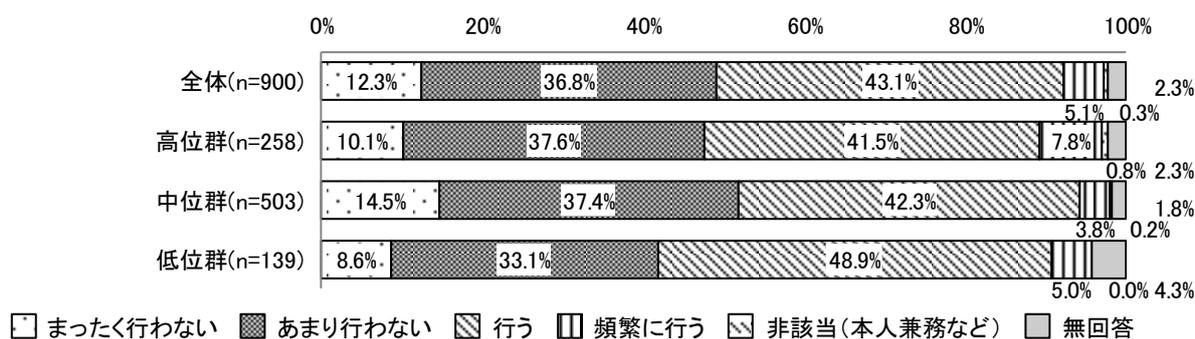
18) 児童相談所からのバックアップ

57 Q3-6-4① コロナ前_児童相談所からのバックアップ

「全体」では、「行う」が43.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が36.8%となっている。

「高位群」では、「行う」が41.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.6%となっている。「中位群」では、「行う」が42.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.4%となっている。「低位群」では、「行う」が48.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が33.1%となっている。

図表 57 Q3-6-4① コロナ感染者数別 コロナ前_児童相談所からのバックアップ:単数回答

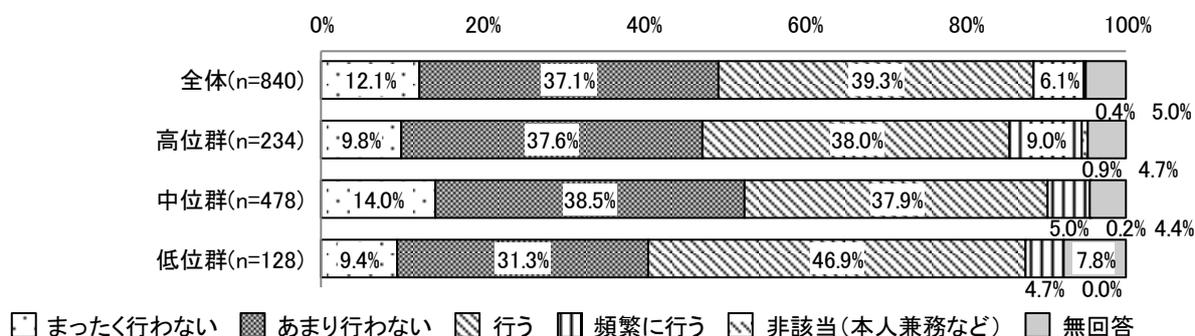


58 Q3-6-4② 休校期間中_児童相談所からのバックアップ

「全体」では、「行う」が39.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.1%となっている。

「高位群」では、「行う」が38.0%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.6%となっている。「中位群」では、「あまり行わない」が38.5%でもっとも割合が高く、次いで「行う」が37.9%となっている。「低位群」では、「行う」が46.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が31.3%となっている。

図表 58 Q3-6-4② コロナ感染者数別 休校期間中_児童相談所からのバックアップ:単数回答

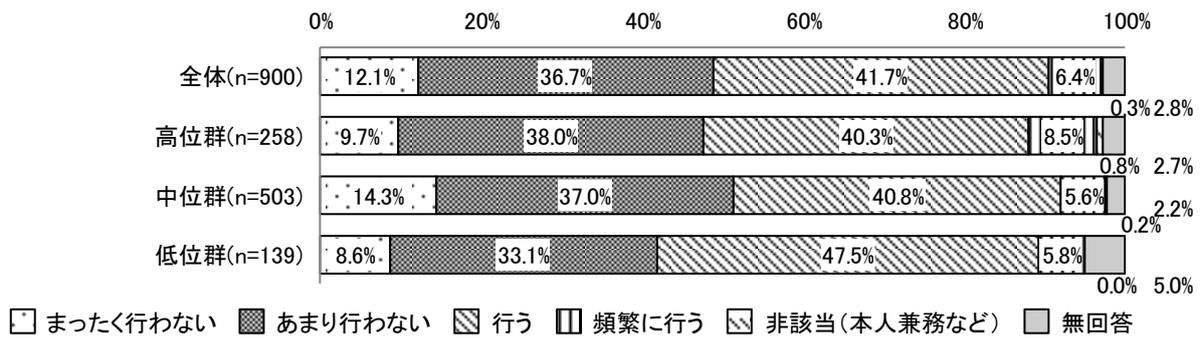


59 Q3-6-4③ 学校再開後_児童相談所からのバックアップ

「全体」では、「行う」が41.7%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が36.7%となっている。

「高位群」では、「行う」が40.3%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が38.0%となっている。「中位群」では、「行う」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が37.0%となっている。「低位群」では、「行う」が47.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまり行わない」が33.1%となっている。

図表 59 Q3-6-4③ コロナ感染者数別 学校再開後_児童相談所からのバックアップ:単数回答



(4) 各事業の実施主体

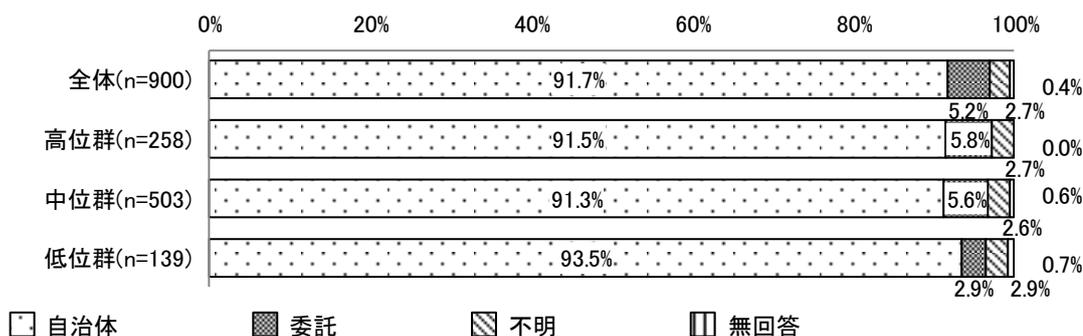
60 Q4-1 実施主体:乳児家庭全戸訪問事業

「全体」では、「自治体」が91.7%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が5.2%となっている。

「高位群」では、「自治体」が91.5%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が5.8%となっている。

「中位群」では、「自治体」が91.3%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が5.6%となっている。「低位群」では、「自治体」が93.5%でもっとも割合が高く、次いで「委託」「不明」が2.9%となっている。

図表 60 Q4-1 コロナ感染者数別 実施主体:乳児家庭全戸訪問事業:単数回答

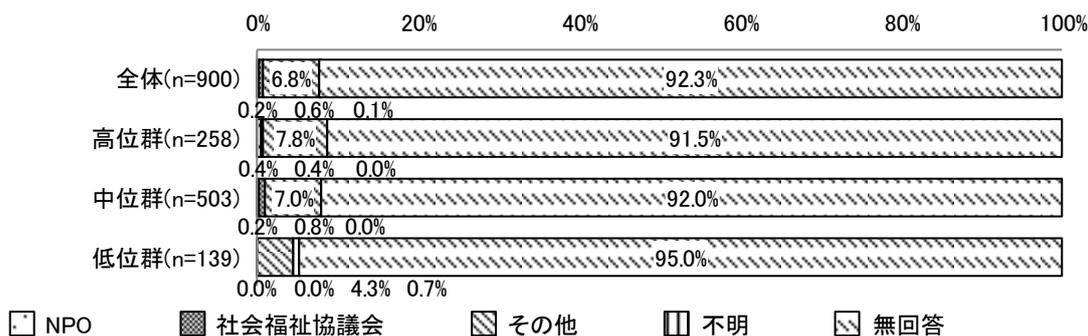


61 Q4-2 実施主体:乳児家庭全戸訪問事業_委託先

「全体」では、「その他」が6.8%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉協議会」が0.6%となっている。

「高位群」では、「その他」が7.8%、「NPO」「社会福祉協議会」が0.4%となっている。「中位群」では、「その他」が7.0%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉協議会」が0.8%となっている。「低位群」では、「その他」が4.3%、「不明」が0.7%となっている。

図表 61 Q4-2 コロナ感染者数別 実施主体:乳児家庭全戸訪問事業_委託先:単数回答



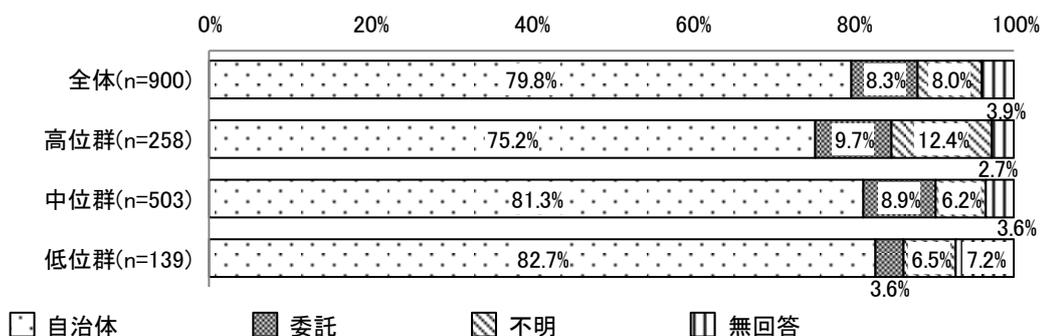
62 Q4-3 実施主体:養育支援訪問事業

「全体」では、「自治体」が79.8%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が8.3%となっている。

「高位群」では、「自治体」が75.2%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が12.4%となっている。

「中位群」では、「自治体」が81.3%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が8.9%となっている。「低位群」では、「自治体」が82.7%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が6.5%となっている。

図表 62 Q4-3 コロナ感染者数別 実施主体:養育支援訪問事業:単数回答

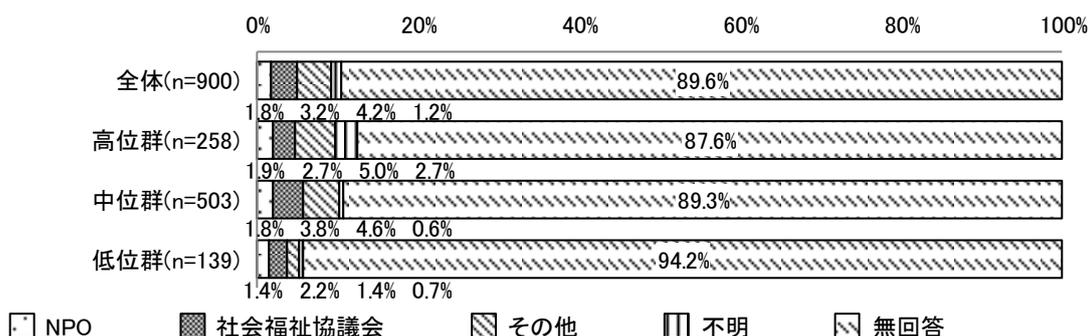


63 Q4-4 実施主体:養育支援訪問事業_委託先

「全体」では、「その他」が4.2%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉協議会」が3.2%となっている。

「高位群」では、「その他」が5.0%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉協議会」「不明」が2.7%となっている。「中位群」では、「その他」が4.6%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉協議会」が3.8%となっている。「低位群」では、「社会福祉協議会」が2.2%でもっとも割合が高く、次いで「NPO」が1.4%となっている。

図表 63 Q4-4 コロナ感染者数別 実施主体:養育支援訪問事業_委託先:単数回答



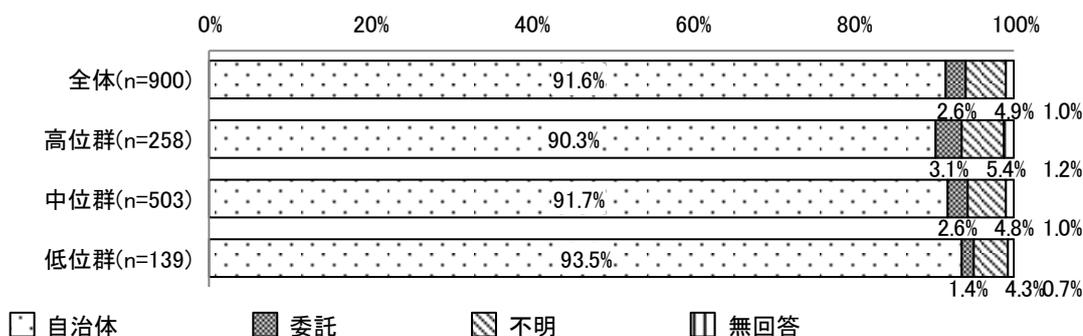
64 Q4-5 実施主体:乳幼児健康診査

「全体」では、「自治体」が91.6%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が4.9%となっている。

「高位群」では、「自治体」が90.3%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が5.4%となっている。

「中位群」では、「自治体」が91.7%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が4.8%となっている。「低位群」では、「自治体」が93.5%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が4.3%となっている。

図表 64 Q4-5 コロナ感染者数別 実施主体:乳幼児健康診査:単数回答

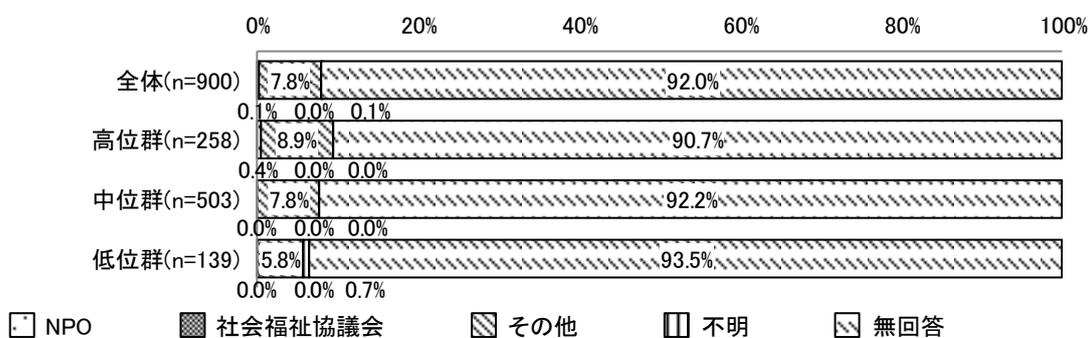


65 Q4-6 実施主体:乳幼児健康診査_委託先

「全体」では、「その他」が7.8%、「NPO」「不明」が0.1%となっている。

「高位群」では、「その他」が8.9%、「NPO」が0.4%となっている。「中位群」では、「その他」が7.8%でもっとも割合が高くなっている。「低位群」では、「その他」が5.8%、「不明」が0.7%となっている。

図表 65 Q4-6 コロナ感染者数別 実施主体:乳幼児健康診査_委託先:単数回答



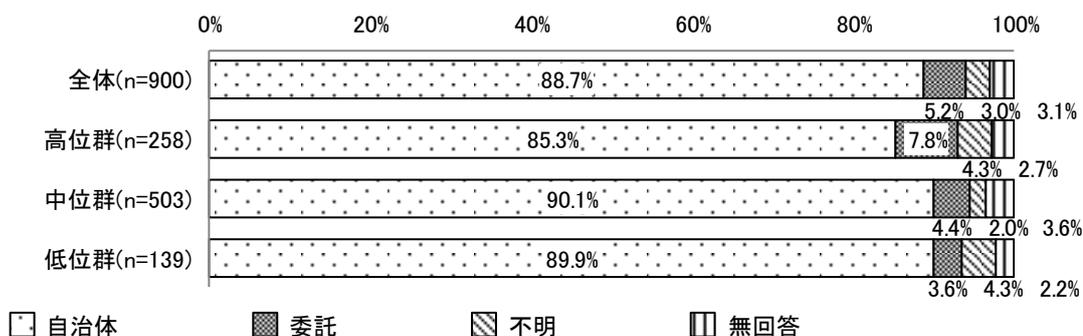
66 Q4-7 実施主体:幼児歯科検診

「全体」では、「自治体」が88.7%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が5.2%となっている。

「高位群」では、「自治体」が85.3%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が7.8%となっている。

「中位群」では、「自治体」が90.1%でもっとも割合が高く、次いで「委託」が4.4%となっている。「低位群」では、「自治体」が89.9%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が4.3%となっている。

図表 66 Q4-7 コロナ感染者数別 実施主体:幼児歯科検診:単数回答

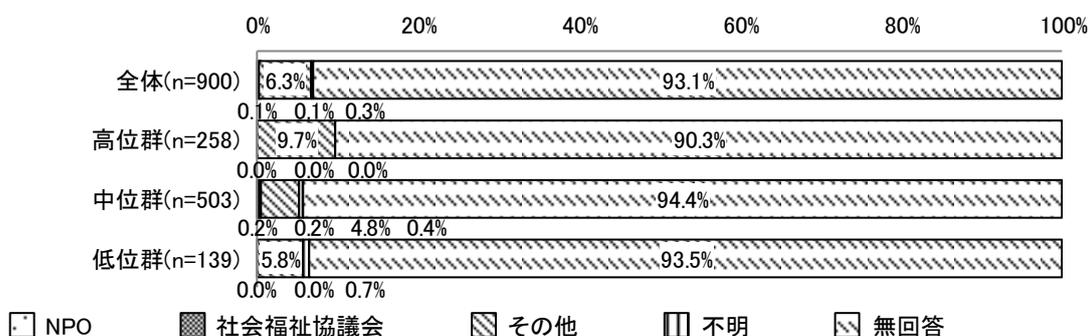


67 Q4-8 実施主体:幼児歯科検診_委託先

「全体」では、「その他」が6.3%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が0.3%となっている。

「高位群」では、「その他」が9.7%でもっとも割合が高くなっている。「中位群」では、「その他」が4.8%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が0.4%となっている。「低位群」では、「その他」が5.8%、「不明」が0.7%となっている。

図表 67 Q4-8 コロナ感染者数別 実施主体:幼児歯科検診_委託先:単数回答



(5) 乳幼児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業における訪問者

1) 乳幼児家庭全戸訪問事業

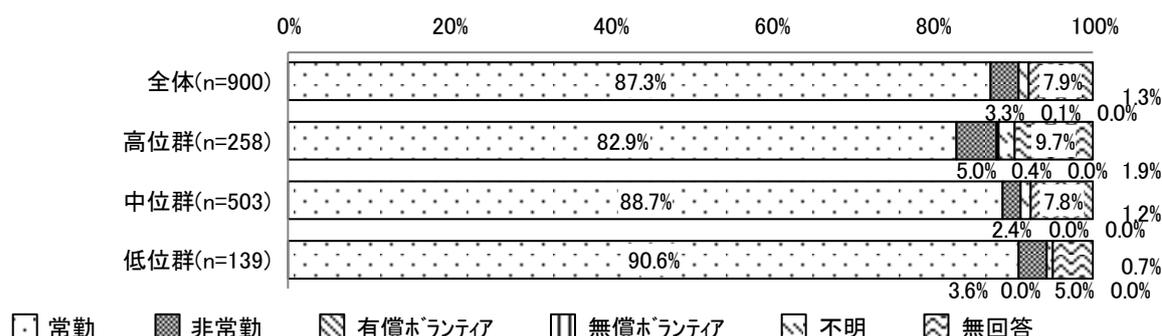
68 Q5-1① 乳児家庭全戸訪問事業_保健師

「全体」では、「常勤」が87.3%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が3.3%となっている。

「高位群」では、「常勤」が82.9%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が5.0%となっている。

「中位群」では、「常勤」が88.7%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が2.4%となっている。「低位群」では、「常勤」が90.6%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が3.6%となっている。

図表 68 Q5-1① コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_保健師:単数回答



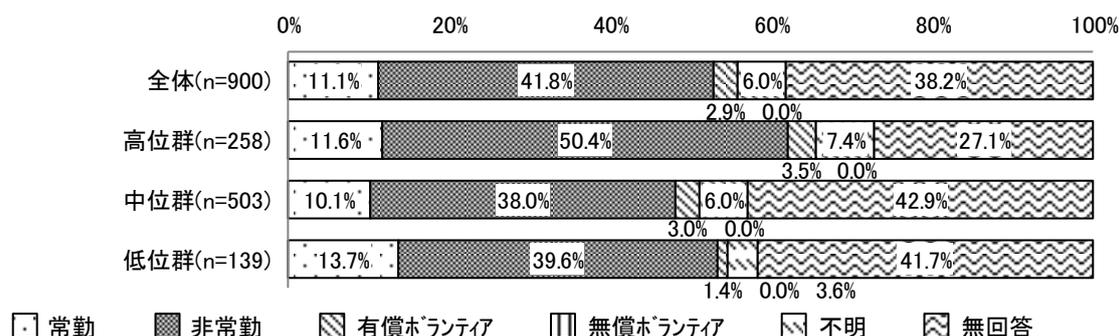
69 Q5-1② 乳児家庭全戸訪問事業_助産師・看護師

「全体」では、「非常勤」が41.8%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が11.1%となっている。

「高位群」では、「非常勤」が50.4%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が11.6%となっている。

「中位群」では、「非常勤」が38.0%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が10.1%となっている。「低位群」では、「非常勤」が39.6%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が13.7%となっている。

図表 69 Q5-1② コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_助産師・看護師:単数回答

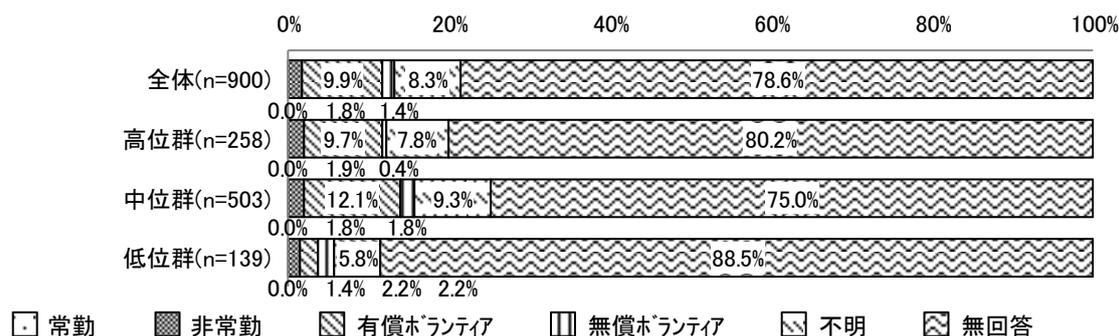


70 Q5-1③ 乳児家庭全戸訪問事業_母子保健推進員

「全体」では、「有償ボランティア」が9.9%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が8.3%となっている。

「高位群」では、「有償ボランティア」が9.7%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が7.8%となっている。「中位群」では、「有償ボランティア」が12.1%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が9.3%となっている。「低位群」では、「不明」が5.8%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」「無償ボランティア」が2.2%となっている。

図表 70 Q5-1③ コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_母子保健推進員:単数回答

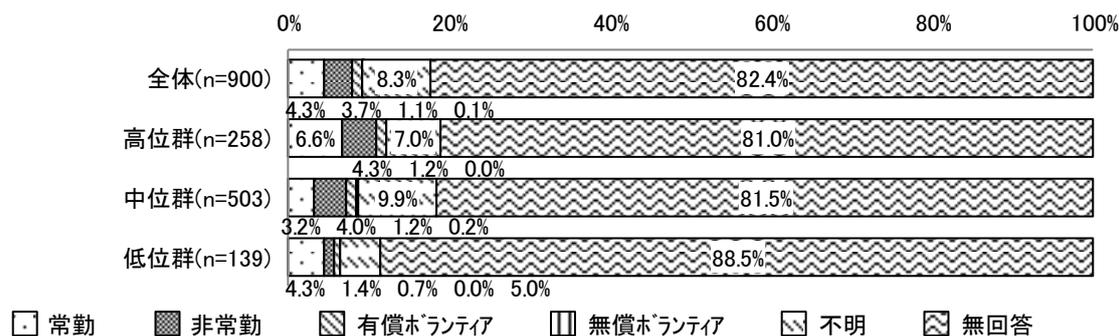


71 Q5-1④ 乳児家庭全戸訪問事業_保育士

「全体」では、「不明」が8.3%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が4.3%となっている。

「高位群」では、「不明」が7.0%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が6.6%となっている。「中位群」では、「不明」が9.9%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が4.0%となっている。「低位群」では、「不明」が5.0%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が4.3%となっている。

図表 71 Q5-1④ コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_保育士:単数回答

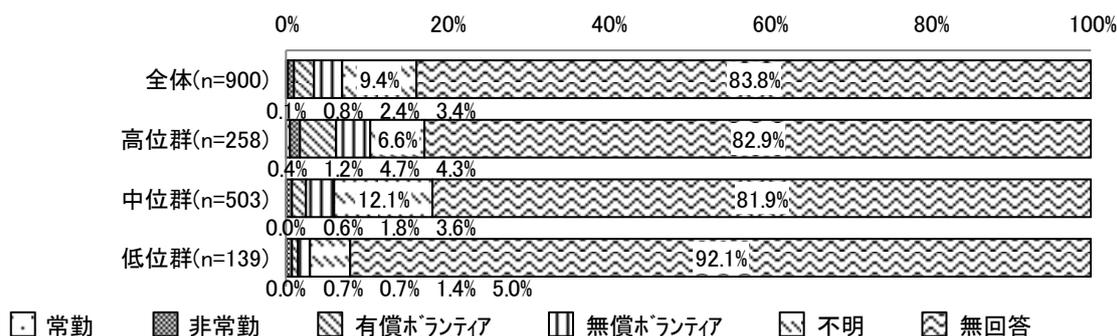


72 Q5-1⑤ 乳児家庭全戸訪問事業_児童委員・民生委員

「全体」では、「不明」が9.4%でもっとも割合が高く、次いで「無償ボランティア」が3.4%となっている。

「高位群」では、「不明」が6.6%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が4.7%となっている。「中位群」では、「不明」が12.1%でもっとも割合が高く、次いで「無償ボランティア」が3.6%となっている。「低位群」では、「不明」が5.0%でもっとも割合が高く、次いで「無償ボランティア」が1.4%となっている。

図表 72 Q5-1⑤ コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_児童委員・民生委員:単数回答

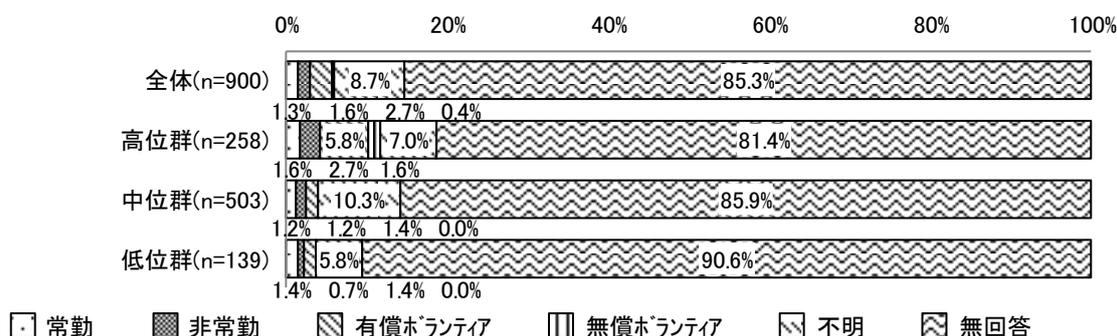


73 Q5-1⑥ 乳児家庭全戸訪問事業_その他

「全体」では、「不明」が8.7%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が2.7%となっている。

「高位群」では、「不明」が7.0%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が5.8%となっている。「中位群」では、「不明」が10.3%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が1.4%となっている。「低位群」では、「不明」が5.8%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」「有償ボランティア」が1.4%となっている。

図表 73 Q5-1⑥ コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_その他:単数回答

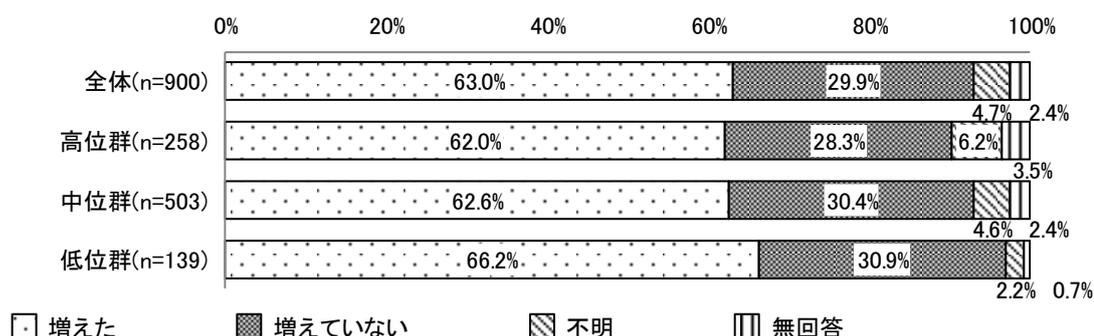


74 Q5-1-1 乳児家庭全戸訪問事業_その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加

「全体」では、「増えた」が63.0%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が29.9%となっている。

「高位群」では、「増えた」が62.0%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が28.3%となっている。「中位群」では、「増えた」が62.6%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が30.4%となっている。「低位群」では、「増えた」が66.2%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が30.9%となっている。

図表 74 Q5-1-1 コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加:単数回答

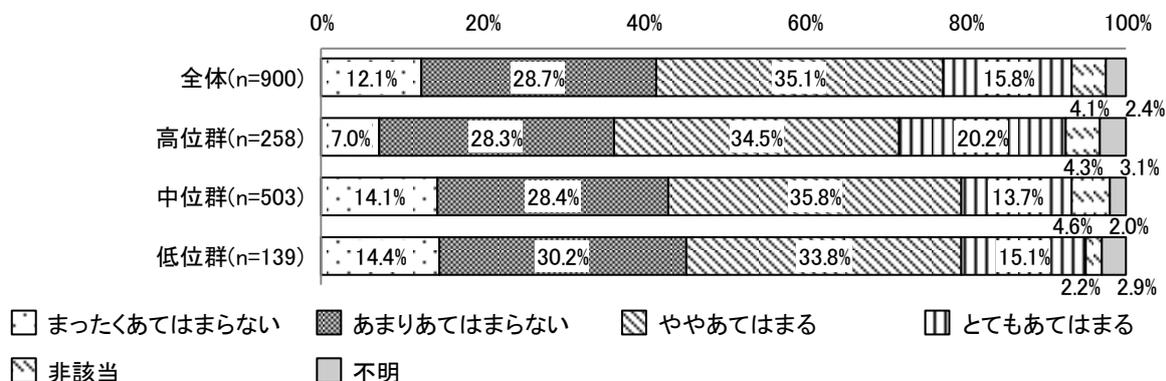


75 Q5-1-2 乳児家庭全戸訪問事業_コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった

「全体」では、「ややあてはまる」が35.1%でもっとも割合が高く、次いで「あまりあてはまらない」が28.7%となっている。

「高位群」では、「ややあてはまる」が34.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりあてはまらない」が28.3%となっている。「中位群」では、「ややあてはまる」が35.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまりあてはまらない」が28.4%となっている。「低位群」では、「ややあてはまる」が33.8%でもっとも割合が高く、次いで「あまりあてはまらない」が30.2%となっている。

図表 75 Q5-1-2 コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった:単数回答



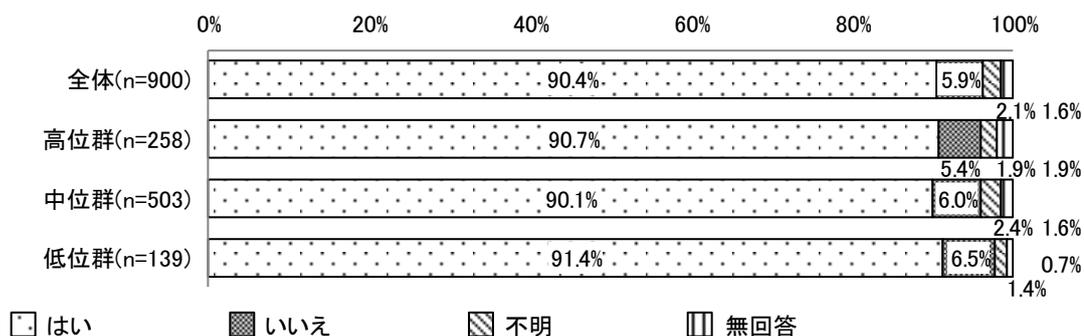
76 Q5-1-3 乳児家庭全戸訪問事業_新型コロナウイルス感染症拡大防止のための処置をおこなった

「全体」では、「はい」が90.4%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が5.9%となっている。

「高位群」では、「はい」が90.7%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が5.4%となっている。

「中位群」では、「はい」が90.1%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が6.0%となっている。「低位群」では、「はい」が91.4%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が6.5%となっている。

図表 76 Q5-1-3 コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業_新型コロナウイルス感染症拡大防止のための処置をおこなった:単数回答



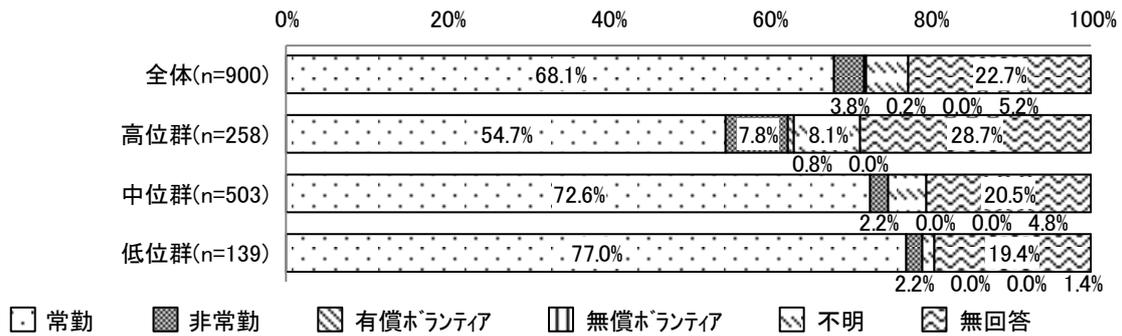
2) 養育支援訪問事業

77 Q5-2① 養育支援訪問事業_保健師

「全体」では、「常勤」が68.1%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が5.2%となっている。

「高位群」では、「常勤」が54.7%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が8.1%となっている。「中位群」では、「常勤」が72.6%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が4.8%となっている。「低位群」では、「常勤」が77.0%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が2.2%となっている。

図表 77 Q5-2① コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_保健師:単数回答

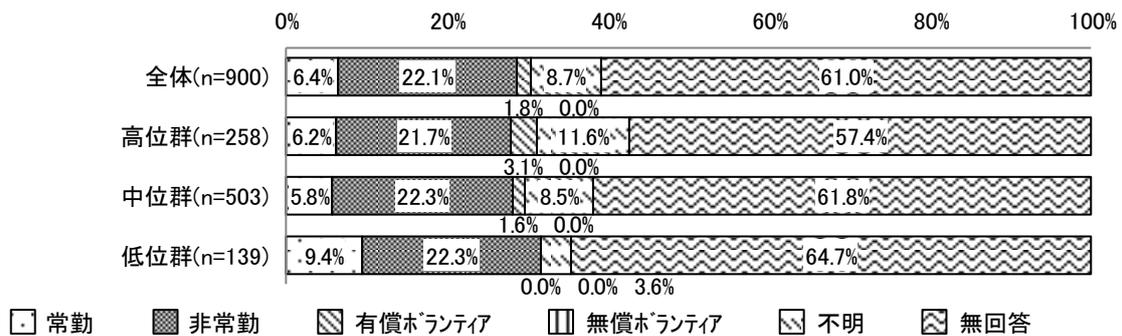


78 Q5-2② 養育支援訪問事業_助産師・看護師

「全体」では、「非常勤」が22.1%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が8.7%となっている。

「高位群」では、「非常勤」が21.7%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が11.6%となっている。「中位群」では、「非常勤」が22.3%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が8.5%となっている。「低位群」では、「非常勤」が22.3%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が9.4%となっている。

図表 78 Q5-2② コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_助産師・看護師:単数回答



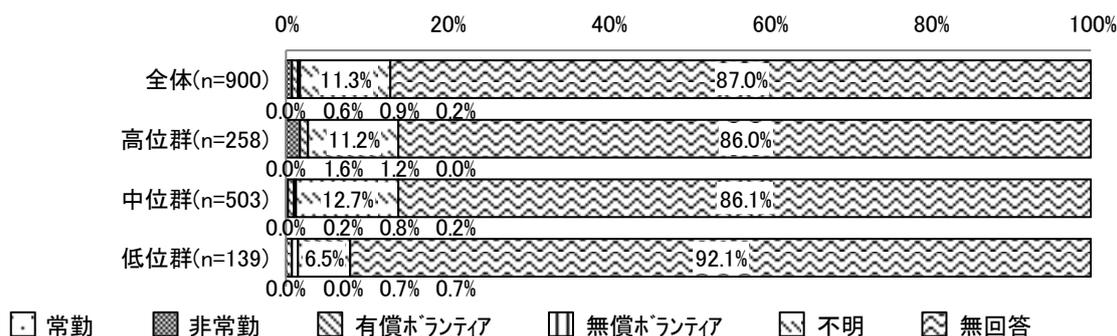
79 Q5-2③ 養育支援訪問事業_母子保健推進員

「全体」では、「不明」が11.3%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が0.9%となっている。

「高位群」では、「不明」が11.2%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が1.6%となっている。

「中位群」では、「不明」が12.7%でもっとも割合が高く、次いで「有償ボランティア」が0.8%となっている。「低位群」では、「不明」が6.5%、「有償ボランティア」「無償ボランティア」が0.7%となっている。

図表 79 Q5-2③ コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_母子保健推進員:単数回答



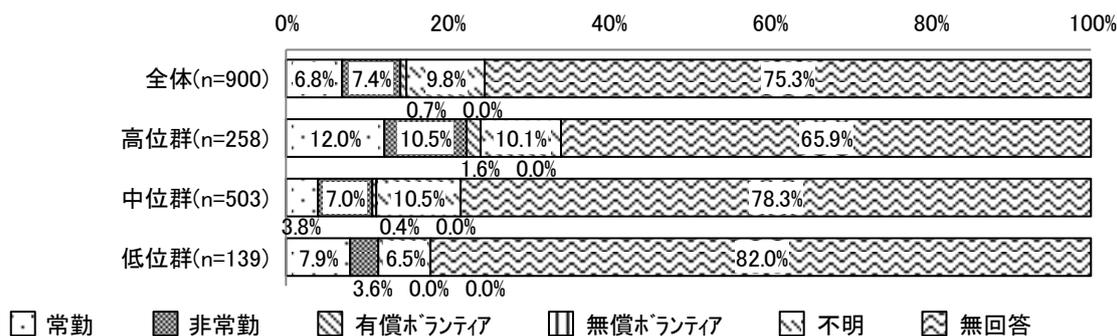
80 Q5-2④ 養育支援訪問事業_保育士

「全体」では、「不明」が9.8%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が7.4%となっている。

「高位群」では、「常勤」が12.0%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が10.5%となっている。

「中位群」では、「不明」が10.5%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が7.0%となっている。「低位群」では、「常勤」が7.9%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が6.5%となっている。

図表 80 Q5-2④ コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_保育士:単数回答



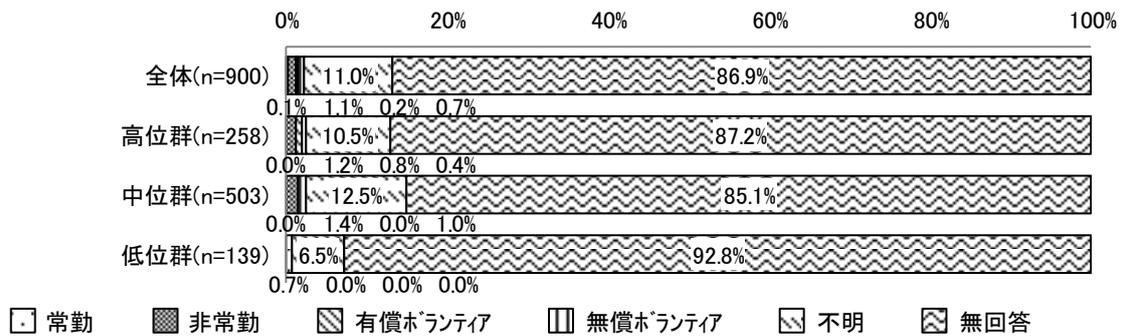
81 Q5-2⑤ 養育支援訪問事業_児童委員・民生委員

「全体」では、「不明」が11.0%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が1.1%となっている。

「高位群」では、「不明」が10.5%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が1.2%となっている。

「中位群」では、「不明」が12.5%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が1.4%となっている。「低位群」では、「不明」が6.5%、「常勤」が0.7%となっている。

図表 81 Q5-2⑤ コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_児童委員・民生委員:単数回答



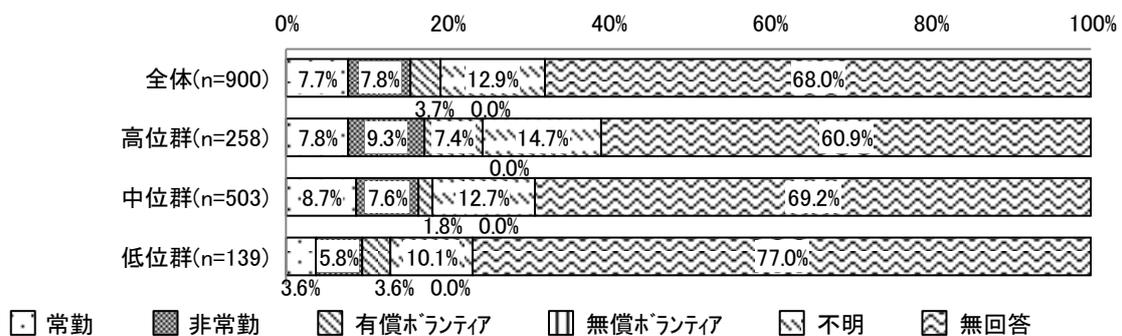
82 Q5-2⑥ 養育支援訪問事業_その他

「全体」では、「不明」が12.9%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が7.8%となっている。

「高位群」では、「不明」が14.7%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が9.3%となっている。

「中位群」では、「不明」が12.7%でもっとも割合が高く、次いで「常勤」が8.7%となっている。「低位群」では、「不明」が10.1%でもっとも割合が高く、次いで「非常勤」が5.8%となっている。

図表 82 Q5-2⑥ コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_その他:単数回答

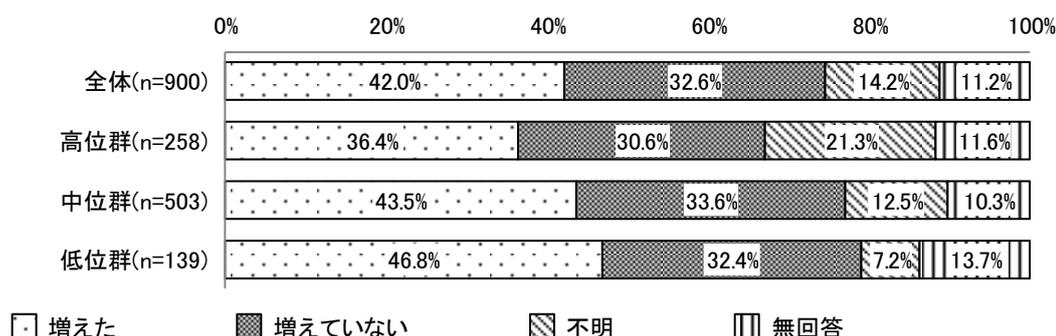


83 Q5-2-1 養育支援訪問事業_その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加

「全体」では、「増えた」が42.0%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が32.6%となっている。

「高位群」では、「増えた」が36.4%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が30.6%となっている。「中位群」では、「増えた」が43.5%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が33.6%となっている。「低位群」では、「増えた」が46.8%でもっとも割合が高く、次いで「増えていない」が32.4%となっている。

図表 83 Q5-2-1 コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加:単数回答

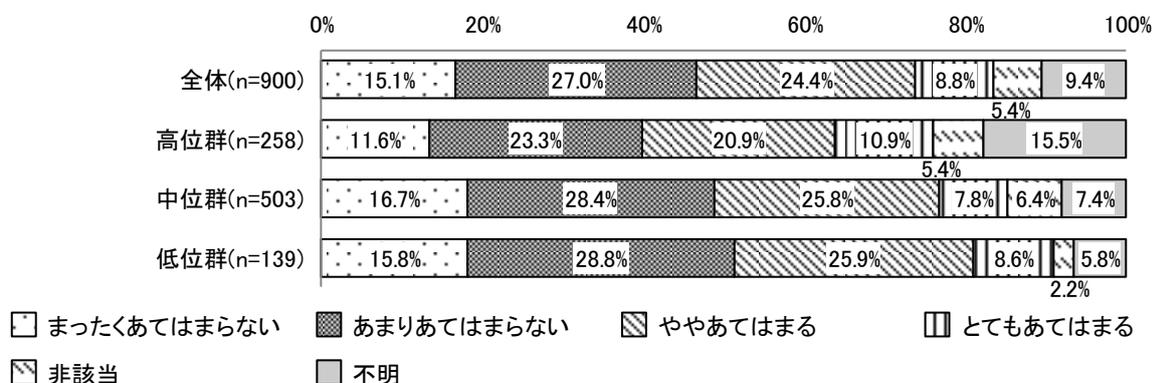


84 Q5-2-2 養育支援訪問事業_コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった

「全体」では、「あまりあてはまらない」が27.0%でもっとも割合が高く、次いで「ややあてはまる」が24.4%となっている。

「高位群」では、「あまりあてはまらない」が23.3%でもっとも割合が高く、次いで「ややあてはまる」が20.9%となっている。「中位群」では、「あまりあてはまらない」が28.4%でもっとも割合が高く、次いで「ややあてはまる」が25.8%となっている。「低位群」では、「あまりあてはまらない」が28.8%でもっとも割合が高く、次いで「ややあてはまる」が25.9%となっている。

図表 84 Q5-2-2 コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった:単数回答

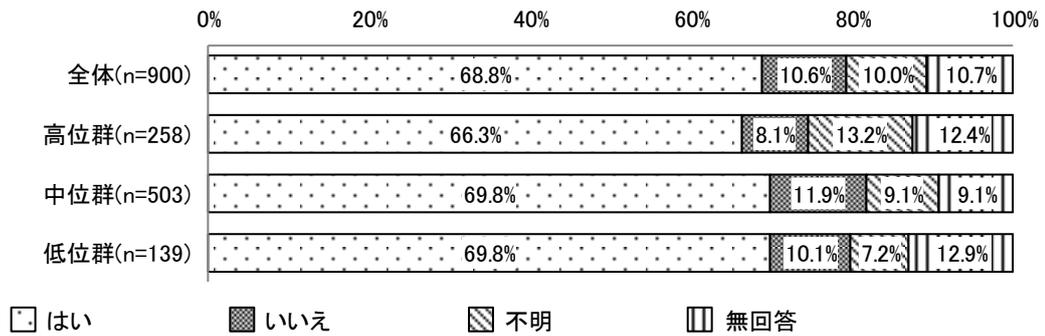


85 Q5-2-3 養育支援訪問事業_新型コロナウイルス感染拡大防止のための処置をおこなった

「全体」では、「はい」が68.8%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が10.6%となっている。

「高位群」では、「はい」が66.3%でもっとも割合が高く、次いで「不明」が13.2%となっている。「中位群」では、「はい」が69.8%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が11.9%となっている。「低位群」では、「はい」が69.8%でもっとも割合が高く、次いで「いいえ」が10.1%となっている。

図表 85 Q5-2-3 コロナ感染者数別 養育支援訪問事業_新型コロナウイルス感染拡大防止のための処置をおこなった:単数回答



(6) 部署における支援状況

1) コロナ感染者数別

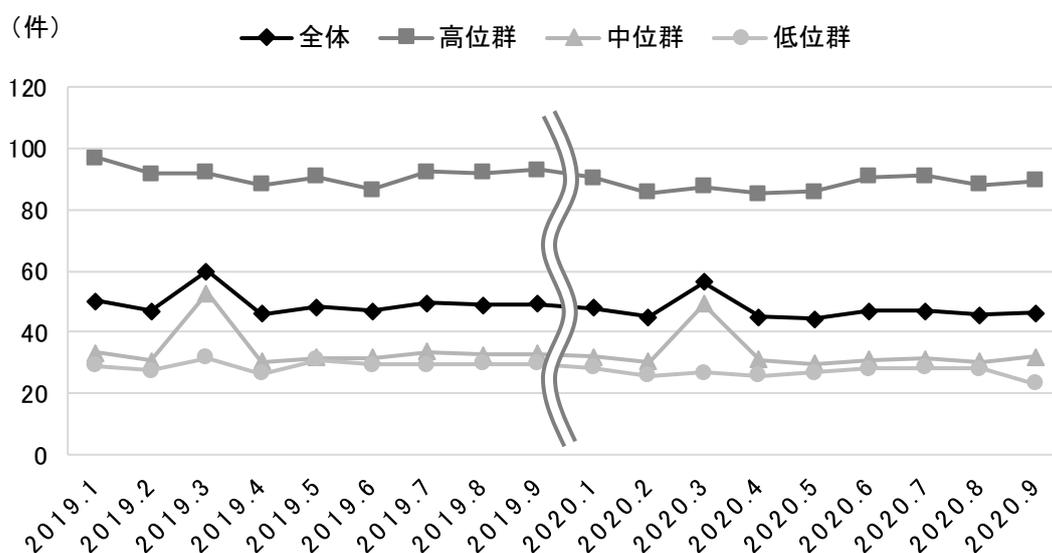
以下では、コロナ感染者数別に、部署における支援状況をみていく。

86 Q6-1-1 乳児家庭全戸訪問事業:対象家庭数

「全体」では、「2019.3」が平均 59.9 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2019.1」が平均 97.0 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.3」が平均 52.7 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.3」が平均 31.6 件でもっとも多くなっている。

図表 86 Q6-1-1 コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業:対象家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	50.1	47.0	59.9	45.9	48.2	46.8	49.4	49.0	49.3
	高位群	97.0	91.9	92.0	88.2	90.9	86.5	92.5	92.2	93.0
	中位群	33.1	30.5	52.7	30.4	31.8	31.7	33.4	32.5	32.8
	低位群	29.1	27.4	31.6	26.4	30.9	29.3	29.2	29.8	29.6

		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	47.8	45.0	56.3	44.9	44.4	47.0	47.0	45.7	46.1
	高位群	90.4	85.5	87.7	85.2	85.8	90.7	91.0	88.1	89.5
	中位群	32.0	30.2	49.3	31.0	29.6	31.1	31.4	30.4	31.9
	低位群	28.3	25.9	26.6	25.7	26.8	28.2	28.5	27.9	23.1

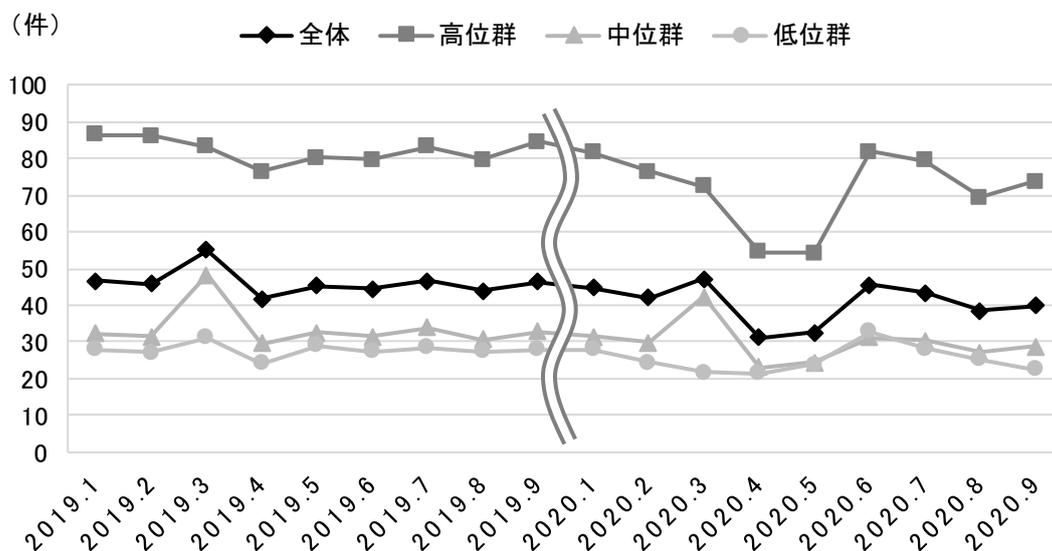
※各カテゴリでもっとも平均件数の多いセルに網掛けを行っている。なお、同じ数値であっても、一方のみに網掛けがされている場合があるが、これは、示されている数値は小数点第二位以下（一部小数点第三位以下）を四捨五入しているものであり、網掛けには四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。以下同様。

87 Q6-1-2 乳児家庭全戸訪問事業:訪問家庭数

「全体」では、「2019.3」が平均 55.1 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2019.1」が平均 86.5 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.3」が平均 48.3 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2020.6」が平均 32.7 件でもっとも多くなっている。

図表 87 Q6-1-2 コロナ感染者数別 乳児家庭全戸訪問事業:訪問家庭数:数値回答(平均値)



<平均値:数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	46.5	45.9	55.1	41.8	45.3	44.4	46.8	43.9	46.5
	高位群	86.5	86.2	83.4	76.4	80.3	79.6	83.2	79.7	84.7
	中位群	32.2	31.5	48.3	29.7	32.5	31.5	33.8	30.7	32.8
	低位群	28.1	27.1	31.3	24.2	29.1	27.5	28.5	27.5	27.9

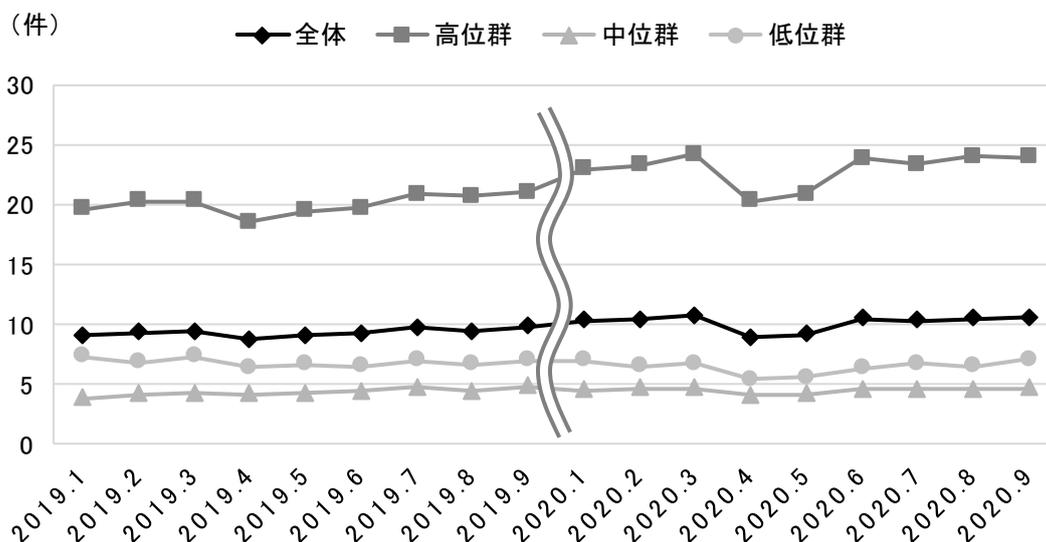
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	44.8	41.9	47.3	31.3	32.5	45.5	43.4	38.4	39.9
	高位群	81.6	76.5	72.3	54.4	54.3	82.0	79.4	69.4	73.7
	中位群	31.5	29.9	42.2	23.1	24.4	31.3	30.4	27.3	28.7
	低位群	28.0	24.5	21.7	21.5	24.0	32.7	28.2	25.4	22.6

88 Q6-2-1 養育支援訪問事業:対象家庭数

「全体」では、「2020.3」が平均 10.7 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2020.3」が平均 24.2 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.9」が平均 4.8 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.1」が平均 7.3 件でもっとも多くなっている。

図表 88 Q6-2-1 コロナ感染者数別 養育支援訪問事業:対象家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	9.0	9.3	9.4	8.7	9.1	9.2	9.8	9.4	9.9
	高位群	19.6	20.3	20.3	18.5	19.5	19.8	20.9	20.7	21.1
	中位群	3.9	4.1	4.3	4.1	4.3	4.4	4.8	4.4	4.8
	低位群	7.3	6.9	7.3	6.4	6.6	6.5	7.0	6.7	7.0

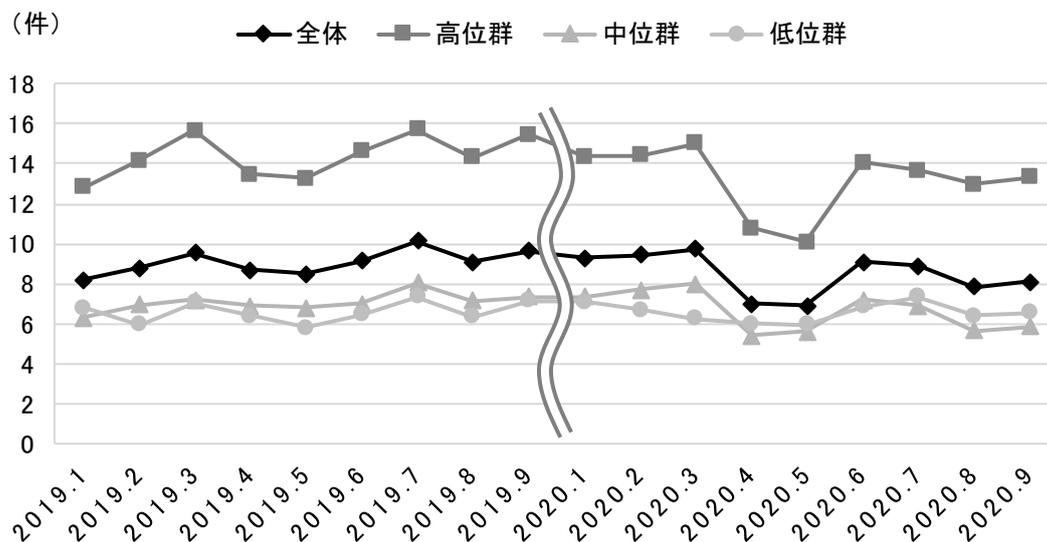
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	10.3	10.4	10.7	8.9	9.2	10.5	10.3	10.5	10.6
	高位群	22.9	23.3	24.2	20.3	20.9	23.9	23.3	24.1	23.9
	中位群	4.5	4.7	4.7	4.1	4.2	4.6	4.6	4.6	4.7
	低位群	7.0	6.5	6.7	5.4	5.6	6.3	6.7	6.5	7.1

89 Q6-2-2 養育支援訪問事業:訪問家庭数

「全体」では、「2019.7」が平均 10.1 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2019.7」が平均 15.7 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.7」が平均 8.1 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.7」が平均 7.4 件でもっとも多くなっている。

図表 89 Q6-2-2 コロナ感染者数別 養育支援訪問事業:訪問家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	8.2	8.8	9.6	8.7	8.5	9.1	10.1	9.1	9.6
	高位群	12.8	14.2	15.7	13.5	13.3	14.6	15.7	14.3	15.5
	中位群	6.3	6.9	7.2	6.9	6.8	7.0	8.1	7.1	7.4
	低位群	6.8	5.9	7.0	6.4	5.8	6.5	7.4	6.3	7.1

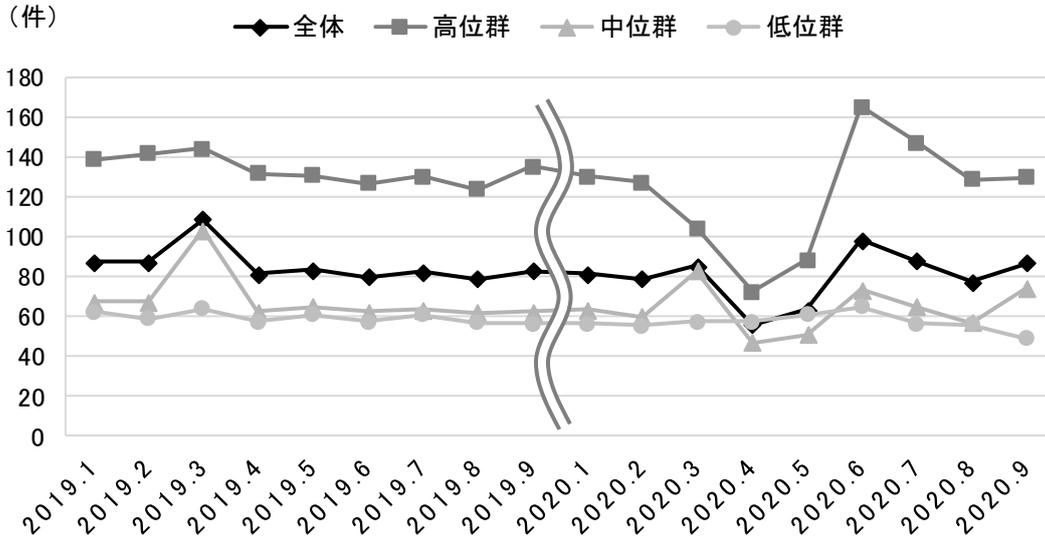
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	9.3	9.5	9.7	7.0	6.9	9.1	8.9	7.8	8.1
	高位群	14.4	14.4	15.0	10.8	10.1	14.1	13.7	13.0	13.3
	中位群	7.4	7.7	8.0	5.4	5.6	7.2	6.9	5.6	5.9
	低位群	7.1	6.7	6.3	6.0	6.0	6.9	7.3	6.4	6.5

90 Q6-3 乳児健康診査:受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 108.8 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2020.6」が平均 165.3 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.3」が平均 103.1 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2020.6」が平均 64.8 件でもっとも多くなっている。

図表 90 Q6-3 コロナ感染者数別 乳児健康診査:受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	87.1	87.3	108.8	81.1	83.4	80.0	82.3	78.7	82.7
	高位群	138.5	141.8	144.3	131.5	130.5	126.9	130.3	123.6	135.2
	中位群	67.1	67.2	103.1	62.1	65.0	62.4	63.4	61.7	62.5
	低位群	62.3	58.8	64.0	57.4	60.8	57.1	60.6	57.0	56.2

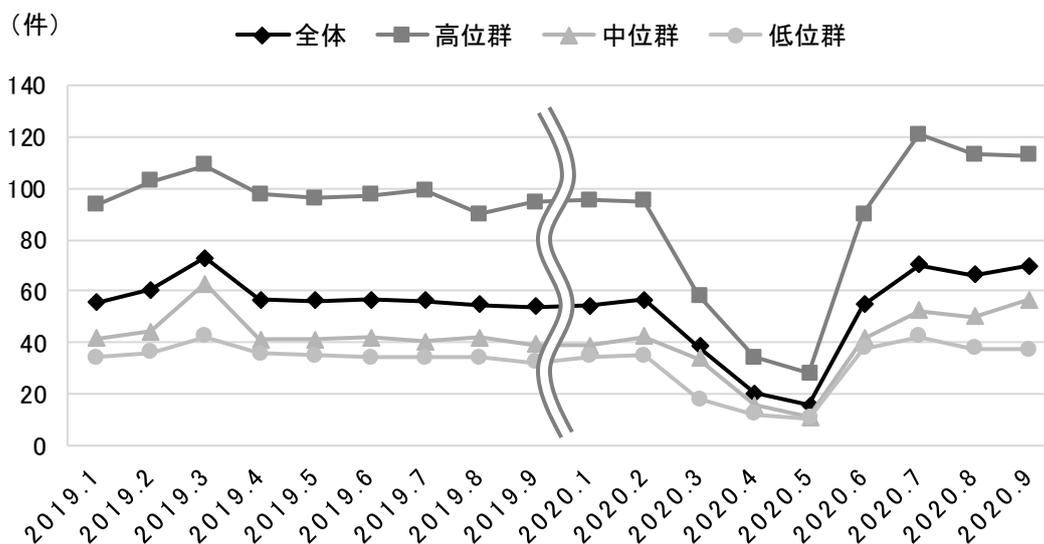
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	81.5	78.8	85.4	55.8	63.2	98.5	87.6	77.3	86.8
	高位群	130.1	127.2	104.4	72.5	88.3	165.3	147.2	128.5	129.8
	中位群	63.5	60.1	83.0	47.0	51.0	73.4	65.0	56.8	74.5
	低位群	56.5	55.5	57.4	57.5	60.8	64.8	56.4	56.1	49.1

91 Q6-4 幼児健康診査(1歳6か月):受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 73.0 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2020.7」が平均 121.1 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.3」が平均 62.7 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.3」が平均 42.3 件でもっとも多くなっている。

図表 91 Q6-4 コロナ感染者数別 幼児健康診査(1歳6か月):受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	55.3	60.3	73.0	56.6	56.1	56.7	56.2	54.7	54.0
	高位群	93.4	102.7	108.9	97.7	96.0	97.2	99.2	89.9	94.8
	中位群	41.6	44.3	62.7	41.0	41.0	41.7	40.4	41.6	39.2
	低位群	33.9	36.1	42.3	35.6	34.9	33.9	34.1	34.2	32.3

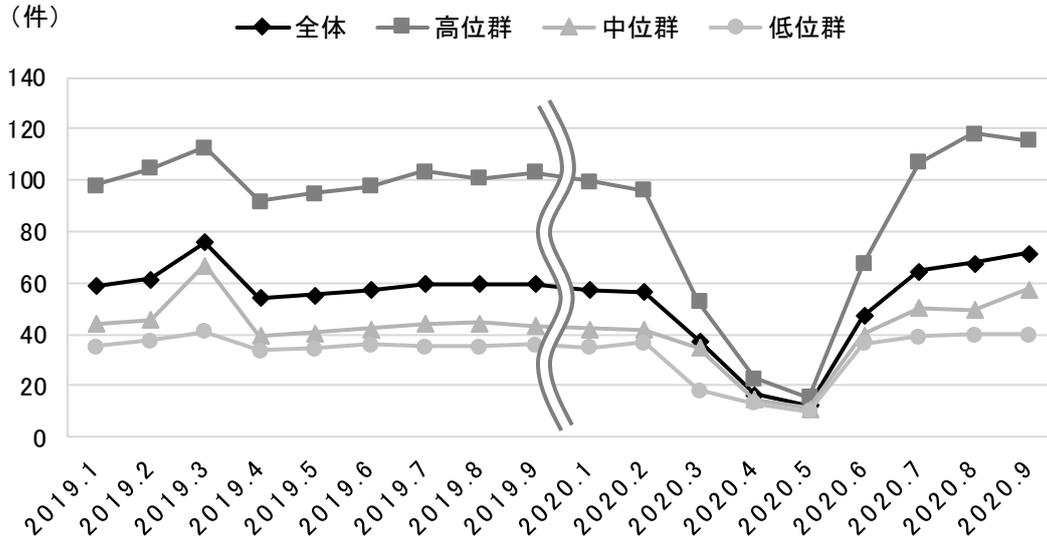
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	54.1	56.6	38.4	20.1	15.5	54.8	70.0	66.3	69.7
	高位群	95.4	95.1	58.1	33.9	27.7	90.0	121.1	113.1	112.8
	中位群	38.7	42.1	33.6	15.6	10.7	41.4	52.2	50.0	56.6
	低位群	34.6	34.8	17.9	12.0	10.4	37.4	42.1	37.7	37.1

92 Q6-5 幼児健康診査(3歳):受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 76.0 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2020.8」が平均 118.3 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2019.3」が平均 66.9 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.3」が平均 40.9 件でもっとも多くなっている。

図表 92 Q6-5 コロナ感染者数別 幼児健康診査(3歳):受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	58.7	61.6	76.0	54.1	55.2	57.3	59.6	59.4	59.5
	高位群	98.1	104.5	112.6	92.0	94.8	97.7	103.3	100.9	103.2
	中位群	44.3	45.7	66.9	39.6	40.5	42.1	44.0	44.3	43.3
	低位群	35.3	37.6	40.9	33.7	34.5	36.1	35.3	35.3	35.9

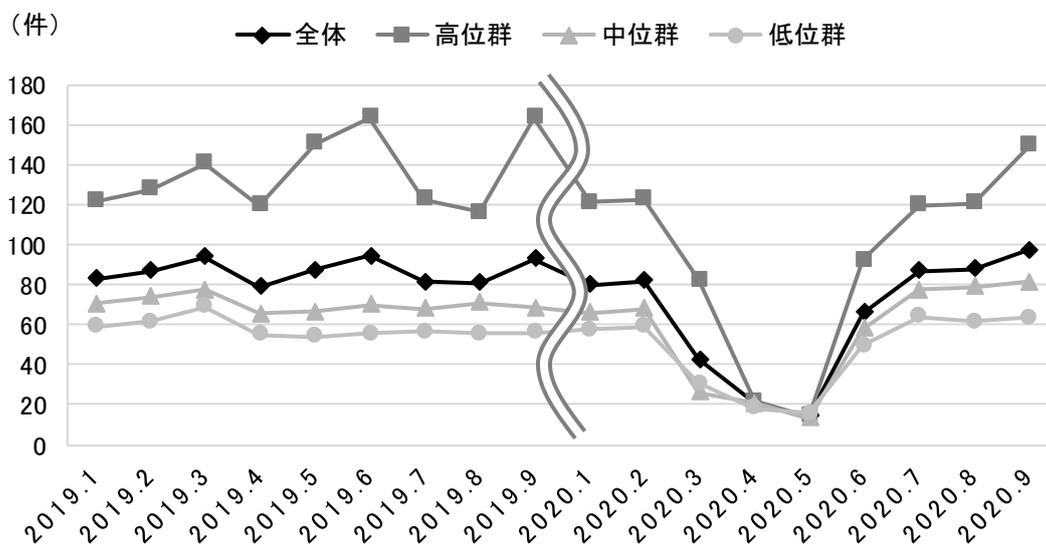
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	57.4	56.5	37.5	16.6	12.1	47.1	64.7	67.7	71.7
	高位群	99.7	96.1	52.7	22.6	15.3	67.2	107.1	118.3	115.5
	中位群	42.2	41.7	34.8	14.6	11.1	39.9	50.4	49.5	57.6
	低位群	34.7	36.5	18.0	13.0	9.9	36.2	39.2	39.8	40.0

93 Q6-6 幼児歯科検診:受診実人員数

「全体」では、「2020.9」が平均 97.8 件でもっとも多くなっている。

「高位群」では、「2019.6」が平均 163.9 件でもっとも多くなっている。「中位群」では、「2020.9」が平均 81.5 件でもっとも多くなっている。「低位群」では、「2019.3」が平均 69.3 件でもっとも多くなっている。

図表 93 Q6-6 コロナ感染者数別 幼児歯科検診:受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
コロナ感染者数	全体	83.2	86.9	94.2	79.3	87.6	94.5	81.4	81.2	93.2
	高位群	121.9	127.7	140.8	120.2	150.7	163.9	122.9	116.5	163.7
	中位群	70.6	73.9	77.7	65.8	66.5	69.9	68.1	71.0	68.4
	低位群	59.0	61.5	69.3	55.3	54.1	55.8	56.6	55.8	56.3

		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
コロナ感染者数	全体	79.8	81.8	42.7	20.6	14.0	66.1	87.2	87.9	97.8
	高位群	121.6	122.8	82.6	21.8	14.2	92.4	119.8	121.0	150.1
	中位群	65.9	68.1	26.2	20.7	13.4	58.0	77.6	78.9	81.5
	低位群	57.7	59.2	30.9	18.2	15.9	49.5	64.3	61.4	63.5

2) 自治体規模別

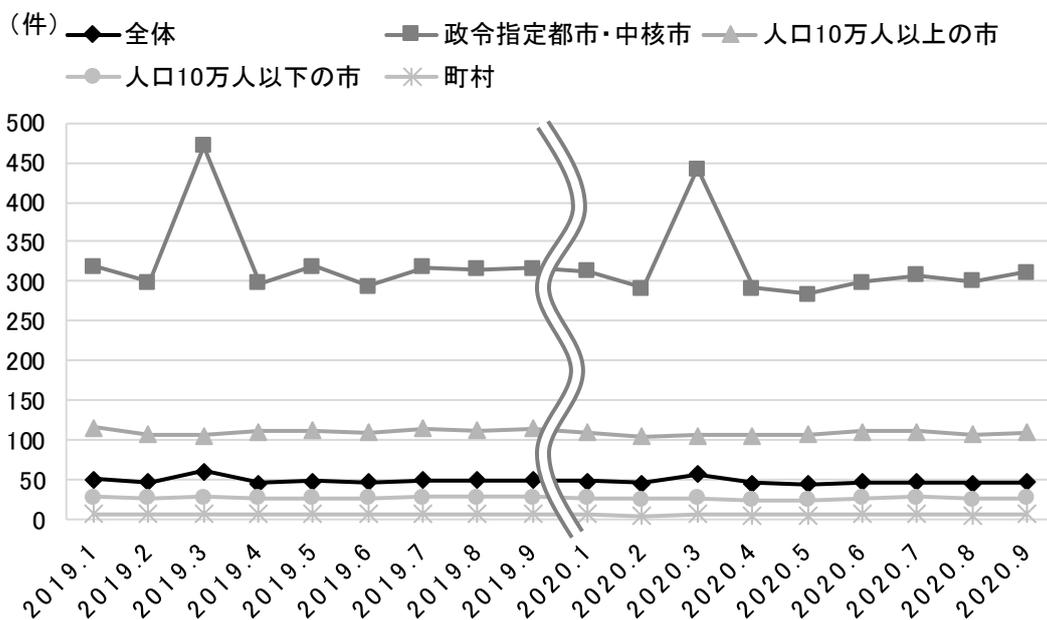
以下では、自治体規模別に、部署における支援状況をみていく。

94 Q6-1-1 乳児家庭全戸訪問事業:対象家庭数

「全体」では、「2019.3」が平均 59.9 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.3」が平均 471.6 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2019.1」が平均 115.4 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2019.3」が平均 28.2 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2019.7」が平均 6.6 件でもっとも多くなっている。

図表 94 Q6-1-1 自治体規模別 乳児家庭全戸訪問事業:対象家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
全体		50.1	47.0	59.9	45.9	48.2	46.8	49.4	49.0	49.3
Q1 自治体の規模	政令指定都市・中核市	318.6	298.9	471.6	298.0	319.4	293.8	317.4	315.3	317.0
	人口10万人以上の市	115.4	106.9	105.5	110.2	112.1	109.1	114.1	111.7	114.3
	人口10万人以下の市	28.0	26.3	28.2	26.2	27.1	26.7	27.6	27.6	27.2
	町村	6.2	5.9	6.1	6.0	6.3	6.5	6.6	6.3	6.6

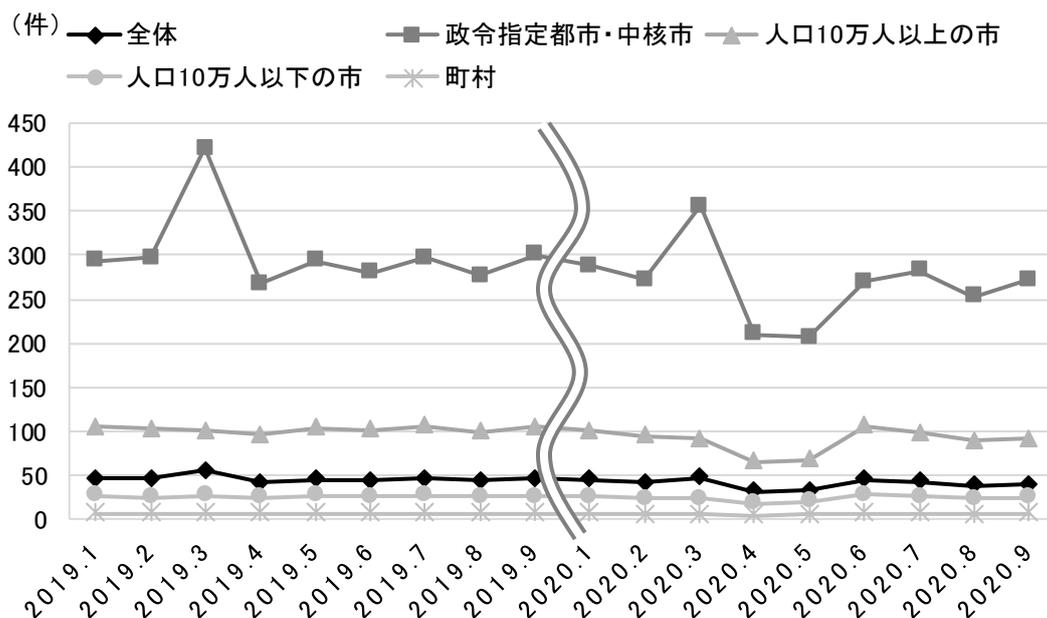
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
全体		47.8	45.0	56.3	44.9	44.4	47.0	47.0	45.7	46.1
Q1 自治体の規模	政令指定都市・中核市	313.1	291.1	442.4	291.9	283.4	298.5	307.7	299.7	311.8
	人口10万人以上の市	109.2	104.7	105.7	105.8	106.8	110.1	110.3	106.8	109.1
	人口10万人以下の市	26.3	25.4	26.0	24.4	24.6	26.5	27.4	25.8	26.9
	町村	6.2	5.4	5.8	5.7	5.7	6.3	6.1	5.6	6.3

95 Q6-1-2 乳児家庭全戸訪問事業:訪問家庭数

「全体」では、「2019.3」が平均 55.1 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.3」が平均 421.4 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2019.7」が平均 106.4 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.6」が平均 27.6 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.6」が平均 7.2 件でもっとも多くなっている。

図表 95 Q6-1-2 自治体規模別 乳児家庭全戸訪問事業:訪問家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値:数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	46.5	45.9	55.1	41.8	45.3	44.4	46.8	43.9	46.5
	政令指定都市・中核市	294.0	296.7	421.4	267.5	294.2	280.4	297.0	277.3	300.8
	人口10万人以上の市	104.9	102.3	100.3	95.6	103.8	102.0	106.4	99.4	105.4
	人口10万人以下の市	26.8	25.1	27.2	24.8	26.5	25.5	27.0	25.7	26.1
	町村	6.4	6.7	6.7	6.3	6.7	6.6	6.9	6.5	6.8

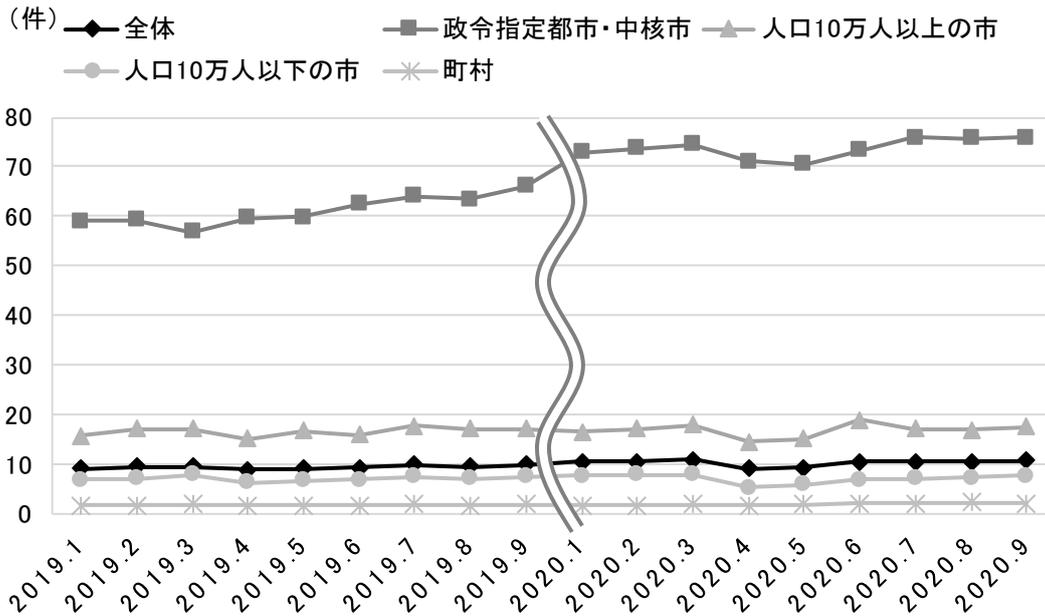
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	44.8	41.9	47.3	31.3	32.5	45.5	43.4	38.4	39.9
	政令指定都市・中核市	287.5	272.7	355.7	210.1	206.9	270.1	281.8	252.5	272.6
	人口10万人以上の市	100.5	94.6	91.1	65.6	68.1	105.6	98.0	89.0	91.2
	人口10万人以下の市	25.4	23.8	23.2	18.1	20.1	27.6	26.4	23.2	24.6
	町村	6.5	5.6	5.7	4.9	5.5	7.2	6.5	5.7	6.2

96 Q6-2-1 養育支援訪問事業:対象家庭数

「全体」では、「2020.3」が平均 10.7 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2020.9」が平均 75.8 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2020.6」が平均 18.8 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.3」が平均 7.8 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.8」が平均 2.1 件でもっとも多くなっている。

図表 96 Q6-2-1 自治体規模別 養育支援訪問事業:対象家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	9.0	9.3	9.4	8.7	9.1	9.2	9.8	9.4	9.9
	政令指定都市・中核市	58.9	59.1	56.7	59.5	59.9	62.4	64.0	63.5	66.0
	人口10万人以上の市	15.6	16.9	17.0	15.1	16.7	15.7	17.6	17.1	17.0
	人口10万人以下の市	6.8	7.0	7.7	6.2	6.6	6.7	7.4	7.0	7.4
	町村	1.5	1.6	1.7	1.5	1.5	1.6	1.7	1.6	1.8

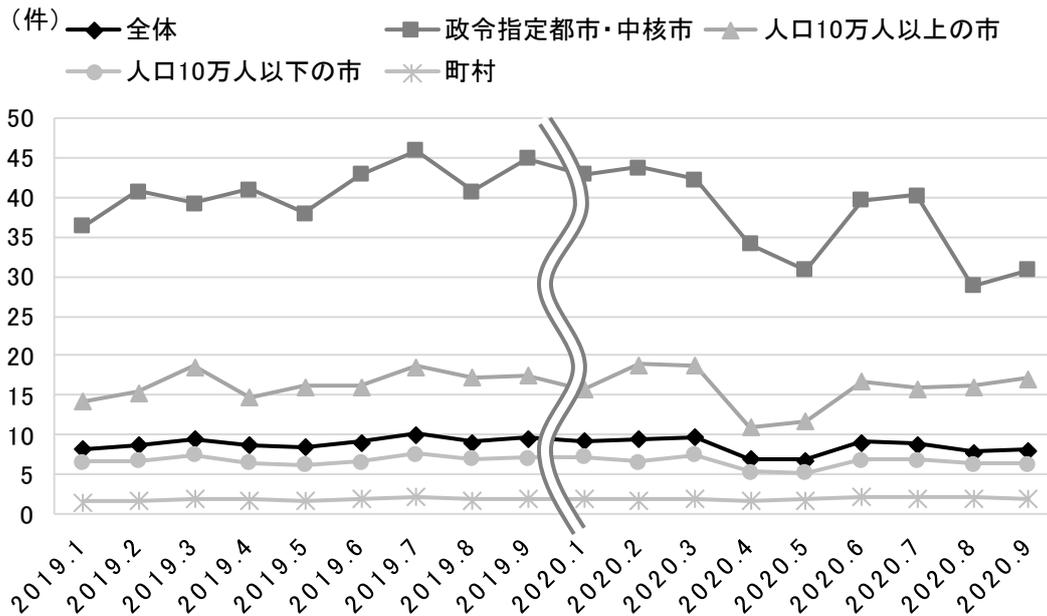
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	10.3	10.4	10.7	8.9	9.2	10.5	10.3	10.5	10.6
	政令指定都市・中核市	72.9	73.7	74.5	71.1	70.4	73.3	75.8	75.7	75.8
	人口10万人以上の市	16.3	17.0	17.8	14.3	15.0	18.8	17.1	16.7	17.5
	人口10万人以下の市	7.7	7.7	7.8	5.2	5.7	6.7	6.9	7.2	7.6
	町村	1.6	1.6	1.8	1.5	1.7	2.0	1.9	2.1	1.9

97 Q6-2-2 養育支援訪問事業:訪問家庭数

「全体」では、「2019.7」が平均 10.14 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.7」が平均 45.94 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2020.2」が平均 18.91 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2019.7」が平均 7.66 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.6」が平均 2.23 件でもっとも多くなっている。

図表 97 Q6-2-2 自治体規模別 養育支援訪問事業:訪問家庭数:数値回答 (平均値)



<平均値:数表>

	2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
全体	8.20	8.80	9.56	8.71	8.51	9.12	10.14	9.07	9.65
Q1 自治体の規模									
政令指定都市・中核市	36.38	40.75	39.21	40.96	38.06	42.85	45.94	40.79	44.87
人口10万人以上の市	14.22	15.36	18.62	14.77	16.17	16.09	18.71	17.29	17.47
人口10万人以下の市	6.66	6.71	7.47	6.47	6.23	6.63	7.66	6.99	7.15
町村	1.59	1.65	1.93	1.85	1.76	1.95	2.16	1.84	2.00

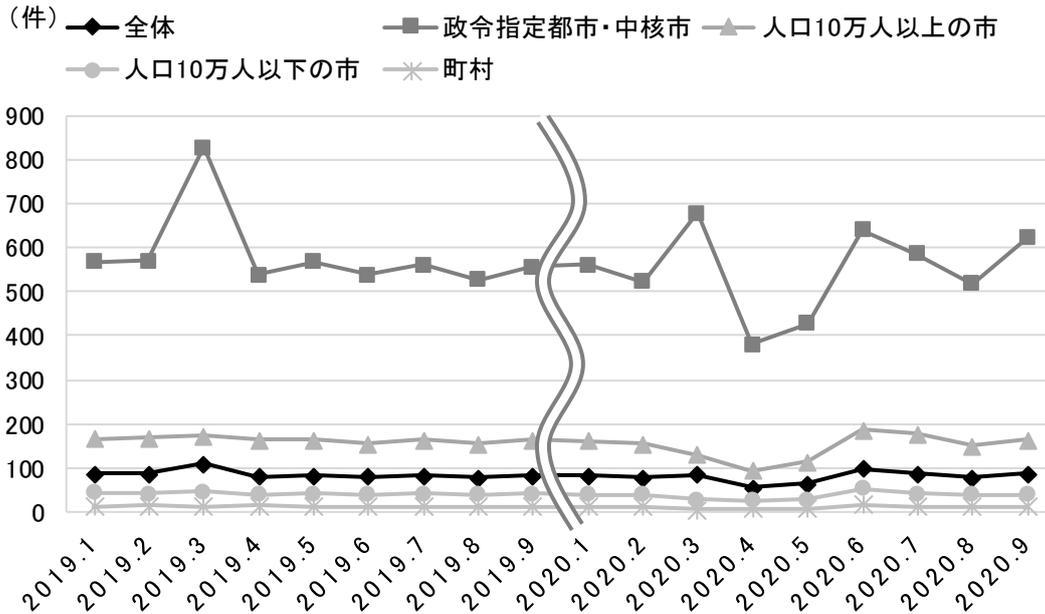
	2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
全体	9.28	9.45	9.74	6.98	6.91	9.10	8.90	7.82	8.09
Q1 自治体の規模									
政令指定都市・中核市	42.95	43.80	42.29	34.14	30.87	39.69	40.28	28.84	30.79
人口10万人以上の市	15.79	18.91	18.85	11.00	11.71	16.83	15.87	16.21	17.22
人口10万人以下の市	7.25	6.56	7.48	5.30	5.29	6.81	6.81	6.42	6.35
町村	1.95	1.81	2.00	1.67	1.88	2.23	2.12	2.15	1.98

98 Q6-3 乳児健康診査:受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 108.8 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.3」が平均 827.8 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2020.6」が平均 185.4 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.6」が平均 52.2 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.6」が平均 15.9 件でもっとも多くなっている。

図表 98 Q6-3 自治体規模別 乳児健康診査:受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	87.1	87.3	108.8	81.1	83.4	80.0	82.3	78.7	82.7
	政令指定都市・中核市	567.7	570.2	827.8	539.0	567.8	539.6	562.4	526.9	556.0
	人口10万人以上の市	165.5	167.7	172.2	162.7	164.0	155.1	162.8	153.7	164.5
	人口10万人以下の市	43.5	42.4	45.4	39.9	41.7	40.0	40.5	38.5	41.2
	町村	13.1	14.1	12.6	14.0	12.6	12.9	12.1	12.9	12.0

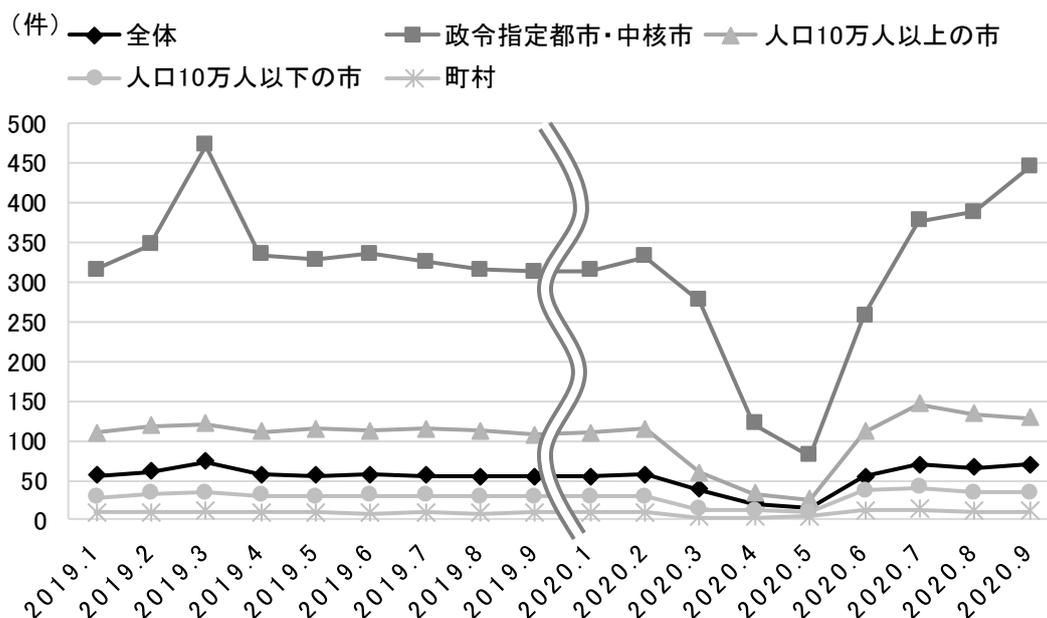
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	81.5	78.8	85.4	55.8	63.2	98.5	87.6	77.3	86.8
	政令指定都市・中核市	561.3	523.5	680.1	380.1	427.1	641.1	585.4	517.7	621.8
	人口10万人以上の市	160.4	155.0	128.8	93.4	114.1	185.4	178.1	151.1	163.7
	人口10万人以下の市	40.3	39.4	27.6	24.8	28.5	52.2	40.8	38.7	38.3
	町村	11.9	12.6	6.3	8.7	8.5	15.9	13.2	11.7	11.9

99 Q6-4 幼児健康診査(1歳6か月):受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 73.0 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.3」が平均 472.1 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2020.7」が平均 146.7 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.7」が平均 40.7 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.7」が平均 12.5 件でもっとも多くなっている。

図表 99 Q6-4 自治体規模別 幼児健康診査(1歳6か月):受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	55.3	60.3	73.0	56.6	56.1	56.7	56.2	54.7	54.0
	政令指定都市・中核市	315.9	347.4	472.1	334.2	328.4	335.2	325.8	315.2	313.7
	人口10万人以上の市	109.3	118.3	121.5	111.4	115.0	111.8	114.4	112.2	107.6
	人口10万人以下の市	28.2	32.9	33.9	30.1	29.9	30.9	30.0	29.5	29.6
	町村	9.3	8.9	10.1	8.9	9.4	8.6	9.7	8.5	8.9

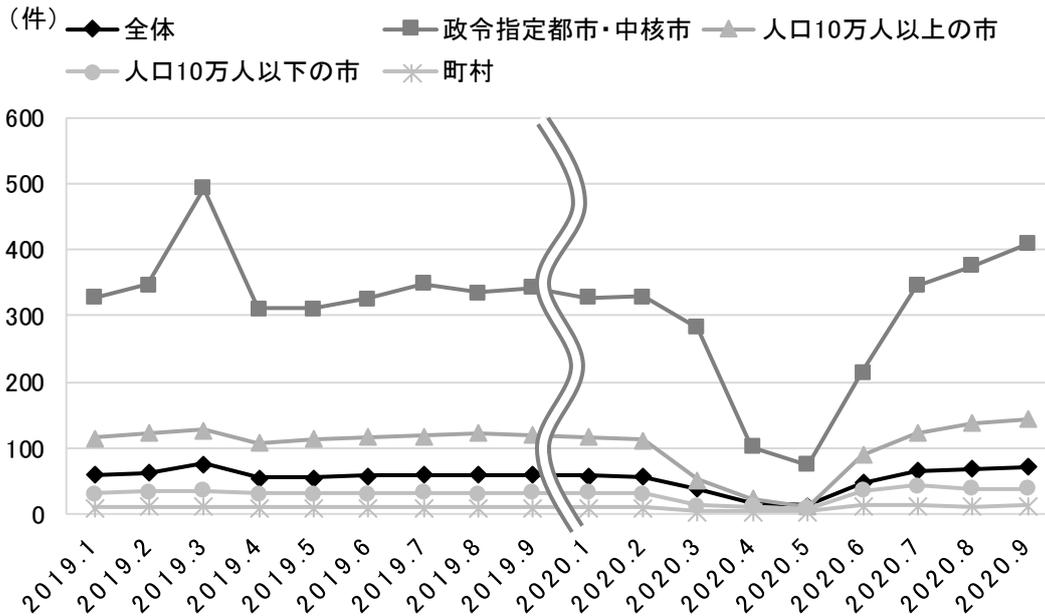
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	54.1	56.6	38.4	20.1	15.5	54.8	70.0	66.3	69.7
	政令指定都市・中核市	314.1	331.4	276.8	120.5	80.9	258.0	377.5	388.2	445.3
	人口10万人以上の市	109.8	114.5	60.1	33.5	25.6	111.2	146.7	134.1	128.1
	人口10万人以下の市	29.1	29.9	13.6	11.1	9.2	37.1	40.7	34.2	34.2
	町村	9.8	9.2	3.4	3.3	3.8	12.1	12.5	10.4	10.4

100 Q6-5 幼児健康診査(3歳):受診実人員数

「全体」では、「2019.3」が平均 76.0 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.3」が平均 492.6 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2020.9」が平均 143.0 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.7」が平均 43.2 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.7」が平均 12.6 件でもっとも多くなっている。

図表 100 Q6-5 自治体規模別 幼児健康診査(3歳):受診実人員数:数値回答 (平均値)



<平均値：数表>

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	58.7	61.6	76.0	54.1	55.2	57.3	59.6	59.4	59.5
	政令指定都市・中核市	328.0	346.5	492.6	311.1	311.0	326.5	348.9	335.6	343.0
	人口10万人以上の市	114.5	122.7	127.6	106.8	113.3	115.9	117.6	122.7	120.0
	人口10万人以下の市	31.2	33.9	35.3	29.9	31.1	31.3	32.6	31.3	31.8
	町村	9.8	10.4	10.7	8.9	9.8	9.7	9.7	10.0	9.8

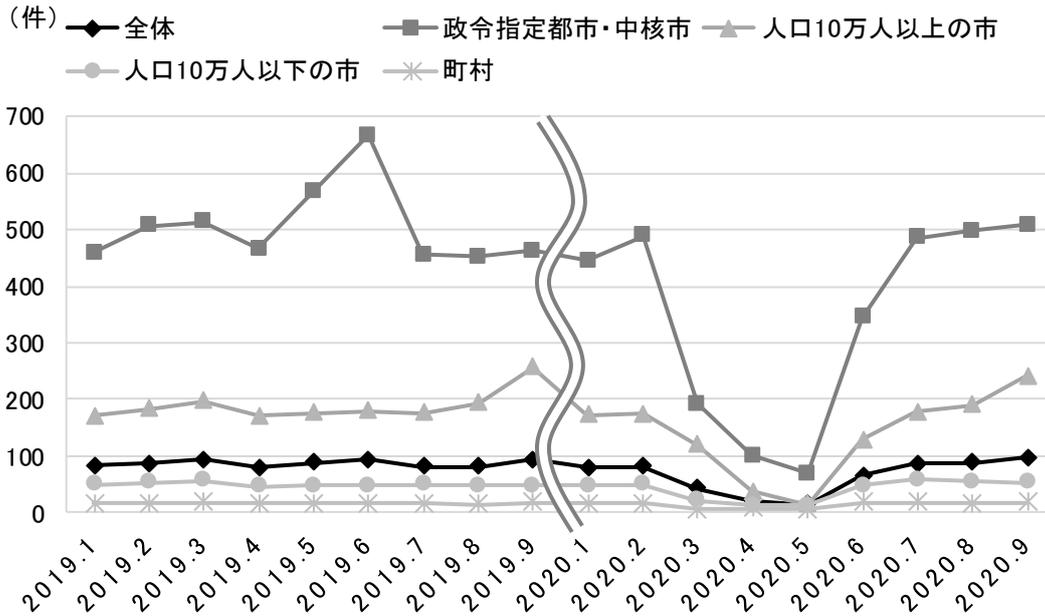
		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	57.4	56.5	37.5	16.6	12.1	47.1	64.7	67.7	71.7
	政令指定都市・中核市	327.7	328.9	282.9	101.6	74.1	213.9	345.9	376.3	409.1
	人口10万人以上の市	116.8	112.4	52.2	23.1	11.1	89.3	122.7	137.7	143.0
	人口10万人以下の市	32.1	31.0	12.6	10.3	8.7	35.5	43.2	37.4	38.2
	町村	9.1	9.7	3.9	3.3	3.3	12.1	12.6	10.5	11.8

101 Q6-6 幼児歯科検診:受診実人員数

「全体」では、「2020.9」が平均 97.8 件でもっとも多くなっている。

「政令指定都市・中核市」では、「2019.6」が平均 665.9 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以上の市」では、「2019.9」が平均 256.7 件でもっとも多くなっている。「人口 10 万人以下の市」では、「2020.7」が平均 58.8 件でもっとも多くなっている。「町村」では、「2020.9」が平均 18.6 件でもっとも多くなっている。

図表 101 Q6-6 自治体規模別 幼児歯科検診:受診実人員数:数値回答 (平均値)



< 平均値 : 数表 >

		2019.1	2019.2	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9
Q1 自治体の規模	全体	83.2	86.9	94.2	79.3	87.6	94.5	81.4	81.2	93.2
	政令指定都市・中核市	459.7	506.2	514.1	465.9	568.4	665.9	455.3	452.1	463.6
	人口10万人以上の市	171.7	183.2	196.7	170.7	176.3	178.9	175.7	193.1	256.7
	人口10万人以下の市	49.1	53.8	56.5	46.1	48.5	48.6	48.9	47.7	48.6
	町村	15.9	16.8	18.1	16.1	17.0	16.8	16.1	15.3	17.3

		2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9
Q1 自治体の規模	全体	79.8	81.8	42.7	20.6	14.0	66.1	87.2	87.9	97.8
	政令指定都市・中核市	445.8	488.5	192.0	101.2	68.1	345.5	485.4	497.2	508.3
	人口10万人以上の市	173.2	174.5	119.1	37.5	14.0	129.4	177.2	189.9	240.8
	人口10万人以下の市	47.7	48.8	21.6	13.4	12.9	47.1	58.8	54.2	52.4
	町村	15.9	16.6	5.4	6.8	5.2	17.2	18.5	16.8	18.6

(7) 考察

1) 関係機関との連携:コロナ前・休校中・学校再開後の変化

すべての連携・情報照会等に関して、「行う」と「頻繁に行う」の合計が学校休校中に一度減少し、学校再開後におよそ元の状態に戻るといった傾向が全体に共通してみられた(図表 6-59)。コロナ前と休校中の「行う」「頻繁に行う」の合計を比べると、学校、保育園・幼稚園、教育委員会で減少幅が大きく、児童相談部局、女性母子相談部局、保育部局、警察、児童相談所については減少幅が小さかった。

感染者数別に休校期間中の減少幅をみると、高位群よりも低位群で減少が大きいものがみられた。たとえば、「学校への情報照会」(図表 9、10)の高位群をみると、コロナ前は「行う」と「頻繁に行う」を合わせて 39.5%だったのに対し、休校期間中は 36.8%と、コロナ前の状況に比べて 2.8%の減少であった。同じく低位群をみると、コロナ前は「行う」と「頻繁に行う」を合わせて 55.4%だったのに対し、休校期間中は 48.4%と、コロナ前の状況に比べて 7.0%の減少であり、高位群に比べて低位群の減少幅が大きかった。同様の傾向が「保育園・幼稚園への情報照会」(図表 15、16)でも見られた。ただ、「頻繁に行う」の回答を見ると、「学校への情報照会」(図表 9、10)では、高位群、低位群ともに微増していた。他にも「学校との連携」(図表 6、7)、「教育委員会との連携」(図表 18、19)、「教育委員会への情報照会」(図表 21、22)で、学校休校中に「頻繁に行う」が微増していた。つまり、「行う」と「頻繁に行う」の合計でみると、休校によって学校や教育委員会との連携や情報照会が減った自治体が多く、その傾向は低位群にわずかに多くみられるものの、一部の自治体ではむしろ休校期間中に、コロナ前以上に頻繁に連携を行うようになったと考えられる。

次に、コロナ前と学校再開後の「行う」と「頻繁に行う」の合計の変化をみると、感染者数によって大きな違いは見られなかった。取り立てて述べるとすれば、「学校への情報照会」や「教育委員会との連携」、「教育委員会への情報照会」は、高位群では「行う」と「頻繁に行う」の合計がコロナ前よりも学校再開後に微増している傾向がみられ、低位群ではわずかに減少していた。たとえば、「教育委員会との連携」(図表 18、20)の高位群をみると、コロナ前は「行う」と「頻繁に行う」を合わせて 56.6%だったのに対し、学校再開後は 59.7%と、コロナ前の状況に比べて 3.1%の増加であった。同じく低位群をみると、コロナ前は「行う」と「頻繁に行う」を合わせて 79.1%だったのに対し、学校再開後は 77.7%と、コロナ前の状況に比べて 1.4%の減少であった。しかし、「頻繁に行う」の回答を見ると、高位群、低位群ともに微増していた。つまり、学校や教育委員会との連携や情報照会については、高位群では学校再開後に、コロナ前よりも連携を行うようになったと考えられる。これは、教育現場での感染予防策の検討や指導、感染者が出た場合の対応など、新型コロナウイルス感染症に関わる連携の必要性が高まったことによるものと思われる。低位群では、規模の小さい自治体が多く母子保健の担当者が少ないため、そのほかの対応に追われることで、コロナ前の連携状況に戻ることができない自治体もあると推察される。ただし、いずれの群でも「頻繁に行う」の回答は増加しており、一部の自治体では新型コロナウイルス感染症によって連携の頻度が増えている。

2) 母子保健関連事業の実施状況:2019年と2020年の実施件数の比較

①乳児家庭全戸訪問事業/養育支援訪問事業の状況

乳児家庭全戸訪問事業の訪問家庭数(図表 87)の推移を見ると、高位群・中位群と低位群で異なる傾向が見られた。高位群と中位群は2020年4、5月の訪問家庭数が昨年同月の6-7割程度まで大きく減少

し、その後6月には増加しているものの、昨年6月と同程度か、わずかに少なく、その後も昨年より少ない状況が続いている。一方、低位群は2020年4、5月に昨年の8割程度まで減少するものの、高位群・中位群と比べると減少幅は小さく、その後6月には昨年以上となっている。

養育支援訪問事業の訪問家庭数(図表89)では、高位群・中位群で2020年4、5月に昨年の7-8割程度まで減少し、特に高位群では6月以降も継続して昨年よりも少ない状況が続いている。一方、低位群は3月が昨年の9割程度とわずかに減少するものの、それ以降は大きな減少はなく、むしろ昨年よりも多い月がみられる。

以上より、訪問事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況による影響が見られ、感染が広がっていた地域において、2020年4、5月に訪問できない状況であったといえる。訪問できなかった背景には、緊急事態宣言を受けて訪問を中止または延期したケースもあれば、訪問家庭の側が感染症への不安から訪問を拒否したケースもあると考えられる。乳児家庭全戸訪問事業については生後4か月までという期間があるため、4、5月に実施できなかったケースは、6月以降の早い時期に実施する必要があると考えられるが、高位群では、6月以降にも昨年よりも少ない状況が続いており、十分に訪問できていない状況であった。そのほかの多くの事業でも4、5月に延期となった分を6月以降に上乘せして実施する必要があり、後述の幼児健康診査のような法定義務のある事業を優先して実施している可能性がある。一方、低位群ではいずれの訪問事業でも大きな減少は見られず、養育支援訪問事業については昨年よりも増加している。里帰り出産後に感染拡大地域に戻れない状態や、新型コロナウイルス感染症による経済への影響による困窮などの状態が影響している可能性もある。また、広場型や集合型の支援が実施しにくい状況であるために、要支援家庭の状況把握機会の減少などを懸念し、訪問型で支援を実施していたと考えられる。

②乳幼児健康診査/幼児歯科検診の実施状況

乳児健康診査の受診実人員数(図表90)については、感染者数別に推移の差がみられた。高位群と中位群では、2020年3月に減少が始まり、4、5月に昨年の5-7割程度に減少し、6月以降に急上昇している。一方、低位群では2020年4、5月も昨年同様となっており、その後も大きな減少は見られない。このことから、乳児健康診査については、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に表れ、感染者数の多い高位群・中位群では、4、5月の健診を一部中止せざるをえない状況であったといえる。その後6月に大きく増加していることから、緊急事態宣言が解除されてから、中止した健診について感染予防策を行いながら実施していることが示唆された。低位群は、乳児健康診査は大きな影響を受けずに継続実施できていたといえる。

次に幼児健康診査(1歳半)と幼児健康診査(3歳)の受診実人員数(図表91、92)を感染者数別にみると、いずれの群も2020年3月から大きく減少しはじめ、5月に底辺となっており、感染者数ごとの差があまり見られない。その後、低位群では6、7月頃、中位群では7月以降、高位群では7、8月以降に昨年以上となっている。幼児健康診査(1歳半)と(3歳)を自治体規模別(図表99、100)にみると、特に政令指定都市・中核市で2020年6月に昨年より少ない傾向が続いており、他の自治体から遅れる形で7月以降に増加する傾向がみられた。このことから、大規模自治体では2020年6月以降に乳児健康診査から優先的に実施していた可能性がある。

幼児歯科検診も感染者数別(図表93)にみると、幼児健康診査と同様に、いずれの群も2020年3月

から大きく減りはじめ、5月に底辺となっている。特に、高位群では5月の受診実人員数が昨年1割以下となっており、他の健診と比較して最も減少幅が大きくなっている。その後、低位群・中位群では7月に、高位群では8月に昨年的人数を超えている。幼児歯科検診は、幼児健康診査と同時開催の自治体が多く、幼児健康診査（1歳半/3歳）が中止となったことから、この結果となったと考える。また、新型コロナウイルス感染症の感染ルートから、複数の幼児の口腔内を見ることのリスクを考え、自治体側が実施を見合わせた可能性もあるだろう。

乳幼児健康診査については、2020年4月10日付で厚生労働省から集団で実施する健康診査に関しては、地域ごとの状況を踏まえ延期等の措置をとるよう要請されており、この要請が各健診に与えた影響が明らかになったといえる。地域の感染拡大状況による影響を受けたのは乳児健康診査であり、低位群では2020年4、5月にも昨年と同程度実施していたのに対し、高位群・中位群では5-8割程度に減少していた。一方、幼児健康診査（1歳半）、幼児健康診査（3歳）、幼児歯科検診は、地域の感染拡大状況にかかわらず、およそ全国一律に2020年4、5月の健診が昨年同月の1-3割程度まで減少していた。その中でも、特に高位群の減少幅は大きく、さらに6月以降昨年と同程度に戻るまでに時間がかかっていた。高位群は大規模自治体が多く、もともとの受診対象人数が多いことから、1回に健診可能な人数に限りがある中では、受診可能な年齢の幅が小さい乳児健康診査や幼児健康診査（1歳半）を優先して実施したと考えられる。

3) 本調査の成果と今後の課題

①他部局との連携

本調査より、学校休校中には学校や保育園・幼稚園、教育委員会などとの連携・情報照会が減少したが、それ以外の関連部署との連携に関しては、大きな影響を受けなかったことが明らかになった。学校再開後には、特に高位群で学校や教育委員会との連携や情報照会がより行われるようになった自治体があり、感染症対策などで積極的に母子保健部局が教育現場と連携を図っていると推察される。ただ、学校との連携で「行う」「頻繁に行う」の合計が5割前後、教育委員会との連携では7割前後と、特に高位群で学校や教育委員会との連携が実施されていない自治体もみられる。これは高位群に政令指定都市や中核市、人口10万人以上の市といった大都市が含まれることによると考えられる。児童相談部局や児童相談所との連携は、高位群でも中位群・低位群と同程度実施されていることから、高位群においては、個別の学校や保育園・幼稚園との連携は行わず、教育委員会や他部局を通して行っている可能性がある。ただ、学校や保育園・幼稚園といった直接子どもと関わる側からみると、今回の新型コロナウイルス感染症のような保健に関わる問題については、保健師等が在籍する母子保健部局との直接の連携によって安心感が得られることもあるだろう。実際に、コロナ前よりも学校再開後に連携の頻度が増加している自治体が見られ、新型コロナウイルス感染症によって母子保健部局と保育・教育関係機関との連携が強まった可能性が示唆された。連携の頻度が変化した自治体がどのような形で連携を深めていったのか、またその連携による効果がみられるのであれば、アフターコロナにおいても連携を継続できる体制を検討する必要がある。

②母子保健関連事業

いずれの事業も2020年4月に発令された緊急事態宣言の影響を受け、4、5月に実施数が減少する傾向があった。特に感染者数が多い高位群では、乳児家庭全戸訪問事業や養育支援訪問事業が昨年の6-8割

程度、健診では最も減少幅が大きかった幼児歯科検診で昨年の 1 割前後、減少幅が小さかった乳児健康診査でも昨年の 5-6 割まで減少していた。

新型コロナウイルス感染症関連業務に従事したことによる従来業務への支障があったとする回答も多い(図表 75、84) 中で、緊急事態宣言下においても乳児家庭訪問事業、養育支援訪問事業、乳児健康診査については、いずれの自治体も可能な限りで事業を継続し、特に 6 月以降に訪問数や受診人数を大幅に増やしていたことは、各自治体担当者の努力の表れであるだろう。ただ、産後うつや児童虐待が増加している現状やコロナ禍における女性の自殺の増加などをふまえると、昨年以上に支援が必要な家庭が増えていると考えられる。2020 年 4、5 月の実施数の減少により、早期発見や未然防止の機会が減った影響が今後どのように表れるか、また実施できなかった家庭へのその後の支援が適切に行われているかどうか注視する必要がある。また、今回は電話などの代替手段での連絡や相談の実施状況を調査していないが、訪問以外の手段による状況確認や相談支援体制、保育園や地域の民生委員・児童委員などの地域住民といった日ごろから家庭の様子を把握できる立場にある人たちとの連携強化などによる非常時にも機能する支援ネットワーク体制の構築をはかる必要があるだろう。

一方、幼児健康診査(1 歳半、3 歳)については厚生労働省からの通知の影響を受け、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に関わらず、すべての地域で 2020 年 4、5 月には昨年の 2、3 割程度まで減少していた。この 2 つの健診は母子保健法第 12 条に義務付けられており、対象も「一歳六か月を超え満二歳に達しない幼児」と「満三歳を超え満四歳に達しない幼児」と定められている。そのため、2020 年 4、5 月に実施できなかった対象児がその後期間内に受診しているかどうかの確認が必要である。しかし、実際には感染予防のため 1 回の人数を制限する、できるだけ短時間での実施にするなど配慮すべきことも多く、特に大規模自治体においては、6 月以降に延期した幼児の分を上乗せして実施するのはかなり困難な状況であると推察される。支援が必要な子どもや子育て不安を抱える保護者を見逃さずに、その後の支援にスムーズにつないでいくためにも、他部局がもっている情報については事前に共有を行っておくことで、短い時間の中でも適切な健診が実施できるのではないだろうか。健診等を確実に実施していくことで、孤立や不安を抱えている子育て家庭の発見に寄与することができると思う。

III. 資料

令和2年度厚生労働行政推進調査事業（厚生労働科学特別研究事業） コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究

市町村調査：母子保健部門

本調査は、厚生労働省特別研究の一環として、新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会生活の急激な変化の下、子どもの生活・またその公的支援体制への影響を明らかにし、政策提言を行うことを目的としております。本調査では、児童相談部門、保健福祉部門、教育部門に共通項目も含めてお伺いしております。業務のご多忙の折に大変心苦しいですが、日々子どもたちのために働く皆様のご苦勞や思いを受け止め、政策に反映されるよう、少しでも可能な範囲で調査にご協力を賜りたく存じます。なお、貴部局でのご回答が困難な場合は、管轄部局に参照の上でご回答をお願い致します。

ご回答いただきました調査票データの取り扱いは、個人情報の漏洩に伴う不利益を生じないよう厳重に管理し、本件委託業者とは「個人情報に関する覚書」を取り交わすなど、個人情報の保護に最大限の配慮を致します。本調査により得られた情報は、上記特別研究完了に伴う研究報告書、論文、学会発表等の研究目的以外に使用されず、研究における使用の際には個人が特定されないような記述を行う等、取扱いに関しても細心の注意を払います。調査票へのご回答の中断・再開が可能であり、ご回答を控えたいとお感じになった場合には、無理にご回答を要求するものではありません。本調査票への回答を以て、本調査へのご協力を同意頂いたものとさせていただきます。

その他本調査票に関してご質問等ございましたら、下記のお問い合わせ先にてお受け致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先：大阪府立大学 人間社会システム科学研究科
山野則子研究室
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
電話：072-254-9783
E-mail: eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp

提出期限 2020年12月4日（金）】

回答者様の職種・役職	回答欄→	
------------	------	--

問1. 貴自治体の規模について、1～7のうち該当する数字を回答欄にご記入ください。

1. 政令指定都市
2. 中核市（児童相談所設置あり）
3. 中核市（児童相談所設置なし）
4. 1～3以外の人口10万人以上の市
5. 人口10万人以下の市
6. 町
7. 村

回答欄（数字）→

図表 102 市町村調査：母子保健部門調査票

問2. 貴自治体において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校・休園措置があったかどうか、下記にご回答ください。
 ※回答が難しい場合は、8. 不明」をご入力ください。

- 1. あり
- 2. なし
- 3. 不明

回答欄(数字)→	公立小・中学校	
	保育園	
	幼稚園	
	認定こども園など	

問3. 貴部署あるいは貴職からみた、新型コロナウイルス感染拡大前後の児童福祉・教育等部局との連携体制についてお聞きます。

①新型コロナウイルス感染拡大前 ②休校期間中 ③学校再開後における、貴部署あるいは貴職からみた以下の他機関・他部局との連携体制について、該当する数字をご記入ください。

*休校措置をとっていない場合は、①③のみご回答ください。

						回答欄(数字)			変化の主な背景・要因等がありましたら ↓にご記入ください
	まったく行わない	あまり行わない	行う	頻繁に行う	非該当(本人兼)	①コロナ前 (2020年3月)	②休校期間中 (2020年4月～)	③学校再開後 (2020年7月頃～)	
記入例) A 機関との連携	1	2	3	4	5	4	2	1	
1-1. 学校との連携	1	2	3	4	5				
1-2. 学校への情報照会	1	2	3	4	5				
2-1. 保育園・幼稚園との連携	1	2	3	4	5				
2-2. 保育園・幼稚園への情報照会	1	2	3	4	5				
3-3. 教育委員会との連携	1	2	3	4	5				
3-4. 教育委員会への情報照会	1	2	3	4	5				
4-1. 児童相談部局との連携	1	2	3	4	5				
4-2. 児童相談部局への情報照会	1	2	3	4	5				
4-3. 女性母子相談部局との連携	1	2	3	4	5				
4-4. 女性母子相談部局への情報照会	1	2	3	4	5				
4-5. 保育部局との連携	1	2	3	4	5				
4-6. 保育部局への情報照会	1	2	3	4	5				
5-1. 警察との連携	1	2	3	4	5				
5-2. 警察への情報照会	1	2	3	4	5				
6-1. 児童相談所との連携	1	2	3	4	5				
6-2. 児童相談所への情報照会	1	2	3	4	5				
6-3. 児童相談所からの専門的助言	1	2	3	4	5				
6-4. 児童相談所からのバックアップ	1	2	3	4	5				

図表 103 市町村調査：母子保健部門調査票（続き）

問4. 各事業の実施主体についてお聞きします。該当する数字を回答欄にご記入ください。
 ※回答が難しい場合は、「不明」をご選択ください。

問4-1. 乳児家庭全戸訪問事業

- 1. 自治体
- 2. 委託
- 3. 不明

回答欄 数字)→	
----------	--

問4-2. 上記で2.委託を選んだ方にお尋ねします。委託先に該当する数字を回答欄にご記入ください。
 また、3.その他と回答する場合は、委託先をご記入ください。

- 1. N P O
- 2. 社会福祉協議会
- 3. その他
- 4. 不明

回答欄 数字)→		その他の委託先
----------	--	---------

問4-3. 養育支援訪問事業

- 1. 自治体
- 2. 委託
- 3. 不明

回答欄 数字)→	
----------	--

問4-4. 上記で2.委託を選んだ方にお尋ねします。委託先に該当する数字を回答欄にご記入ください。
 また、3.その他と回答する場合は、委託先をご記入ください。

- 1. N P O
- 2. 社会福祉協議会
- 3. その他
- 4. 不明

回答欄 数字)→		その他の委託先
----------	--	---------

問4-5. 乳幼児健康診査

- 1. 自治体
- 2. 委託
- 3. 不明

回答欄 数字)→	
----------	--

図表 103 市町村調査：母子保健部門調査票（続き）

問4-6. 上記で2.委託を選んだ方にお尋ねします。委託先に該当する数字を回答欄にご記入ください。
また、3.その他と回答する場合は、委託先をご記入ください。

- 1. N P O
- 2. 社会福祉協議会
- 3. その他
- 4. 不明

回答欄 数字)→		その他の委託先
----------	--	---------

問4-7. 幼児歯科検診

- 1. 自治体
- 2. 委託
- 3. 不明

回答欄 数字)→	
----------	--

問4-8. 上記で2.委託を選んだ方にお尋ねします。委託先に該当する数字を回答欄にご記入ください。
また、3.その他と回答する場合は、委託先をご記入ください。

- 1. N P O
- 2. 社会福祉協議会
- 3. その他
- 4. 不明

回答欄 数字)→		その他の委託先
----------	--	---------

図表 103 市町村調査：母子保健部門調査票（続き）

問5. 乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業における訪問者についてお聞きします。該当する数字を記入して下さい。
 ※回答が難しい場合は、「不明」をご選択ください。

		回答欄 (数字)	
1. 乳児家庭全戸訪問事業	保健師		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	助産師・看護師		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	母子保健推進員		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	保育士		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	児童委員・民生委員		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	その他		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
1-1. その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加			1. 増えた 2. 増えていない 3. 不明
1-2. コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった			1. まったくあてはまらない 4. とてもあてはまる 2. あまりあてはまらない 5. 非該当 3. ややあてはまる 6. 不明
1-3. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための処置をおこなった			1. はい 2. いいえ 3. 不明 『はい』の場合は、具体的にご記入ください <div style="background-color: yellow; height: 20px; width: 100%;"></div>
2. 養育支援訪問事業	保健師		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	助産師・看護師		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	母子保健推進員		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	保育士		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	児童委員・民生委員		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
	その他		1. 常勤 2. 非常勤 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア 5. 不明
2-1. その訪問者の新型コロナウイルス感染症関連業務の増加			1. 増えた 2. 増えていない 3. 不明
2-2. コロナ関連業務に従事したため、従来業務に支障があった			1. まったくあてはまらない 4. とてもあてはまる 2. あまりあてはまらない 5. 非該当 3. ややあてはまる 6. 不明
2-3. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための処置をおこなった			1. はい 2. いいえ 3. 不明 『はい』の場合は、具体的にご記入ください <div style="background-color: yellow; height: 20px; width: 100%;"></div>

図表 103 市町村調査：母子保健部門調査票（続き）

問6. 貴部署における支援状況についてお聞きします。
 2019年1月～9月・2020年1月～9月の間 期間内の総数でも可、可能であればそれぞれ1ヶ月間)について、以下の項目の数をご記入下さい。
 ※人数等が0の場合は0とご記入下さい。また回答が難しい箇所につきましては空欄として下さい。

		回答欄 数字)																			
		2018年度			2019年度						総数	2019年度			2020年度					総数	
		(2019年)			(2019年)							(2020年)			(2020年)						
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月
1. 乳児家庭全戸訪問事業	対象家庭数																				
	訪問家庭数																				
2. 養育支援訪問事業	対象家庭数																				
	訪問家庭数																				
3. 乳児健康診査	受診実人員数																				
4. 幼児健康診査 (歳6か月)	受診実人員数																				
5. 幼児健康診査 (歳3)	受診実人員数																				
6. 幼児歯科検診	受診実人員数																				

* これらの調査項目は、厚生労働省 平成30年地域保健「健康増進事業報告」を参考に作成しております。

問7. その他、新型コロナウイルス感染拡大の前後で状況が大きく変化したとお感じになる点や困っていることについてご自由に記述して下さい。

図表 103 市町村調査：母子保健部門調査票（続き）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業
(厚生労働科学特別研究事業)
コロナ禍における子どもへの影響と支援方策
のための横断的研究

機関調査：①市町村調査：母子保健部門
報告書

令和3年3月
公立大学法人大阪 大阪府立大学 山野則子研究室